業務資料No.273

昭和47年度

市場調査報告書

昭和49年2月

海外移住事業団

目　　次

目　　次

アスンシオン支部編

1. ブラジルに於ける養蚕市場調査について
2. ブラジルに於けるハッカ栽培及び流通状況について

1. ブラジルに於ける養蚕市場調査について

Ⅰ 調 査 目 的

伯国に於ける養蚕の市場性とアマンバイ地区への養蚕導入の是非及びその方法の検討

Ⅱ 調 査 期 間

自　1973. 2. 6　　至　1973. 2. 12

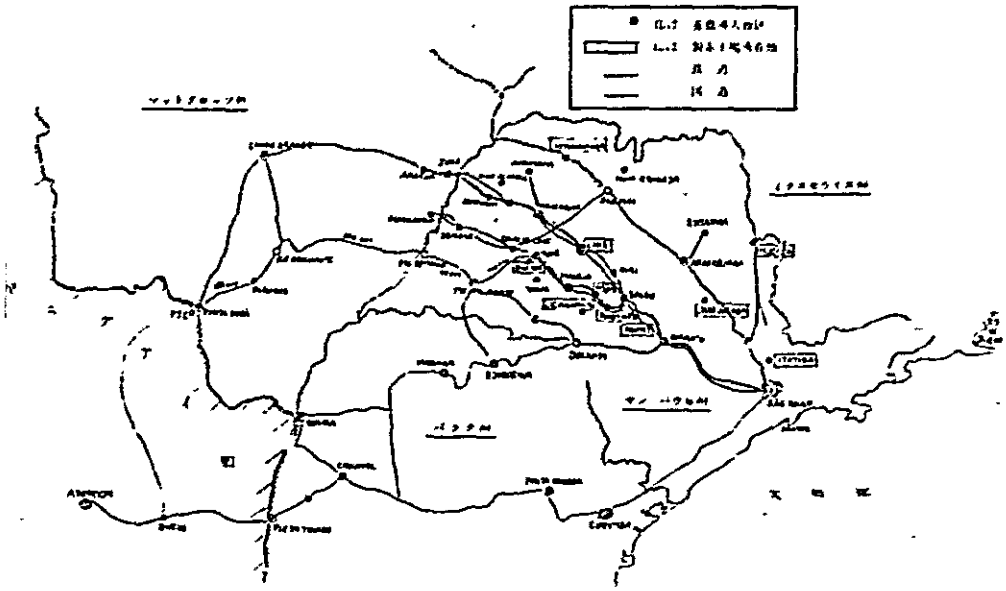
Ⅲ 調 査 者

アマンバイ出張所

Ⅳ 調 査 地

伯国サンパウロ州 Bastas Guatapara São Paulo

第1図　伯国の養蚕地帯と製糸工場



V 調 査 内 容

1. 伯国の養蚕事情

(1) 伯国の養蚕は，1920年頃イタリア移民によって先鞭がつけられ，これを伯国の一大産業にまでもたらしたのは，日本移民である。しかし，これまでの半世紀，伯国の養蚕業は，第1図の底の広い放物線に描き出された如く，国際的経済情勢により，短かい黄金時代の後，20年間という長い不況時代を推移して来た。今，便宜上，伯国の養蚕を時代別に大きく分類してみると，次の様になる。

(ア) 開　発　期（第二次世界大戦前の10数年間）

この当時，年間生糸生産量は，50ton前後で，200ton程度が不足し，これを輸入に依存していた。まだ養蚕があまり問題にされていなかった時代。

(イ) 第一次隆盛期（第二次大戦中）　1941年－1946年

第二次大戦によって日本，イタリアの二大生産国は，軍需産業への切り換へと食糧増産の必要性，世界市場からの締め出し等の理由で，まず伯国への輸入が止絶え，俄かに国内養蚕業が活気づいて来た。それだけに留まらず，国際市場の生糸不足は深刻なものとなり，アメリカ大陸唯一の繭生産国であったブラジル国内増産の余勢をかって，一躍輸入国から輸出国として打って出ることになった。この時期，伯国の養蚕業は空前の景気を迎え，作れば売れ，売れれば莫大な利益をもたらす黄金時代を現出，国内で140に近い工場が乱設されたと云われる。

(ウ) 凋　落　期（第二次大戦後）　1947 ～ 1967

しかし，大戦が終了すると，1～2年で早くも日本，イタリアの養蚕業は復旧し，世界市場への生糸の供給が開始されたこと，大戦中，生糸の不足は，もっと丈夫で安価なレイヨン，ナイロン等合成繊維の開発を誘発した。即ち，アメリカのデュポン社が落下傘用として絹の代用にナイロンを開発してせんいの革命をもたらしたことは，当時の蚕糸業界にとって大きな脅威であった。又，伯国は，戦時中，旧式機械と未熟な技術により，粗製濫造を行ったが，品質は劣悪であったこと。政府の保護がなかったこと等から，終戦と同時に伯国の蚕糸業は大混乱に陥いり，蚕糸業者の8割が倒産し，次々に工場が閉鎖された。

1948－1949年には，生糸の生産量，わずか40tonという潰滅的な衰退をするに及び，国内需要も甚しく事欠くに至ったので再び外国産生糸の輸入を仰がねばならなくなった。ここに，蚕糸業関係者の努力と，当局に対する保護要請により，ようやく養蚕業の保護政策が考究され，1951年頃には，国内需要が充しえる生糸量（200ton）が生産されるに至った。

(二) 第二次隆盛期　1968年〜

近年，日本の高度成長の影響で，高価な生糸の需要が年々ウナギ昇りに上昇，1968年頃より日本国内の生産のみではとうてい内需がまかない切れず，ついに日本は生糸輸出国から逆に輸入国へと廻り，伯国からだけでも72年には年間210ton も輸入している。

そのおかげをこうむり，伯国の養蚕は再び好景気に恵まれ，73年には，66年ピーク時の6割をマークするであろうと云われる迄に生産が伸びている。

以上，伯国養蚕の興亡を見ると，戦時中は日本の養蚕業の休止によって第一次隆盛期が現出，戦後は日本の復興によって潰滅的打撃を蒙り，そして近年，日本の好景気に支えられて再び上昇の一途をたどり，第二次隆盛期を迎へつつあるが如く，その景気は完全に日本によって左右されていることをまざまざと見せつけられる。しかし，同じ日本の影響であっても，第一期の隆盛期と，第二期のそれとは，質的に大きな相違を指適することが出来る。即ち，第一期のそれは，基盤未整備な産業構造の上に戦争と云う特殊な国際的経済状勢を利用して一挙にのし上げた特殊産業的なものであって，平和が訪れれば繁栄は崩壊する必然性があった。

一方，現在，迎えつつある第二期のそれは，ドン底時代から25年も費いやして再び作り上げた基盤と技術と最新機械の下で生産されたものであるだけに或る程度の国際競争力を保持していること，現在の需要は，第一期の如く戦争と云う特殊情勢の一時的影響によるものではなく，日本の平和と国力増大に伴って生じた安定性のある需要逐増に負っているということである。

2. 伯国に於ける桑園面積と養蚕地帯

Asso Paulo de Serc の調査によると，最近5カ年の桑の植付本数は次の通りである。

〔第一表〕　伯国年次別　桑栽植本数　（単位千本）

年　次	63年〜64年	64 〜 65	65 〜 66	66 〜 67	67 〜 68	68 〜 69	69 〜 70
本　数	13,450	18,200	31,070	34,470	50,230	60,570	62,700

上表から桑園面積を推定すると，1970年には15,500ha（6,450アルケール）ということになる。

ブラ拓では，伯国の養蚕農家は全体で，1,500戸平均4アルケールと推定しているから，ほぼ前記の数字に合致する。このうち，パウル，ガリア，ドウアルチーナのサンパウロ州中部の一帯で全体の60%を占め，残り30%は，第2図の如く，パストス，グァタパラ他サンパウロ州各地に点在し，9.5%はパラナ州に，0.5%はマットグロッソ州のごく一部に生産されている。

しかし，今後は疲弊したサンパウロの農土から，肥沃なパラナ州或はマットグロッソに蚕蛹は移ると見られている。現にハッカの世界的商社Brasmint が，パラナ州を蚕蛹の新興地帯と見て，まだ染関もないクリチーバに近代的な製糸工場を建設中とのことで業界では目下その動きを重大視している。（要調査）

3. 伯国に於ける製糸工場

伯国に於ける製糸及び織物の工場は，現在約１０社ほどあるが，その所在地及び推定能力は，第二表の通りである。

第二表に見る，工場中，現在ブラ拓ＫＫが全体の６割の原料繭を処理し，６割の生糸を生産する能力を有している。これらの会社の輸出実績については，第三表の通りであるが，輸出についても，６割から７割はブラ拓が占めている。

伯国の年間処理能力は，フルに操業して500ton である。一方の生産量は，その７割〜８割で現在のままの規模でも原料不足気味であるが，各社では，更に規模拡張を画策しており，原料の不足は今後深刻化するものと予想される。

（第二表） 伯国における製糸会社別所在地及び推定工場能力（1972年現在 Associaçao Paulista do Sericultura）

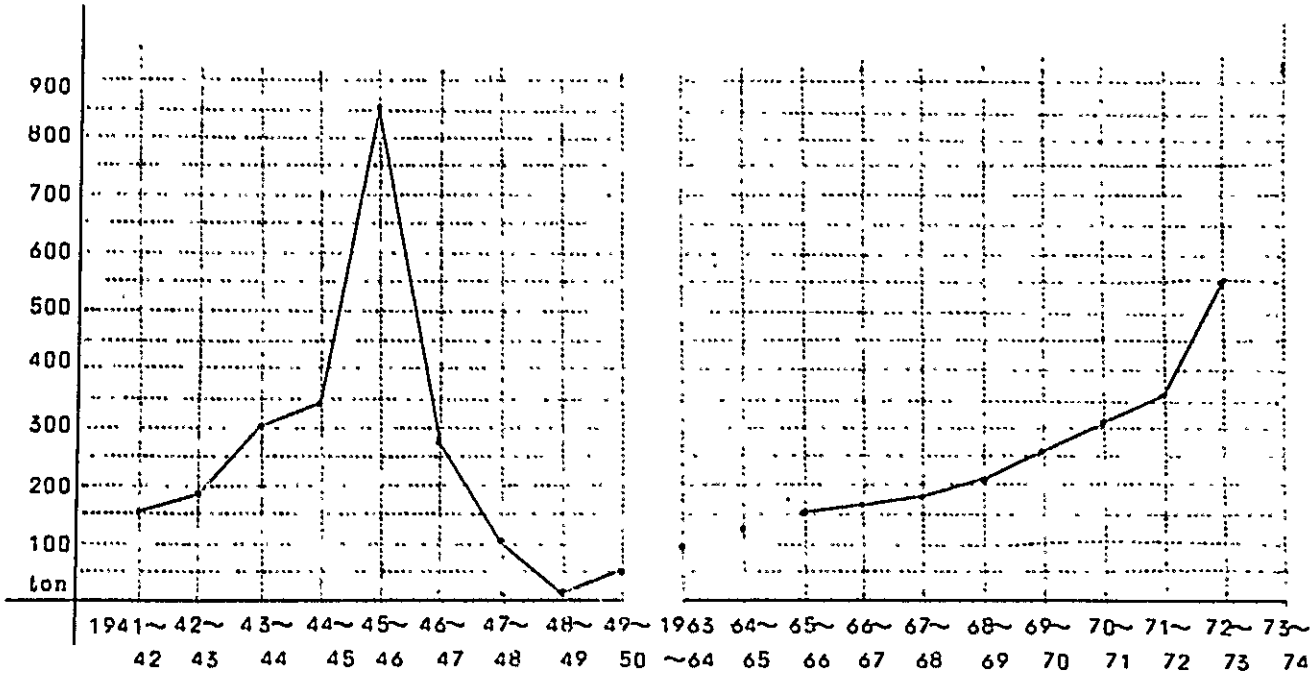
会社名	所在地	月産生糸処理能力	年間繭買付能力	製糸機械のタイプ	従業員 男子	従業員 女子	備考
Fiacao de Seda Bratac S.A	Bastos	25.0 ton	2250 ton	Oriental automatica	172	534	製糸（日系）
Industria de Seda Riveben S.A	Galia Charguaada.	5.0	450	Europeu manual Oriental automatica	5 6	58 50	〃
Fiaçao e Torçao Soceda S.A	Duartina	3.5	315	Oriental Semi-auto	9	87	〃
Fiaçao e Tecelagem Linense S.A	Lins	2.5	225	Europeu manual	5	67	〃 織物
Bombix Bombonatti Ind.e Exp.Ltda	Agudos	2.0	180	Oriental Semi-auto	5	75	〃
Ind.e Com.Taxtis Said Murad.S.A	Lucianapolis	1.5	135	Oriental Semi-auto	6	63	〃
Brasmint Ind.e Comércio Ltda	Duartina	1.4	136	Europeu manual	5	40	〃
Sedafil-Fiaçao de Seda S.A	Votuporanga	1.0	90	Oriental Semi-auto	5	22	〃
Pabreu-Cia Ind.de Tecidos finos	Itatiba	0.9	81	Oriental Semi-auto	10	50	〃 織物
Tecelagen Galiatex Ltda	Galia	0.4	36	Europeu manual	—	11	生糸専門（日系）
Fiaçao e Tecelagen Brasiltex Ltda	Duartina	0.3	27	Europeu manual	1	9	製糸 織物
Total		4.35	3,915				

（第三表） 会社別生糸輸出実績（品質13/15 20/22 Dupionを含む合計）

会社名	1970	1971	1972（1～10月）
Bratao	1350 ton	1503 ton	1327 ton
Rivaben	180	27.9	327
Soseda	120	255	153
Bombonatti	6.1	7.1	9.7
Brasminto	—	—	124
Said Murad	5.9	4.6	3.7
Sedafil	2.8	—	1.8
Pabreu	—	—	1.3
Linense	3.2	8.6	0.4
Galia Tex	—	—	0.9
合計	1830	2240	2109

第三表は，サントス税関発表「Revista Ferrnandos」及びパウリスタ蚕糸協会資料並びにブラ拓輸出実績表より合成編集したものである。

（第２図）　個別年次別生糸生産推移グラフ



4. 伯国の生産量，輸出量

伯国の生繭処理量，生糸生産量及び輸出量については，前記11社の工場がそれぞれ取り扱う合計量となるわけであるが，過去5カ年間の状況は第四表の通りである。

（第四表） 伯国に於ける最近5カ年間の生繭並びに生糸生産量（パウリスタ養蚕協会資料）

	生繭（繭年度9月～6月）				生糸（生糸年度11月～10月）			
	11号	2号	3号	計	13/15	20/22	Dupion	計
	ton	ton	ton	ton	ton	ton	ton	ton
1967/1968	1,425	72	57	1,554	11.2	148.3	27.8	187.3
68/69	1,661	113	83	1,857	21.6	160.7	32.2	216.5
69/70	1,791	174	89	2,054	26.6	193.7	39.2	259.1
70/71	2,013	280	102	2,395	15.5	246.2	45.7	307.4
71/72	2,763	270	121	3,154	6.1	289.5	59.6	355.2

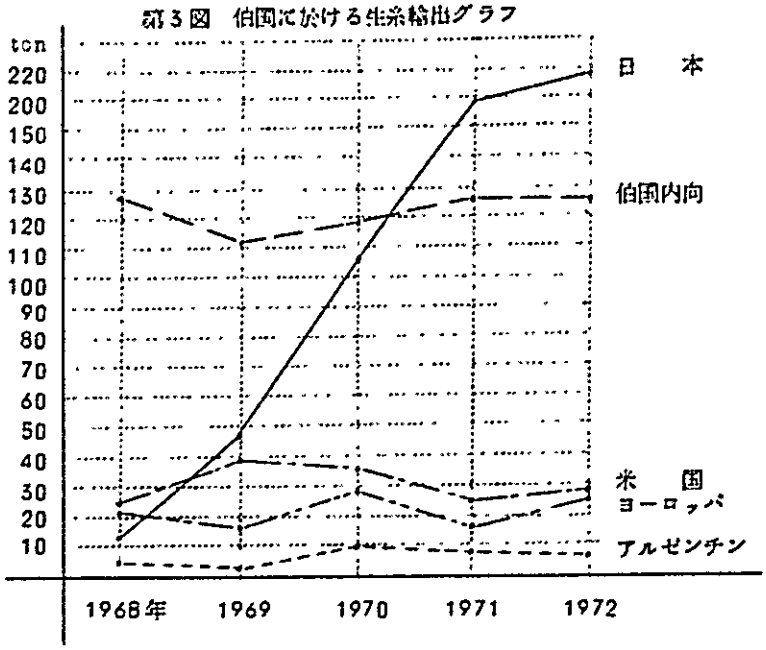
尚，72/73年度の予想は生繭で4,800ton，生糸で550ton，これでようやく世界の生産量の1%をオーバーすることになろうと関係筋では見ている。

（第五表） 最近5カ年間の生糸伯国輸出量及輸出額（1月～9月，9カ月間）

年次 / 輸出量	1968		1969		1970		1971		1972	
	kg	%	kg	%	kg	%	kg	%	kg	%
日本	13,796	23	48,150	46	108,720	60	181,680	81	216,480	79
ヨーロッパ	20,400	35	15,600	15	29,970	16.5	12,900	5.8	26,400	9.
北米	21,600	37	39,300	37.7	35,336	19.5	22,200	9.9	26,820	9.8
アルゼンチン	3,000	5	1,300	1.3	6,150	3.4	7,500	3.3	4,500	1.6
インド	—		—		750	0.6	—		—	
計	58,796	100	104,350	100	180,926	100	224,280	100	274,200	100
評価金額	US$ 999,532	単価 17	1,474,465	14.13	2,949,094	16.30	3,924,900	17.50	5,072,700	18.50

（注（第五表）） 上表は，パウリスタ養蚕協会の発表資料に，当所の調査資料を加味して修正したものである。従って協会資料より若干数字が多くなっている。

第3図　伯国に於ける生糸輸出グラフ



（第六表）　最近5カ年間の生糸伯国内消費量と輸出量概算対比表

年度 / 輸出量	1968		1969		1970		1971		1972	
生産量	ton 187	% 100	ton 216	% 100	ton 300	% 100	ton 350	% 100	ton 400	% 100
輸出量	59	32	104	48	181	60	224	64	274	68
国内消費量	128	68	112	52	119	40	126	36	126	32

（注（第六表））　生産量は，毎年，11月から10月であり，輸出量は1月から9月であって対象期間が一致していないので，正確な国内消費量ではないが，傾向だけは上表で把握出来る。

（本表は，バウリスタ協会発表の数字を基に当所がブラ拓で取材調査した結果から修正したものである。何故なら協会発表の生産量から輸出量を引いた国内向けの数量は，ブラ拓一社のそれよりも低いため

さて，第五表，第六表から明らかな如く，1970年頃より日本向輸出が急増，製品不足により，国内消費は全く伸びていない。ブラ拓製糸以外の各社では輸出生糸の95％以上は日本向けであるが，ブラ拓では輸出品の内，日本向けは50～70％で，30％～50％をヨーロッパ，北米その他に将来の取引関係維持のため，日本と比較して不利であるにも拘らず，輸出している。従って，第五表の輸出先国の内，日本を除いた国の殆んどがブラ拓の輸出量と見てよい。ヨーロッ

パは主としてスイスであり，1971年にはドイツにも若干出ている。

2. 世界の養蚕事情

(1) 世界の繭と生糸の生産及び消費

伯国の生糸はその生産量の7割以上も輸出されていることは，前記した通りであるが，今後この国際商品たる生糸の景気は世界の生産国，消費国の情況に大きく左右されることになる。従って世界の養蚕情勢についても概略的に調べて見ることにした。

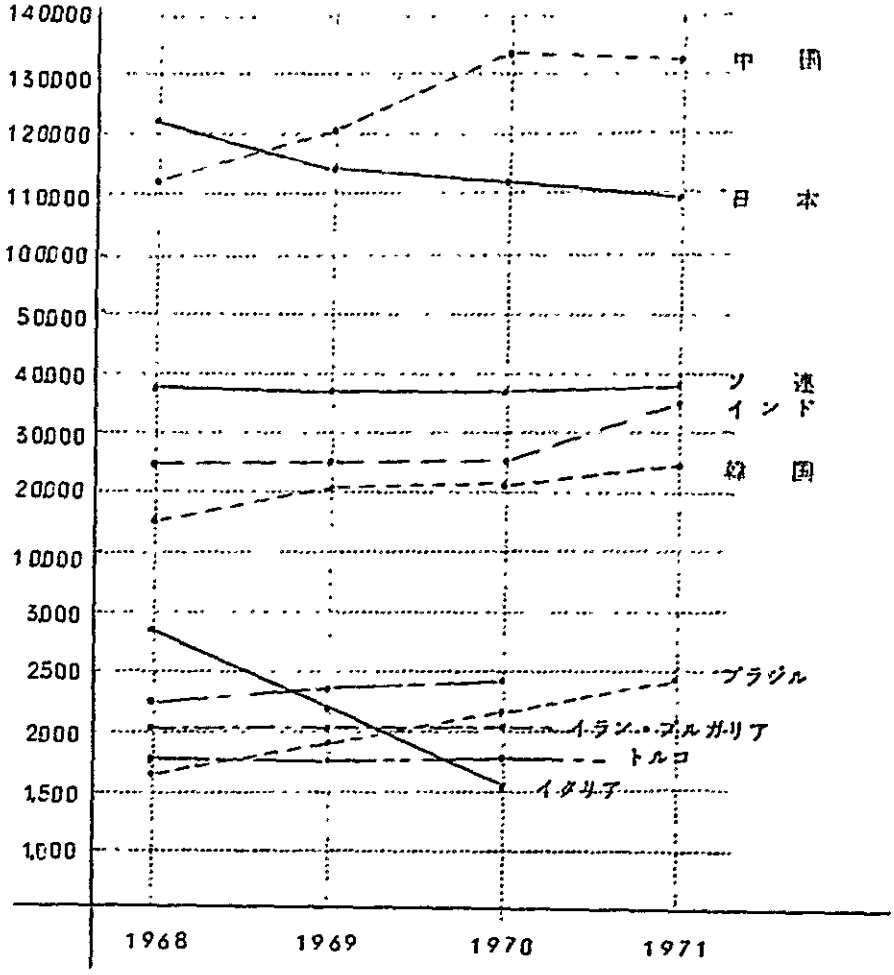
（第七表） 世界の繭生産数量（単位トン）

主生産国＼年度	1968	1969	1970	1971
日本	121,000	114,000	111,700	108,000
中国	111,200	120,900	133,000	131,800
ソ連	38,000	38,000	38,000	38,000
インド	26,000	25,600	25,600	35,000
韓国	16,600	20,700	21,400	24,000
北朝鮮	2,200	2,300	2,400	18,400
イタリア	2,900	2,200	1,500	
ブラジル	1,600	1,900	2,100	
イラン	2,800	2,000	2,000	
トルコ	1,700	1,600	1,800	
ブルガリア	2,000	2,000	2,000	
その他	5,300	5,300	5,400	
計	330,500	336,500	346,900	335,900

世界の繭の総生産量のうち，日本と中国がその67％以上を，生糸では76％を生産している。数年前迄は日本が繭及び生糸の生産量ではトップに立っていたが，1969年頃から日本の繭生産が落ちたこと，中国の生産量が増加したことで，繭の生産量では，1位，2位が逆転した。しかし，日本の糸歩が18％という高率であるのに反し，中国では88％と低く，生糸の生産量では，まだ断然日本がリードしている。

これに続くグループ（5ケタグループ）は，ソ連，インド，韓国の順で繭では全体の28％，生糸では20％を占めているが，このうち，ソ連，インドの生産量は毎年ほぼ一定で，近年，韓国がこの4カ年間に45％の伸率を示し，3国の繭の生産量の差は縮められつつあり，生糸

第四図　世界主要生産国蠶生産図表



では既に僅かながら二国を押えている。

この他に北朝鮮，ブラジル，ブルガリア，トルコ，イタリア等の国々が生産統計上では，一群（４ケタ）をなしてわずかに総生産量の５％を生産しているに過ぎない。このグループ中では，伯国の生産がめざましく，６８年には，最下位であったが，７１年には６８年の５０％も増加率を示し，グループのトップに出ている。

一方，世界の消費国は，第八表の通り，日本が総消費量の６４％を占め，続いて中国が１１％，次にソ連，西欧，アメリカ，インド，合せて２８％と日本が最大の消費国となっている。このうち，伯国の養蚕に重大な影響を及ぼす国々は，最大の生産量と消費量を有する日本と，

（第八表） 世界の生糸生産と消費 （1971年（推定を含む）

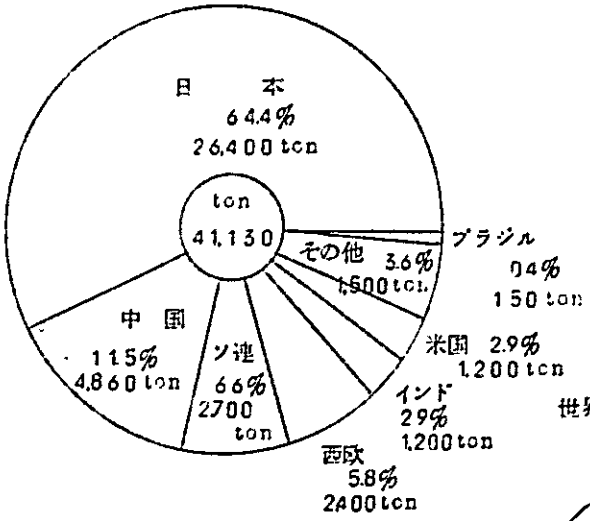
項目＼国別	日本	中国	ソ連	韓国	インド	ブラジル	西欧	アメリカ	その他	合計
生糸生産量	19,686 ton	11,502	3,000	3,042	2232	350	132	—	1,157	41,101
生産割合	48 %	28	7.3	7.4	54	085	004	—	3.5	100
生糸消費量	26,400 ton	4860	2700	720	1,200	150	2400	1,200	1,500	41,130
消費割合	6440 %	11.51	6.6	176	293	036	585	293	366	100
生糸不足量	6,714 ton						2268	1,200	343	10,525
不足割合	63 %						21.5	11.4	3.1	100

（第九表） 各国糸歩成績表

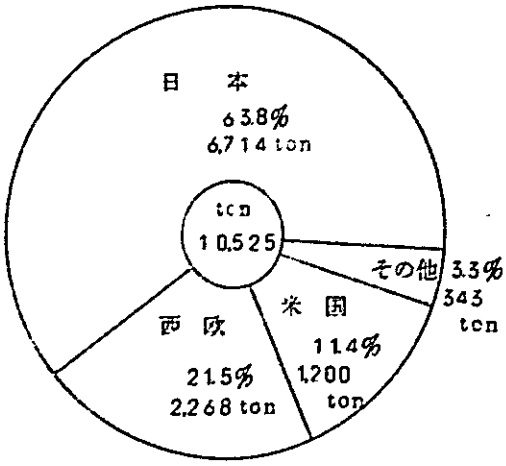
国名	糸歩
日本	18.0 %
パラグァイ	16.0
韓国	12.3
ブラジル	12.0
中国	8.8
ソ連	8.0
インド	6.5

それに生産量が消費量の2倍以上で，盛んに日本に輸出を行っている中国と韓国である。これら三国の養蚕事情が伯国にとっても非常に気になるところである。

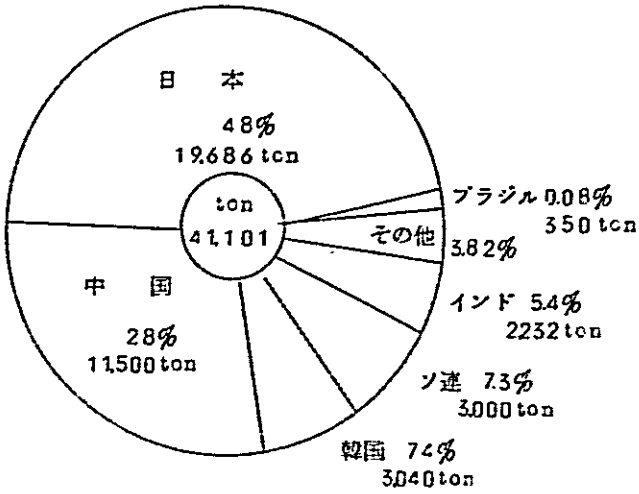
世界の生糸消費量（1971年）



世界の生糸不足国及び不足量（1971年）



世界の生糸生産量（1970年）



(2) 日本の情況

（第九表） 日本に於ける生糸需給表

年	生産量	輸入量	輸出量	政府蚕糸事業団		生糸在庫量	国内引渡量	備考
				買入量	売渡量			
1960	309,237	—	82,689	—	29,161	15,814	251,249	
61	324,700	—	76,848	—	120	8,632	255,154	
62	316,731	130	63,109	—	—	14,682	247,702	農林省
63	309,675	5	56,559	—	—	25,129	242,674	蚕糸統計月報
64	328,714	884	28,253	1,960	—	20,471	306,003	生糸特報より
65	313,180	10,213	14,606	180	8,125	14,135	315,213	
66	306,139	26,188	6,132	—	15	11,604	328,726	（　）は一部推
67	329,101	26,285	6,050	—	—	19,535	341,405	定を含む数字
68	353,638	23,982	6,873	—	—	29,753	360,529	
69	384,499	54,296	2,363	—	—	19,313	416,872	
70	336,650	78,420	645	—	—	22,298	411,140	
71	328,071	(98,510)		—	—	?	393,044	
72	(316,000)	(160,000)		—	—	(19,600)	(495,000)	

日本では，1962年10月から生糸の輸入自由化が行はれ，輸入生糸は年々増加して来た。特に，1964年頃から国内消費が急激に伸び65年にはついに消費量は生産量を凌駕するに至ったため，これ以後輸入量も急激に増加した。そして72年には国内消費量の1／3 は輸入生糸に依存する迄に至った。

一方，中国，韓国を主要国とした国々からの安価な生糸の輸入攻勢と，ドル・ショック等で，糸価は低迷を続けているため，国内の生産は近年減少の一途を辿っており，又，日本の養蚕そのものも価格の低迷に加え，日本列島改造論の影響から地方の土地代が値上り，桑園を手離す生産者が現れているところからしても，今後，国内生産は減少しても，増加を予想する裏付けは全くない。

一方消費は，1969年の400,000 俵近くの消費が予想されると云われている。

(3) 韓国の養蚕

韓国は，1961年の軍事革命の結果，経済開発による後進性脱却を目ざした第一次五カ年計画に続いて第二次五カ年計画で蚕業増産計画が進められている。第一次及び第二次の政策の中心課題は，桑園面積の拡大であった。しかし，結果的には下表の通り，植えつけるには植えつ

けたが

1960年度面積	1962～69年植付面積	1970年度面積（消失面積）
1,856ha	139,000ha	84,977ha（55,879ha）

４０％方消失している。

これは，短期間の無理な造成による管理不充と，宅地造成，道路造成により消失したも云はれている。しかし，総合的に見て，

(イ) 零細養蚕農家が多く，規模がきわめて小さい。（一蚕期　掃立量一箱未満が８割）

(ロ) 気温の日変化が激しく，屋外条桑育が困難

(ハ) 年間降雨量が日本より少なく，しかも降雨期に集中して降るため一般に乾燥気味である。

(ニ) 経済計画の維持に伴う韓国経済成長は，農工間の所得隔差を拡大させ，その結果，労働力の都市流出が目立つ。

以上の情況から，こゝ当分輸出可能量の限界は，2,100 ton と推定される。

(4) 中国の状況

中国の繭，生糸の生産力は，

(イ) 1962年から10年間連続の豊作と伝えられる食糧生産の安定的確保の見通しの上に立って，今後いっそう商品作物にも重点が置かれるであろうこと。

(ロ) 外貨確保に努めるであろうこと。

(ハ) 蚕種の改良，桑園能率の向上等による増産の余地が大きいこと

等のプラス要因は大であるが，反面，年４回しか掃立出来ないので単位面積当りの生産力には限界がある。

日本への輸出について

(イ) 世界の市場の６割以上を消費する日本市場が，中国にとって充分魅力があること。

(ロ) 欧米の市場が縮少の傾向にあること。

(ハ) 近時の日中貿易拡大の中にあって，日本からの輸出見返り物資として生糸が有望商品となっていること。

(ニ) 従来，中国産には１５％の関税（韓国7.5％）がかけられており，今後，これが撤廃されると非常に有利になる。

等から今後も中国産が日本へ相当量入ることになろうと一般には予想されている。

(5) 今後の国際蚕糸情勢の見通し

これまで調べた統計によると，中国の生糸生産の伸びは，年平均約10,000俵（600,000 kg）である。しかし，日本の消費の伸びは，この５カ年間平均その倍量の20,000俵伸びて

おり，中国の生産と輸入のみを期待しては，日本の需要はまかない切れない現状にある。このまゝ増加すれば，１０年後に日本の消費量は700.000 俵になる。（現在500.000 俵）

農林省でも，最近発表した生糸の需給予想の中に，１０年後の日本の需要量は630.000 俵としており，業界の予想はもっと強気で750.000 俵である。しかも，問題の中共で，田中首相訪中の際の第一声は，共存共栄であって，日本の養蚕農家を苦しめてまで輸出は行はないという施策（現に中共は日本よりも一割以上も低い取引価格で欧州にも輸出している）を信じ，日本の如くガムシャラなエコノミックアニマル的な競争は行はないであろうと云う見方と，絹織物は，全繊維のまだ0.2％を占めるに過ぎず，しかも，張度といゝ，伸縮性，吸湿性といゝ，且つ又，肌ざわりといゝ，理想的な繊維の特性を全く兼ねそなえている。この絹織物が従来，殆んど行はれていなかった宣伝を，大々的に行うことにより，その消費が伸びないわけがないと云う見方がある。

今ひとつは，米国内で絹は投機的な商品と云う観念を日本が植えつけ，米国の業者をして，まず敬遠させ，必然的に米国の市場を潰してしまったからというのが，専門家の見方であり，従って，今後，商売には応揚で国家的見地から取り引きをしようとしている中共と通商を行うことになれば，米国内での絹の消費はもっと伸びる筈だという希望的観測もあって，少なくともこの１０年間の見通しは各国の養蚕業にとって明るい材料の方が多い様である。

3. ブラ拓製糸について

さて，これまで調査して来た範囲内では，こゝ当分養蚕の見通しは明るく，アマンバイ移住地の起死回生作目として他に適当な作目がない現状下では，当地区の気象条件，土壌条件と併せ考えるに，これが導入は適切と判断される。要は販路の問題であるが，P.J.C ～ COL・OVIEDOの道路事情の悪い現状下では，エンカルナシオンのISEPSA（約1,000km）迄の輸送は大きな危険性がある。

幸い，P.J.Cから680kmの地点のバストスに伯国一の規模を有するブラ拓製糸があり，当面の販路をこのブラ拓KKとして本工場の概要にふれてみると，

(1) ブラ拓製糸会社の概要　（ポ名）　FIACAO DE SEDA BRATAC S.A

住　　所	本社（事務所）	Rua Roberto Simonsen 62-9 AND CJ 91. C.postal 30061 SAO PAULO-CAPITAL
	工　場	Rua General Osorio 700. C.postal 39. Bastos. Estado DE SAO PAULO.
	荷受所	(1) Galia (2) Duartina (3) Barrocao (4) Guracai (5) Londrina

創業年月日　1940年9月20日

資　本　金　11,000,000.00Cr$　(250,000,000Cs)

重　役　陣　社長 天野賢次　専務 谷口　章　他重役 5名

従　業　員　811 名

製　　品　組糸，撚糸

敷地所有面積　101,272m²　建物敷地　27,702m²)

附属施設　食堂，寄宿舎(男性用，女性用)2棟，　従業員住宅 60 棟

部　　門　(Dopatamento) 管理，経理，買付，販売，製造，蚕種

試　験　場　桑栽培，病理，肥培管理，原種肥育，等の試験

機械施設　製造部　自動製糸機械 9組 (能力440－7基，400－1基，360－1基)

煮繭機械 1組 (能力 1時間 450kg)

撚糸機械

乾燥機 2組 (2,000kg/24時間×2組)

手動紡糸機 97組 (6 Cabos cada)

蚕種部　年1,500kg　生産能力

輸送部　トラック 8台　従業員用通勤バス 2台

試験場一最新式 稚蚕室及び蚕室 トラック 8台

(第十表) ブラ拓製糸KK 過去4カ年の貸借対照表

	資産の部			
	1968	1969	1970	1971
固定資産	2,774,861.81	4,042,207.20	7,358,533.62	10,237,454.40
流動 〃	3,563,271.56	5,228,019.76	8,343,318.44	12,192,282.96
(現金預金)	(667,056.00)	(677,873.77)	(1,361,615.22)	(3,353,601.93)
(棚卸及び雑資産)	(2,896,215.56)	(4,550,145.99)	(6,981,663.22)	(8,838,680.83)
投資資産	275,973.58	549,915.07	551,937.20	829,239.67
繰・延 〃	—	—	—	49,500.00
相殺勘定	1,143,467.59	770,510.97	1,779,090.22	5,001,500.89
計	7,757,574.54	10,590,653.00	18,032,839.98	28,309,977.72

	負債の部			
	1968	1969	1970	1971
資本	3,162,934.15	5,023,126.46	9,487,799.14	14,195,531.18
(資本金)	1,500,000.00	2,600,000.00	(4,000,000.00)	(7,000,000.00)
(積立金)	806,235.25	1,336,830.95	(1,948,045.60)	(3,196,085.31)
(利益金)	856,708.90	1,086,295.51	3,539,753.68	(3,999,445.81)
流動負債	3,100,384.80	3,839,248.47	5,343,863.26	4,926,799.01
固定 〃	350,788.00	957,767.10	1,422,086.86	4,186,146.64
租税勘定	1,143,467.59	770,510.97	1,779,090.72	5,001,500.89
計	7,757,574.54	10,590,653.00	18,032,839.98	28,309,977.72

ブラ拓は，こゝ数年内に急激に成長しているもので，68～71年迄の4年間に売上高3.1倍，利益4.6倍となっている。組糸の国際的需要の逼迫を反映して，設備を拡大し旧式生産方式から近代的生産方式に切り替えつゝあり，これが功を奏し，そして他の小規模の追随を許さず，伯国に於ける独占体制を固めつゝある。急激な設備投資は，一時的に償却負担がかゝり企業のバランスを崩すことが考えられるが，ブラ拓の場合は生産の伸びが3.6倍になっているにも拘らず，利益4.6倍，積立金3.9倍，自己資本4.6倍と伸びており，さらに自己資本比率も60.9％と，かえって健全化している。これは順調な生産の伸びと共に需要が好調に推移していることの現われと考えられる。しかし，固定負債は4年前に比し，11.9倍と最高の増加を示しており，これは設備投資資金の不足を借入金に頼ったものと考えられるが，それでも負債資本に占める固定負債の比率は17.9％であり，過大な負債とは云えない。

11表に簡単な経営比率を示しているが，何れも会社の健全な姿を表わしている。尚，官報に簡単に表示してある貸借対照表，損益計算書からは荒利益率，売上原価率等の収益比率，総資本回転率，商品回転率等の各種回転率がつかめず，ブラ拓の動態面が把握出来ないので企業の実態をつかむことは困難であるが，本表に示された数字からのみ判断する限り，ブラ拓はバランスのとれた発展をしており，将来に期待がかけられると云える。

（第十一表） プラ拓ＫＫの経営分析表

比率			68	69	70	71
静態比率	流動性比率	流動比率＝流動資産／流動負債×100	114.9	136.1	156.1	247.4
		固定比率＝固定資産／資本合計×100	96.4	91.4	83.3	77.9
	構成比率	流動資産比率＝流動資産／資産×100	53.8	53.2	51.2	52.3
		固定資産比率＝固定資産／資産×100	46.2	46.8	48.9	35.1
		資本構成比率＝資本／負債資本×100	47.8	51.1	58.3	60.9
動態比率	収益比率	総資本収益率＝当期純利益／固定資本×100	12.9	11.0	21.7	17
		営業利益率＝営業利益／売上高×100	18.1	17.9	26.2	11.0

(2) プラ拓製糸の輸出実績と生産量

（第十二表） プラ拓製糸の年次別輸出実績と生産量

輸出先国	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971
スイス	12,600	11,400	1,800	20,400	14,520	28,050	9,300
米国	—	7,800	27,000	21,600	28,500	35,336	19,200
日本	—	—	6,600	9,000	25,610	64,730	110,760
アルゼンチン	—	—	150	1,800	1,300	6,150	7,500
インド	—	—	150	—	—	750	—
ドイツ	—	—	—	—	—	—	3,600
計	12,600	19,200	35,700	52,800	69,930	135,016	150,360
全生産量	75,263	97,563	116,176	145,715	151,759	225,074	295,014

（生糸年度は11～10月であるため，例えば1970年度は1971年度に，各々全生産量は1年ずつ

ずらして記した）

第六表と対比して見ると良く理解出来るが，日本からの有利な取引きオッファーによって伯国の他の会社は，殆んど100%日本向けに競って輸出しているに対して，ブラ拓では，価格の点では，1割以上も不利な米国，ヨーロッパ，アルゼンチンにも輸出し，国際市場の保持に努めている。他の企業に比したゆとりと安定感が感じられる。

(3) ブラ拓への販売方法

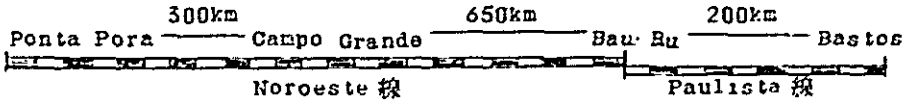
(1) 販 売 形 態

ブラ拓への販売は窓口を農協一本にしぼり，まず，第一に生繭で販売する方法ーブラ拓では，現在自動式製糸機械を使用しているため，一定の温度と時間によって乾繭した原料，即ちブラ拓独自の乾繭機で乾燥したものでなければならないとしており，生繭による買い付けを希望している。しかし，P.J.C市から，Bastos 市までの工程680kmのうち，500km については，アスファルト道路であり，問題なしとしてP.J.C市からRio Brilliante迄の180kmはまだアスファルト化されておらず，豪雨もしくは長雨の場合パ国の様に道路が閉鎖されることはないが，道路がぬかって通行出来ない場合もあり得る。

従って第二の方法としては，アマンバイ農協現有のカフェー乾燥施設を利用して，熱殺処理をした半乾繭として販売する方法である。この乾燥機の調査に来訪したブラ拓KK 谷内技術担当重役によると，本目的のためには，取り入れ口さえ多少改良すれば，そのまゝ充分利用し得る機械であると言明している。このことは生産者にとっては，販売の安全度を増す上に於てきわめて重大な意味がある。

(ロ) 輸 送 方 法

(A) 汽 車 便



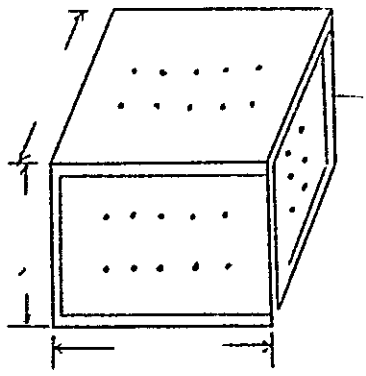
上記の如く，Ponta Pora からBastos迄，汽車便があるが，直通便ではなく，一旦，Bau Ru 迄運び，次にPaulistaで引き返す以外にない。この方法では全工程1,200km にも及び，その上に車輌のつけ替えを行はねばならず，輸送日数は，Ponta Pora駅係員によると，10日以上要すると云う。運賃は，大豆の場合で ton 当約1,100$前例がないが繭の場合で2,500～3,000$程度である。従って運賃はともかく，所要日数の上で少なくとも，生繭の場合は問題にならない。

(B) トラック便

トラック便ではPonta Pora ← 180km → Rio Brillante ← 300km → Pte.Epitacio ← 90km → Pte.Prudente ← 100km → Bastosというコースが最短距離である。PontaporaからRio Brillante迄の180kmは舗装されていないが，現在，砂利を敷きつめ，降雨でも通行出来るよう整備されつつある。

Rio BrillanteからBastosの工場迄，アスファルト化されており，トラックの運送時間は約12～14時間である。トラックには，バストス定期便はないが個人のトラック便は，毎欠かない程度ある。トラック便は，バストス迄往復平均8 ton車（荷は26 ton程）で1,500CrS（3,300¢s），12 ton車（荷積サイ量4 ton）で2,000CrS（4,400¢s）程度でありkgに換算すると，8 ton車の場合，12.1¢s，12 ton車でkg当11¢sとなる。運賃は相当高いものになるが，当面，トラック便による輸送しか考えられない。

輸送は，伯国の他の工場では，袋詰輸送を行っているが輸送中の蒸熱と衝撃により，品質低下を来すので，ブラ拓では，次図の寸法の空気抜孔付ダンボールに縁に木枠をしたものを生産者に配布，この容器に約20kgの生葉を入れて輸送している。（但し，寸法は大した意味はない）



(C) 生産代金決済方法

従来，ブラ拓では，肉眼検査と機械検査（試験引き）によって葉価を決定していたが，近年，工場間の原料の獲得競争が激しく，殆んど検査員の肉眼検査のみで葉価を決定，100％支払う慣例となって来たので，ブラ拓でも，最近では肉眼検査（単位容積当りの粒数と選除葉）のみで90％をまず支払い，10％は試験引後支払うことになっている。

伯国内では，Bastosの工場以外に5つの荷受所があり，工場渡しもしくは荷受所渡しでの生産物受渡し方式をとっている。しかし，アマンバイは将来増産され，荷受所が設置されるまでは，一応正式な輸出入の形式を取るので，工場渡し標準価格を基準とし，LCによる銀行間ドル取引となろう。

(D) 輸出入税免除について

輸出税の免除

パラグァイから綿を伯国へ輸出する際，1972年1月12日に公布された産業組合法令349号第3章第92条及び同法令施行規則第9章第68条により免税恩典が付与されており，アマンバイ農協の名のもとに輸出を行はんとすれば，この法令の適用を受けることになる。即ち，92条には，「協同組合の生産物又は加工品の輸出には，現存又は将来制定される一切の税金を免除する」とあり，又68条の施行規則には，「第92条の規定の適用を受ける免除項目は，次の税金を示す。(1) 印紙税 (2) 関税 (3) 為替税又は，所有税」とある。

輸入税の免除

伯国側では，通常，綿に対しては70%の輸入税，17%の流通税（ICM）の他，工業税（IPI）を課せられ，まともに税を支払うと生産者の手取りは皆無となる。しかし幸いにも伯国には，下記の如き，輸出奨励策があり，この適用を受けると，上記各種の税金が免除されることになる。

(a) DRAWBACK（払い戻し）

71.7.12日公布の法令（Decreto No68.904）第18条，21条に「輸出用製品の原料及びそれに必要な機械部品等を輸入する場合はDRAWBACK即ち，輸入税，その他の税金の払い戻しを行う」と規定されている。

DRAWBACKには，次の三つの適用方法がある。

① 免　税　360 日以内に輸出実績があった場合，税関の積荷確認書を添付して申請した場合は，最初から免除される。

② 支払猶予　Banco Brasil に輸出を行う旨の保証書を差し入れることにより，輸出税の支払猶予。

③ 払い戻し　一旦税金支払後，輸出実績後，払い戻しを行う。

(b) 法　令　1189（1971 1 1 日有効化）

同じく輸出奨励策のひとつで輸出実績を有する企業において前年度に対比して輸出額が増加した場合，輸出増加額の一割の範囲内で輸出商品の資材，機械等を免税で輸入出来るという法令である。

ブラ拓では，当地区から綿を輸入するに当っては，輸入目的とこれまでの実績からいずれの法令をも適用受け得る。従って当地区からBastos へ綿の輸出入に当っては，全く無税で行はれ，単に通関人と銀行の手数料だけの費用で取り引き出来ることになる。通関費用については目下通関人に見積依頼中である。

(E) 繭の買取価格及び蚕種代

（第十三表） 年次別価格表

年　次	1968	1969	1970	1971	1972	1973
伯　貨（CrS）	3.40	3.50	6.00	7.40	850～13.50	11.00～15.00
芭貨換算（$	135	105	156	177	178～ 284	242～ 330

買付対象繭は，精繭のみで，選除繭歩合及び，単位容積当りの粒数で価格を決定する。中繭，玉繭も買い取らないわけではないが，精繭の2割以下の価格に落している。下繭（最大汚染繭），屑繭は買い付けないようである。尚，単位容積当りの粒数検査規格は次の通りである。

容　積	2ℓ当りの繭の粒数	200 粒 以 下	A
		201 ～ 230	B
		231 ～ 261	C

（第十三表） 蚕 種 代 （日支交配種）1g当り

	1970	1971	1972	1973
伯　貨（CrS）	0.75	0.75	1.00	1.30
芭貨換算（$	19.5	18.0	21.00	28.6

4. 伯国の蚕具価格と当地区導入方法

蚕具・当地区への導入方法

一ケ所で全ての蚕具を取り扱っている蚕具専門店は存在しないようである。しかし，下記の蚕具は各取扱店からブラ拓が自社用に多量安価に取得している。

蚕具名	単　価	備　考	蚕具名	単　価	備　考
蚕　網	260CrS	メートル当り	ポリプロン布	3.80CrS	メートル当り
庖　丁	55.00		石　灰	0.30	kg
温 湿 計	1.500		ネアンチ・ナセッコ	13.00	kg
箕	3.50		ホルマリン	273.76	200ℓダンボール
ガスコンロ	172.00	一　式	クロール石灰	2.50	kg
剪定バサミ	30.00		毛羽取器	200～500	手廻　～　動力
鋏	6.00		プラスチック	400	10g（1箱）用40組

このうちから当面，当地区で必要分のみ割譲を受けるという方法が最も簡深，且つ安価である。なお，ブラ拓銅と交渉の結果，延べ払い方式で必要蚕具の貸与了承を得た。

（しかし，当地区で作成出来る蚕箔，簇（ムカデ）等は別として）

蚕具の当地区への導入は農協の名により，正式に免税輸入出来るが，伯国側pontaporra市宛へのNota Fiscalさえあれば，正式な輸入手続を取らなくとも，P．P市到着後は，P．J．C市へは全くフリーパスである。蚕具の輸送及び一車まとまらない場合の生産繭の輸送については，当地区に養蚕を推奨した中川保五郎氏（伯国Doracera在）がこれを引き受けてくれる手筈もついた。

Ⅵ 後　　論

今回の市場調査から，生糸も国際商品であって，「国際情勢は常に激動し時として急激に変化する」という原則の不安は別として，少なくとも否定的な材料は見当らず，こゝ当分極めて有望と判断される。又，アマンバイでの当面の販売先ブラ拓ＫＫにしても長年苦難の歴史を経てきた実力随一の会社であり，伯国では充分信頼のおける会社と断定してもあやまちはなさそうだ。当のブラ拓はまだ僅か１０家族というアマンバイ地区養蚕農家に対しても目先きの利益に固執せず，アマンバイ移住地救助の使命感から歌い上げ，当地区入植者を感激させるところは，仲々巧みな商法である。その背景には蚕糸業の見通しに対する強い自信と，業界では原料確保のための布石としての必要性が深刻化しているとの内情が読みとれる。

採算の点について云えば，アマンバイ，パストスの場合，運賃，通関手数料は余分にかかるが，ISEPSAと比較して買い付け繭価は高いので相殺すると，少なくとも同条件となろう。（現在試算中）　特にブラジルは繭の品質規格がISEPSAに比して一段と低いため，生産者にとっては有利と云える。

近い将来，Brasminのクリチーバ工場が操業を開始するとイグアス，エンカルナシオン間とほゞ等距離にあるイグアス移住地は，いつまでもISEPSAの事業区域とはいっておられないことになろう。その場合ISEPSAとしては，早期に製糸工場を設置して，繭の付加価値をつけ，より高く買い取るか，もしくは，自由競争をさけ，原料の輸出禁止措置を政府に申請して独占体制を敷くか，２つの方法しかない。何れにしても早晩，パ国の養蚕は伯国の影響を受けることになろうが，見通しは明るいと判断される。

以　上

2. ブラジルにおけるハッカ栽培及び流通状況について

I 調査の目的

イグアス移住地における営農方針の最終目標は，牧畜経営であるが，これに移行するまでは他の作目に依存しなければならない。現在は蔬菜雑作，中小家畜にこれをしぼっているが，非常に不安定な状態にある。

将来の牧畜経営を有利に進めるには，ある程度の面積の確保が必要であり，又，出来得るならば，土地代，開墾費，牧野造成費を他の作目で消化することが望まれている。

以上の観点からマイス，大豆，並びにハッカなどが取り入れられているが，このうちハッカが上記の要素を満すものであるか否かを判断する一助として，イグアス移住地が地形，土壌，気候的にパラナ州北部と類似していることからブラジルにおけるハッカ栽培方及び販売流通状況を調査した。

II 調査期間

1973年2月12日〜2月25日

III 調査者

パラグァイ農業総合試験場

イグアス事務所

IV 調査地

ブラジル国パラナ州及びサンパウロ州

V 調査内容

1. ブラジルのハッカ栽培生産状況について

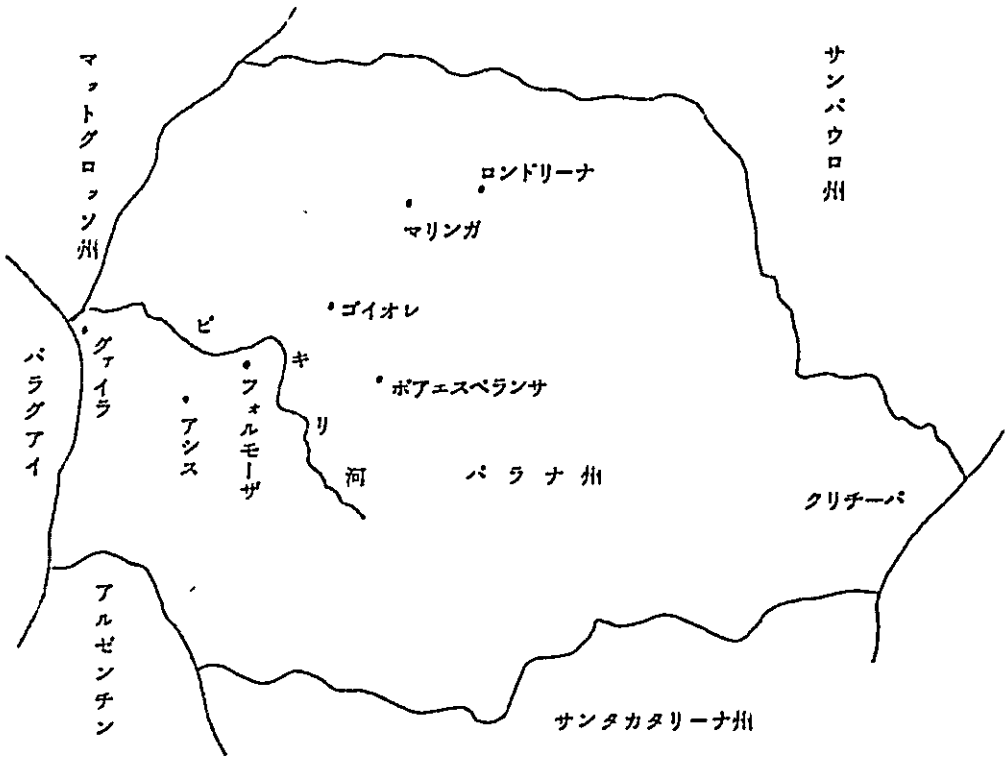
ブラジルのハッカ栽培はアサイから始ったと云われており，パラナ州が現在もハッカの主要生産地である。しかし，パラナ州クリチーバ市にあるパラナ州農務局（SECRETARIA DA AGRICULTURA DO ESTADO DO PARANA）では，その栽培生産状況を把握しておらず正確な数字を得ることは不可能であった。ただ，ブラスメントール社（BRASMENTOL S.A）が生産量から割り出した資料によると昨年の生産量，栽培面積，生産者手取価格は次表通りである。

年　　度	生産量（取卸油）トン	栽培面積（アルケール）	生産者手取額
1963/1964	1,700 トン	14,000	3.2CR$
64/65	1,850	16,000	11.0
65/66	2,100	17,500	8.0
66/67	1,800	15,000	95
67/68	1,700	14,100	101
68/69	1,900	15,800	11.2
69/70	2,650	22,000	19.0
70/71	3,000	25,000	33.0
71/72	4,500	37,500	325
72/73	5,000	40,000	30.0

また，サンパウロ市のIBGE（INSTITUTO BRASILEIRO DE GEOGRAFIA e ESTATISTICA）によると1957年～1961年における，ブラジルのハッカ原油（取卸油）及び原料（茎葉）の生産量は次表の通りである。

年	サンパウロ州		パラナ州		ブラジル	
度	取卸油	原料	取卸油	原料	取卸油	原料
57	214 t	5,341 t			214	5,341
58	285	4,132			285	7,132
59	175	4,368	212		387	4,368
60	165	5,500	404	13,466	569	18,966
61	188	6,263	821	27,369	1,009	33,632

パラナ州ではハッカ栽培地帯を新地帯（ZONA NOVA）旧地帯（ZONA VELHA）と区分されている。



前図においてピキリ河より北方，マリンガ，ゴイオレ等は以前からの栽培地帯で旧地帯，ピキリ河より南方，アミス・シャトウブリアント，グアイラ，フォルモーザ等を新地帯と言っており，1971年～1972年の生産量（取卸油）はマリンガ700～800t，ゴイオレ600t，その他100tで，旧地帯の計が1400～1500t，新地帯は約3,000tと推定され合計4,500tと云う数字を出している。

なお参考までに主なハッカ生産地は次の通りである。

Ascis chataubriand, Nova aurora, Sta. terezinha, São miguel do iguaçu, Mediareira, Matelandia, Ubirata, Formosa do oeste, Cau azul, Marechal cendido rondon Polotina, Guaira ・・・ パラナ州の約65%を生産する。

Barbosa Ferraz, Ferix, Bom Sucesso, Peabiru, Engenheiro beltrão, Campina da lagoa Itanhe, Quinta do Seel ・・・ パラナ州の約35%を生産する。

このように生産量等前表の数字は推定であり，又一業者の把握した数字であるが，大体におい

てブラジルのハッカ生産を知る一助にはなるであろう。

ハッカは新墾地で3〜4年栽培し，後は放棄し，又他の地方に新しい土地を求め，栽培地が移動し，肥沃なテーラ・ロッシアを求めてパラナ州の奥地へと栽培地が広がっており，前図でも推測できるように，栽培地は旧地帯から新地帯，即ち，ピキリ河流域を東から西へパラグァイの方へ移動しつつある。

パラナ州農務局技師DR.DIARMA FARACO，BRASHENTOL S.A. BRADWAY S.A.等，ハッカ関係業者及び現地で買付けに当っている人達は「ハッカ栽培は原始林の伐開地を利用し，4年位で新しい土地へ移るが，パラナ州内ではそろそろ先行が見えて来た。施肥，雑草防除等をして跡地の利用を図らない限り，将来はパラグァイへ生産地が移動するのではなかろうか」と言っていたが，肥料を施し，古い土地を利用し，それで採算がとれなければ，自然と生産地が移動することも十分考えられる。また，施肥をし，古い土地を利用している人はいないようである。実際の栽培はMEIA（分益）が殆んどで，雇用主が山伐り，蒸溜装置等の設備投資を行い，雇用主と歩合者の取り分は50％対50％が普通である。

ハッカは極めて，酸性に弱く最適PHは6.5であるがPH5以上が必要とされている。土壌は排水の良い，壌土ないしは砂壌土が良いとされているが，テーラ・ミスタ（砂壌土）地帯では1〜2年は良いが3年目になると収量がガタ落ちし，その点テーラ・ロッシヤは非常にハッカ栽培に適した土地と云える。それでも4年以上連作するとサビ病や，ラガルタ（夜盗虫），シガリーニヤの発生が多くなり，またリン酸，カリが欠乏し，酸性が強くなるため新しい土地に移動しなければならないと云う。

前述DR.DIARMA FARACOによると，ハッカ栽培に対する融資は一般商業融資より2〜3％利子が安く，15年の営業計画を作成し，担当の農業技師のサインが必要であると云うが余り利用されていないとのことである。

2. 生産費について

パラナ州のハッカ生産者の半数以上は日系人であり，アミス近辺の大規模栽培では300アルケール（750ha）と云う農家もあったが，一戸当り平均栽培面積は2〜2.5アルケールであった。従って，パラナ州のハッカ生産費を計算する場合，大面積栽培と小面積栽培，蒸溜装置所有如何によって差異があるが，1つの目安として，パラナ州農務局のデータとアミス近辺の栽培農家を参考にして，生産コストを見ると，次の通りである。（アルケール当り）

	CrS（クルゼイロ）
(1) 第1年目固定資本投資	
土地代	8,000
伐開費	650

寄焼整地	400
蒸溜装置（20アルケール用でアルケール当り）	365
運搬用具購入	480
施設費	3,000
計	12,895

4年間連作するとして，1年当りの固定資本投下額は12,895CrS ÷ 4年 = 3,224CrS となる。

(2) 年度別生産費（償却費，修理費を除く）

第1年目

固定資本投資額		3,224CrS
植付費用		300
除草管理	@100×4回	400
収穫費用	@300×3回	900
蒸溜人夫賃	@15×3人×3回	135
計		4,959

第2年目

固定資本投資額	3,224CrS
除草管理	400
収穫費用	900
蒸溜人夫賃	135
計	4,659
第3年目	4,659
第4年目	4,659

従って，ハッカ栽培期間における生産費計は，18,936CrS となる。

(3) 年度別生産費

第1年目	75 kg
第2年目	225
第3年目	150
第4年目	120
計	570 kg

従って，ハッカ取卸油生産量は4年間で570kgとなり調査時点においては原油1kg 当りの

生産費は18,936÷570≒33CrS となる。

本調査時点ではブラジル全体の植付面積が40,000アルケール，予想生産量（72/73）が5,000～5,500トン と云われ過剰生産状態であった為，原油kg当り単価が25クルゼイロと安く，上記試算の生産費を割り生産者にとっては，非常に苦しい状態であった。

3. 栽培品種について

ハッカの栽培種には，次の4種類がある。

(1) 日本ハッカ（Mentha arvensis L.）

日本，中共，台湾，ブラジルで栽培され，収油率は乾草の1.23～1.6%で，メントール析出率は平均50%である。（脳分5割）

(2) 西洋ハッカ（M.viridis L.）

北米，イギリス，ヨーロッパで栽培されスペアミント，スピカータ，緑ハッカ，オランダハッカと言われ賦香用に供される。収油率は0.7%。メントールを含んでいない。

(イ) ミッチャム（M.piperita L.）

ハッカは香りが良いメントールを含むが析出出来ない。なお，イヌハッカ（M.peraregogium L.など）と云われるものは，メントール臭はあるが脳分の析出は出来ず，かつ香りが悪く，商品にはならない。実生が生育すると（ハッカは自家不和合と云われる。）ウマ（馬）ハッカとなる。

ブラジルではサンパウロ州のカンピーナス農業試験場で第2次世界大戦後に多くのハッカを集め，品種比較試験を行った。その結果，1956年に新品種Campinerro 701号（M.arvensis）を選び出した。その後Camprineiro 702，704 etc が作出されたが乾燥に弱い等の欠点で淘汰された。

このCamprineiro 701号は，ブラジル在来種と日本ハッカの赤円種を交配させたもので，乾燥に強いという長所を持っておりブラジル及びパラグァイにまで普及した。しかし，既に20年以上も栄養繁殖を続けており，実生も混るのでかなり退化していることは事実である。この為，新しい品種の導入が必要となっているが国，あるいは州で特別の試験研究は行っておらず，ただ2－3の業者が日本 → 台湾 → ブラジルのコースで（気候に慣らす為）三業，同交等の品種を試験的に栽培している程度である。

4. 主要ハッカ生産地の気象

別添Ⅰ参照

5. ブラジルのハッカ輸出状況

別添Ⅱ参照

6　ブラジルにおける一般的な栽培方法

(1) 適　　地

テーラ・ミスタより地力のあるテーラ・ロッシア地帯に多く栽培されている。場所は霜の降らない平坦な新開地が多く古い土地の場合は，1年目は良いが2年目からは雑草が生えて，ハッカの生育が非常に悪くなる。

雨は生育期に普通の作目より若干多く必要であるが，収穫期には雨量が多いとサビ病が発生して葉が落ち，又乾燥中に葉や茎に雨が当ると油腺がこわれて減収になるので，収穫期に雨量の少い所が良い。またハッカは酸性に弱く，P.H 5以上が必要でPH 6.5が最適である。連作するとサビ病やアブラ虫が発生し，またリン酸とカリが欠乏し，土地が酸性になるからよくない。

(2) 整　　地

12月～2月の間に山伐りし，整地はとうもろこしや大豆を植えるときよりきれいにする。

(3) 苗 作 り

すでにハッカのある場合は，畑にある20cm位の新芽をすぐ定植するが，無い場合は苗床を用意する。できるだけ根の新しいのを用意し，それを5cm 位に切って苗床にベタ播きし，2～3cm 位覆土する。その後雨の降らない場合は，芽が出るまで灌水する。もし旱魃の場合は，覆土の前日に十分灌水すると成績が良い。苗作りは5～6月に行う。

(4) 定　　植

時期は7月～10月末までの降雨のあった1日後，あるいは雨の日に植える。苗は苗床から20cm位のものをとる。植穴を掘り1本づつ植えて手で回りの土を入れ，足で踏み固める。植付間隔は，小面積で人手があり初めから多量の収穫を期待する場合には，畦巾30cm，株間13cm にする。しかし初めの収量を期待しない，あるいは大面積の場合は 巾を15m～16m，株間を30cm位にする。この場合1回切った後，地下茎がはっていっぱいになる。

(5) 管　　理

80日位で初めの収穫が始まるがそれまでに除草を1～2回行う。病気はサビ病が一番多いが防除にはジタネB22，チオロッテetc の硫黄剤を使う。チオビッテの場合は1アルケール当り2kg を使用する。夜盗虫が発生することがあるが，これにはホリドール75%とDDT25%をまぜたものが良く効く。

(6) 収　　穫

収穫適期は定植後80～90日で花がチラホラ咲きかけたときである。収穫がこの時期より多少遅れるのは，そう心配ないがこれより早い場合には収量が落ちる。収穫はエンジャーダ

（大グワ）で地際からきれいに切り取り，切った後半日位そのままにしておき，それから蒸溜装置に運ぶ。この場合余り長く乾かすと葉が落ちて油量が減る。尚，乾燥しすぎたときは朝露のある内に運ぶようにする。大体収穫の順序は９月植の場合は翌年の１月と４月～５月に収穫し，７月～８月，地下部の成長を促すため，地上部を切りすて，１１月～１２月，次の年の２月～３月，５月～６月に収穫する。２年目までは収穫回数も収量も大であるが３年目は若干落ちる。

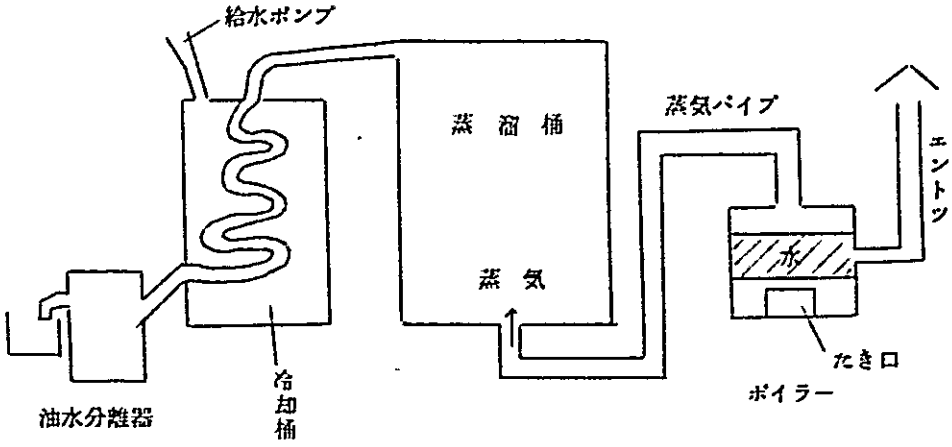
なお油を含む油腺は，葉と花に多く葉の場合は上の葉程多い。日本ハッカでは油の９５％が葉からとれ，５％が茎からとれると云われている。

(7) 収　　量

ハッカ取卸油１アルケール当り

初年度	70 ～ 80 kg
2　〃	200 ～ 250
3　〃	150

(8) 採　　油



採油は上図のようなアランビック（蒸溜装置）を使う。畑で適当にしおらせたハッカを蒸溜桶に詰みつけて十分につめ，ボイラーで作った蒸気を下から通して水蒸気蒸溜する。出て来たハッカの蒸気は流水を通した冷却器の中の蛇管を通る内に液化する。それを油水分離器に入れてその上に浮いた油を採取する。

（注）日本ハッカの場合

生草又は乾草 → （水蒸気蒸溜） → 取卸油（原油） → ハッカ脳 Menthol crystal
→ ハッカ油（又は脱脳油） Peppermint oil

西洋ハッカの場合は

取卸油を精製してハッカ油とする （Peppermint oil）

ハッカ脳はとれない。しかし油の香りがよい。

従って，日本ハッカの脱脳油の香りのよい品種を作れば最も理想的となる。

7. ブラジルにおけるハッカの流通状況

ブラジルのハッカは主に次の会社が扱っており生産者の半数以上は日系人である。

ブラスウエイ	中国系
ブラスメントール	日系
ユングゼング	中国系
三井	日系
Y S C	中国系
メンタ・キミカ・ガッファ	イタリア系
ミネラション・ワーション	中国系
ジェルベルゲン	ドイツ系
アロマテーナ	

東洋人が多いということについては，古くからハッカ栽培に慣れており，又相場の変動にもある程度慣れており，新しい人はこれについて行けないこと，日本，中国にはハッカに関する文献が多くあるが他の国には無いこと等があげられるとのことである。

一般には栽培者 → 加工工場 → 輸出（主にニューヨーク市場）と云う形をとり，最近は仲買人，ブローカーは少くなっているとの事であった。政府のハッカに対する援助はINSENTIVO FISCAL（ある企業が利益をあげ，所得税を支払う場合，税を支払う代りにその税金相当額を他産業に投資出来るという企業家に対する税制上の特典）が適用されている。しかし栽培者に対する投資は現実は無いに等しく企業に対する援助だけである。

以前はCOMPRADOR（仲買人）が生産者から取卸油を買取り，1kg当り1CrS の手数料で会社へ送していたが現在は各社の支店が生産地に出張所を置き，直接取卸油の買付に当っている。

調査時点では取卸油kg当り25CrSであったが，天候の関係で豊作，不作が極端であるため相場の変動巾が大きいと云う。ブラジルでは昨年（1972年）11月までは非常に降雨量が少く11月〜12月の収穫が少なかった為，価格が高騰した。このように，ハッカの価格を左右するのは第1に気候条件であるという。

VI 調査所見

当イグアス移住地の最終目標営農形態である，牧畜への移行前作物としてのハッカ栽培については，開墾面積を広げるということ，及び残木を燃料として利用し，ある程度の熟畑化を計るという意味においては利点が考えられる。

しかし，当移住地の現状を見るに，ハッカ以外の雑作を2〜3年行い，雑作の収益で開墾費用をカバーし，その後，牧草を植付けるという方法が一部採られているが，現実には計算通り行かず，後の管理，特に除草に多大の賃金，労力を費しているのが現状である。牧畜経営の根本である草地造成については，今後研究しなければならない問題が多々あるが，現状では森林伐開直後の牧草播種が雑草を抑える意味で一番効率的である。但し，ハッカ栽培と牧畜経営の結び付きを考えた場合牧畜経営を早期に安定させ，収益を高める為には牧野面積の確保が絶対必要な条件と考えられ，このことから，ある程度広い面積をこなせる作目であるハッカは，この意味において検討されるべきものと思われる。

市場性及び流通状況については，2〜3の業者の説明によると，価格の高低はあくまでも，天候が左右するものであるという。しかし，ハッカを考えた場合，貯蔵が利くものであり，しかも世界の需給関係より見て，油料と同様，価格が一定しておらず，余り期待出来ないようである。

南米諸国の場合，ハッカは自国内消費には余り期待が持てなくあくまで国際市場に結びつく輸出に頼らなければならない。それには，かなりまとまった量の確保が必要であり，その為には蒸溜装置の設置等の問題もあり，まとまった，生産団地の形成が必要となる。

以上よりイグアス移住地におけるハッカ栽培には，次の諸点が考察される。

1. ハッカ栽培は新墾地を利用するため，伐開速度が進み蒸溜装置の燃料として倒木を利用する為，ある程度，畑が整理される。
2. そのため，将来の牧畜経営の前提条件である，牧野造成面積の拡大の一助にはなり得る。ブラジルのハッカが，開墾過程の中間作物として発展して来た現実は無視出来ない。
3. しかし，現段階では雑作跡地への牧野造成状態よりみて，森林伐開直後に草地を造成することに比較して，ハッカ跡地の牧野造成が多大の有利性があるとは必ずしも思われない。
4. 世界の需給関係よりみて，安定作目とは云い難く，又，価格も不安定である。
5. 植付，管理，収穫とも機械化は当分望めなく，人夫賃の高騰によりハッカ経営は今後，安定を期待しがたい。

以上やゝ悲観的な所見となったが，要するにハッカも他の換金作目と同じような問題をかかえているようである。しかし日本では蒸溜粕が乳牛の最も好む飼料であること，取扱油の輸送，貯蔵と云う面で他作物との比較から経営にどう取り入れるかが問題となろう。

別添 I　ブラジルのハッカ輸出状況

年度 / 区分 / 国名	1960		1961	
	数量 (kg)	金額 (US$)	数量 (kg)	金額 (US$)
ソヴィエト				
南ア連邦			990	11,650
セネガル				
ケニア				
スペイン				
西ドイツ	9,645	110,173	22,138	296,425
オーストラリア				
ベルギー, ルクセンブルグ			1,002	13,079
カナダ			2,357	32,368
チリー	200	3,533	150	2,025
コロンビア				
アメリカ合衆国	288,042	3,284,282	510,106	6,952,829
フイリッピン				
フィンランド			600	8,046
フランス	209	2,297		
ホンコン	2,285	37,427	7,380	94,872
イタリア			300	3,900
ブルガリア				
インド				
マレーシア				
メキシコ				
ニュージーランド				
オランダ	1,150	17,443	10,321	137,881
ペルー				
イギリス	42,791	515,907	46,247	605,027
スエーデン	1,110	11,975	2,464	31,621
コーデシア				

1962		1963		1964	
数 量 (kg)	金 額 (US$)	数 量 (kg)	金 額 (US$)	数 量 (kg)	金 額 (US$)
		35,000	224,000	13,000	88,845
816	7,094	1,124	7,633	3,884	21,127
				200	1,320
82	757	88	476	82	575
		500	2,808	2,000	10,368
40,307	362,224	43,766	260,342	21,802	125,524
		900	5,198	4,260	23,945
3,342	28,369	21,938	125,618	2,343	13,147
7,286	68,093	9,391	52,828	5,751	36,759
712	6,606	1,397	9,256	2,540	15,119
		1,712	12,062	1,160	13,403
651,745	5,728,288	745,868	4,341,123	620,630	3,491,819
1,360	10,615	4,356	25,476	4,520	25,390
1,661	15,942	1,000	6,283	914	5,373
27,406	227,038	114,050	651,195	26,603	81,356
40,154	346,342	125,866	736,521	139,749	794,440
1,596	14,484	9,312	55,624	1,848	10,493
6,571	63,737			1,500	11,574
3,815	28,858	5,840	33,401	1,361	8,012
		3,814	22,343	454	2,548
1,560	14,261	7,362	42,530	6,069	36,231
				593	3,076
24,681	206,122	34,671	200,282	19,157	105,054
		200	1,051	683	5,780
91,229	792,786	152,055	877,128	107,374	599,060
4,200	37,999	5,222	33,689	3,266	15,876
660	6,864				

年度 / 区分 / 国名	1960		1961	
	数量	金額	数量	金額
スイス	100	1,587	600	7,782
チェコスロバキア			9,060	140,959
ウルグァイ				
ベネズエラ				
サルバドール				
ナイジェリア				
ポルトガル				
ガーナ				
アルゼンチン			1	13
タイ				
シンガポール				
デンマーク				
イスラエル	100	1,298		
ユーゴスラビア				
ハンガリア				
ジャマイカ				
ホンジュラス				
ニカラグァ				
東ドイツ				
日本				
ノルウェー			425	5,243
パナマ				
パキスタン				
パラグァイ				
その他				
合計	345,632	3,985,922	614,143	8,343,720

1962		1963		1964	
数量	金額	数量	金額	数量	金額
400	4,746	9,000	52,841	100	3,340
14,460	134,899	6,760	51,334	13,204	91,632
48	528	382	3,667	82	546
91	990	1,400	8,064	350	2,468
		1,000	5,617	1,012	5,687
				4,545	24,155
258	2,493	263	1,751	192	1,397
		102	871		
		326	1,834		
		1,200	8,328		
1,143	11,607	2,237	13,330		
112	1,335	5,202	30,721		
925,695	8,123,077	1,353,304	7,904,825	1,011,528	5,675,469

年度 / 区分 / 国名	1965		1966		19
	数量	金額	数量	金額	数量
ソヴィエト南ア連邦	2,485	12,709	599	6,629	1,110
セネガル	480	2,596			
ケニア					
スペイン	100	670			
西ドイツ	21,601	111,489	6,205	60,761	28,258
オーストラリア	907	4,508	500	4,428	291
ベルギー ルクセンブルグ	1,133	5,565	1,598	17,983	
カナダ	12,653	65,633	2,949	30,345	4,528
チリー	2,299	19,015	5,444	61,783	3,622
コロンビア			160	1,417	200
アメリカ合衆国	517,699	2,905,690	770,432	7,599,293	904,426
フィリッピン	3,542	17,510	3,000	23,982	11,261
フィンランド	326	2,928			
フランス	10,518	33,689			2,684
ホンコン	30,070	130,402	20,905	226,843	78,846
イタリア					743
ブルガリア	4,640	27,469			20,000
インド	2,295	11,370			14,626
マレーシア					
メキシコ	3,188	27,018	20,061	200,539	9,915
ニュージーランド	130	1,000			305
オランダ	19,591	124,971	7,703	75,337	68,758
ペルー	200	1,860			480
イギリス	18,647	372,267	20,942	177,505	103,030
スエーデン					506

67	1968		1969		1970	
金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
8,976	2,627	20,673	4,596	30,127	3,517	27,111
226,927	66,338	505,560	57,684	377,757	64,642	514,139
2,262	681	5,175	6,816	46,556	2,433	17,264
	5,498	38,972	12,065	78,496	5,000	39,680
35,871	13,159	97,813	1,648	11,680	3,924	32,463
34,277	3,400	29,386	5,214	40,466	7,349	69,291
1,808	1,040	9,641	3,084	23,169	8,503	71,707
7,291,500	983,884	1,647,713	885,652	5,790,497	637,713	4,714,609
97,346	44,249	355,290	26,901	181,806	38,641	262,890
	200	1,556	200	1,296	200	1,898
20,868	51,874	381,524	23,593	159,372	19,454	137,373
630,754	58,520	435,178	134,313	891,530	233,396	1,863,227
6,249	800	5,782	2,386	15,465	5,586	43,452
156,000	10,016	78,024	28,051	189,297		
116,947	5,223	37,866				
					3,060	26,832
86,229	28,647	224,054	26,653	177,763	39,338	324,157
2,374	306	2,149	752	5,013	504	3,267
541,489	26,601	576,131	164,465	1,081,140	13,446	1,282,971
5,142	1,776	9,827	1,563	10,804	1,710	13,223
828,525	120,847	875,286	72,497	585,427	77,368	605,984
3,943	2,564	18,001			4,409	34,440

年度 / 区分 / 国名	1965		1966		19
	数量	金額	数量	金額	数量
スイス	816	6,057			
チェコスロバキア	13,808	126,464	7,856	85,846	8,768
ウルグァイ	822	6,235			542
ベネズエラ	370	3,450	780	10,035	1,036
サルバドール			1,000	7,994	
ナイジェリア					
ポルトガル	163	1,008			
ガーナ			816	9,356	
アルゼンチン	4,381	40,634	1,554	19,080	
タイ			480	4,148	4,536
シンガポール					
デンマーク					
イスラエル					41
ユーゴスラビア					2,512
ハンガリア					
ジャマイカ	640	3,180			
ホンジュラス					
ニカラグァ					1,000
東ドイツ					
日本					
ノルウェー	507	2,461			
パナマ					110
パキスタン	104	577			
パラグァイ					
その他					
合計	724,115	4,089,443	672,984	8,623,308	1,272,134

67	1968		1969		1970	
金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	1,280	9,664	6,125	39,688	512	4,854
74,902	4,016	46,968	8,000	52,910	14,400	122,795
6,225	533	6,145	182	1,500	320	3,417
9,348	2,304	18,188	1,712	11,287	5,702	45,043
	1,000	7,399	1,496	9,645		
					2,604	23,953
38,220	2,268	15,139	15,753	101,206	11,222	112,892
	512	3,982	3,008	19,985	9,648	83,364
	181	1,274	181	6,176	181	1,196
564	164	1,704	163	1,704	326	3,720
19,974	1,008	7,840				
	3,919	30,483				
	855	6,652	4,256	8,413	720	4,762
	549	4,073				
8,708	1,008	7,844	11,431	75,852	13,064	88,200
					100	992
			504	2,916	572	5,355
					1,512	10,000
995					834	7,932
					2,195	16,940
10,256,443	1,397,349	10,544,975	1,527,944	4,024,993	1,378,155	10,621,399

別 添 Ⅱ　主要ハッカ生産地の気象

ロンドリーナ

1. 平 均 気 温

年＼月	1	2	3	4	5
1961	23.3	23.7	22.4	20.7	17.3
1962	22.8	23.1	—	20.0	16.6
1963	23.9	23.2	23.3	20.3	17.3
1964	24.5	23.0	23.0	22.3	17.2
1965	22.9	23.1	20.3	20.7	17.4
1966	23.9	24.8	22.6	20.6	17.7
1967	23.0	23.7	23.0	21.8	20.1
1968	22.7	23.1	22.9	28.2	15.5
1969	24.3	24.7	24.1	20.3	18.5
1970	23.9	22.9	23.2	22.2	20.1
1971	24.6	24.4	23.8	20.6	18.4
平 均	23.6	23.6	22.9	20.9	17.8

2. 湿　　度

1961	82	80	80	81	81
1962	77	77	—	77	77
1963	86	83	81	71	72
1964	68	82	73	77	58
1965	81	82	78	78	79
1966	79	79	78	78	87
1967	81	83	84	65	59
1968	76	69	77	71	70
1969	76	78	70	75	74
1970	73	82	78	71	75
1971	74	76	78	78	80
平 均	78	74	78	75	74

6	7	8	9	10	11	12	平　　均
16.4	17.3	17.6	21.8	22.2	22.6	22.8	20.8
14.6	14.0	20.4	19.7	19.0	21.1	23.3	19.5
15.8	17.3	19.4	22.8	21.9	28.4	22.9	21.1
15.4	21.3	18.2	20.2	20.5	21.1	21.1	20.1
17.0	16.6	19.0	20.8	20.1	26.8	22.9	20.6
17.3	16.8	17.4	18.9	20.7	22.6	24.4	20.6
16.4	17.2	20.5	21.2	22.9	22.4	22.2	21.2
17.8	16.5	17.2	19.8	21.6	24.4	24.0	20.3
17.5	19.1	18.8	21.4	19.8	22.7	22.9	21.0
18.9	16.7	17.9	18.9	22.4	21.7	24.3	21.1
16.5	15.6	18.7	20.1	21.1	22.4	23.1	19.9
16.7	16.9	18.8	20.5	21.2	23.0	23.1	

82	71	63	71	69	77	76	76
77	74	67	76	77	93	80	79
71	64	57	57	76	78	72	72
60	78	75	70	72	72	85	73
84	78	70	52	75	70	62	74
91	76	66	67	74	69	74	77
74	73	65	64	69	71	74	72
77	76	65	56	64	66	72	70
75	72	64	62	72	76	67	72
78	72	63	75	71	59	70	72
78	76	67	67	68	62	78	74
77	74	66	65	72	72	74	

3. 降　水　量

年＼月	1	2	3	4	5
1961	270	266	55	244	52
1962	149	137	—	46	58
1963	376	225	90	62	19
1964	105	468	118	115	64
1965	372	147	78	198	199
1966	134	189	134	111	97
1967	206	107	93	32	0
1968	369	63	204	89	36
1969	209	213	90	90	95
1970	153	135	179	68	63
1971	204	142	109	69	143
平　均	232	190	115	96	75

マ リ ン ガ

1. 平 均 気 温

1961	24.3	24.7	23.8	21.8	—
1962	—	—	—	—	—
1963	—	—	—	—	—
1964	24.8	25.3	22.9	24.4	18.3
1965	27.3	24.6	22.8	25.3	21.1
1966	24.6	25.2	23.8	25.8	18.9
1967	23.6	24.5	23.7	23.8	22.0
1968	23.9	24.5	24.2	19.5	17.3
1969	20.2	26.1	25.4	21.5	19.7
1970	25.4	24.5	24.2	23.0	21.6
1971	24.2	24.3	23.5	20.4	—
平　均	24.9	24.9	27.9	23.3	19.8

6	7	8	9	10	11	12	合計
66	10	33	50	196	200	150	1,592
63	192	74	26	214	160	198	1,417
29	10	11	53	224	184	112	1,345
113	46	64	55	192	89	218	1,647
84	148	71	50	176	65	363	1,951
21	72	8	78	211	70	141	1,296
172	51	29	35	93	196	131	1,141
33	79	80	13	161	97	124	1,342
145	37	67	13	190	172	184	1,615
181	157	130	154	149	41	299	1,909
160	157	121	117	69	28	306	1,625
97	87	63	77	170	118	223	

—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	23.8	—
16.2	16.9	21.2	24.7	22.5	25.5	22.6	22.0
18.7	17.3	18.6	23.8	22.0	26.0	22.6	22.2
18.8	17.0	18.7	20.1	21.0	24.0	25.4	22.3
17.6	19.0	22.4	22.8	24.4	23.9	23.8	22.6
18.2	18.3	18.2	20.9	—	25.9	24.9	21.4
18.1	18.7	19.9	22.5	20.9	25.6	21.2	21.9
19.3	11.7	19.6	19.0	21.3	21.6	24.0	21.9
—	—	—	—	—	—	—	—
18.1	17.4	19.8	22.2	22.0	23.7	23.5	

2. 湿　　度

年＼月	1	2	3	4	5	6
1961	74	76	75	78	—	—
1962	—	—	—	—	—	—
1963	—	—	—	—	—	—
1964	83	78	67	71	68	73
1965	68	84	64	66	83	70
1966	75	73	69	54	72	67
1967	74	75	76	58	49	67
1968	73	59	71	62	64	68
1969	70	72	65	70	67	70
1970	68	73	74	65	69	73
1971	70	76	79	69	—	—
平　均	71	72	69	62	67	69

3. 降　水　量

1961	259	165	154	407	—	—
1962	—	—	—	—	—	—
1963	—	—	—	—	—	—
1964	115	340	131	100	74	118
1965	280	168	144	221	189	93
1966	186	152	203	160	140	40
1967	236	136	71	100	60	279
1968	247	46	256	115	50	33
1969	287	226	111	56	159	145
1970	237	82	189	21	124	120
1971	207	238	188	111	—	—
平　均	212	164	157	114	113	118

7	8	9	10	11	12	平　均	備　考
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	67	—	
—	—	58	63	64	75	—	
67	60	60	67	58	82	69	
67	65	56	63	59	63	65	
64	54	59	62	54	64	63	
56	52	49	—	59	68	62	
61	57	57	47	70	61	66	
65	59	69	68	60	72	68	
—	—	—	—	—	—	—	
63	57	58	65	60	68		65～70の平均

—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
42	87	41	127	72	44	1,391	
99	74	35	255	184	252	1,894	
47	56	84	201	54	88	1,411	
108	8	50	100	101	85	1,334	
130	69	23	210	169	153	1,501	
33	10	94	210	92	112	1,565	
85	89	162	142	57	203	1,411	
—	—	—	—	—	—	—	
77	56	69	177	89	148		64～70の平均

グ ア イ ラ

1. 平 均 気 温

年＼月	1	2	3	4	5
1963	27.6	28.0	24.2	19.9	17.7
1964	24.8	24.5	23.5	23.0	15.6
1965	23.9	25.0	21.1	20.9	17.6
1966	28.1	24.9	23.2	21.0	19.8
1967	24.4	24.8	24.0	21.2	14.5
平 均	25.2	25.0	23.2	21.2	18.0

2. 湿 度

1963	77	79	82	79	87
1964	73	82	75	82	84
1965	79	84	83	85	87
1966	80	83	81	82	85
1967	80	85	82	75	72
平 均	78	83	81	81	83

3. 降 水 量

1963	403	164	279	85	81
1964	67	241	135	72	55
1965	125	297	154	236	154
1966	50	117	166	24	160
1967	190	123	49	8	19
平 均	167	188	157	79	14

6	7	8	9	10	11	12	平　　均
14.1	17.4	18.6	20.7	23.2	22.8	23.7	21.2
14.2	13.5	17.4	19.4	20.5	28.0	23.2	20.1
17.7	15.9	18.1	19.8	21.9	23.1	24.1	20.8
17.4	15.0	16.7	18.8	21.4	23.6	25.4	21.0
15.1	17.7	20.0	21.2	24.1	23.4	24.5	21.4
15.7	15.9	18.2	20.0	22.2	23.0	23.2	

81	81	67	71	30	81	75	78
82	81	85	72	65	66	78	77
86	82	78	78	76	73	86	81
83	80	71	71	79	67	71	78
77	76	74	70	23	73	69	76
82	81	75	72	75	72	76	

77	21	13	118	98	291	189	1889
62	58	146	94	98	131	128	1287
127	70	104	95	238	84	434	2088
111	35	12	67	271	33	96	1142
191	207	64	96	123	63	123	1125
114	78	68	78	186	114	194	

中南米代表部編

1. 東北伯からリオ・サンパウロに対するマラクジヤ生果出荷の可能性について
2. 南伯から北伯向け主要農産物の移出量について
3. メロン及びピメンタ（こしょう）の輸出入統計について
4. アマゾンのメロンとイポチ移住地のイタリアブドウのリオ．サンパウロにおける評価について
5. ゴヤバ（Goiaba）加工品の市場状況について

別添　諸統計資料

1. リオ市場におけるゴヤバの入荷量と月平均価格
2. リオ市場におけるメロン入荷量と月平均価格
3. コチア（Cooperativa Agrcola de Cotia）のリオ倉庫取扱い農産物の数量及び平均価格
4. サンパウロのコチア及びCEAGESP（サンパウロ中央市場）における農産物の取扱い数量及び平均価格
5. サンパウロ農務局，経済研究所農産物生産統計
6. コチアの地域別果実作付面積統計

1　東北伯からリオ・サンパウロに対する
マラグジャ生果出荷の可能性について

I　調 査 者　　中南米代表部

II　調査期間　　1973 年 5 月

III　調査内容

1　マラグジャの市況

1971 年及び 1972 年のリオ・デジャネイロ市に於けるマラグジャ青果の市況は第 1 表及び第 2 表の通りである，これらの表に見られるように一般的な傾向としては 8，9，10 - 11 月は入荷量も少いし，又価格も著しく高い。又 2. 3. 4 月頃にもやや価格の高い傾向がある。

コチア（コチア産業組合ーcooperativa agricola de co Cotia）の販売部長によれば，この 3 ～ 4 年は，マラクジャの需要増加のため市況は良いと言う。

第 1 表　リオ市場におけるマラグジャの入荷量と月平均価格

（但しコチア収扱分）　　'71 年及'72 年

	1971年		1972年	
	数量・箱	平均価格※	数量・箱	平均価格※
1 月	1.690	11,96	933	16,10
2 〃	480	25,26	673	20,12
3 〃	231	26,85	595	23,78
4 〃	280	24,40	720	15,85
5 〃	1.287	10,85	720	13,01
6 〃	1.100	9,62	990	14,51
7 〃	557	12,76	485	23,00
8 〃	234	23,10	64	52,70
9 〃	17	38,20	6	53,00
10 〃	2	85,00	171	17,20※※
11 〃	47	52,00	182	37,40
12 〃	412	22,84	182	37,39
合 計	6,337		5567	

※　　平均価格は 1 箱（16 Kg）当り Cr$

※※　　品質不良品か

第2表　サンパウロにおけるマラグジャの市況

（コチア及びCEAGESP取扱い分の箱数及び月平均価格）

DEMONSTRAÇÃO DE VENDAS DE MARACUJÁ

MES		1971 数量	1971 平均価格	1972 数量	1972 平均価格
1 月	C.A.C	1.691	11,97	1.398	15,80
	CEAGESP	14.127	13,47	9.426	16,16
2 〃	C.A.C	1.190	12,50	1.421	19,20
	CEAGESP	8.314	18,27	8.162	21,23
3 〃	C.A.C	1.209	19,50	1.712	22,55
	CEAGESP	5.855	23,30	7.517	17,86
4 〃	C.A.C	282	24,44	1.833	17,83
	CEAGESP	3.283	25,18	7.208	22,49
5 〃	C.A.C	1.287	10,86	2.237	14,87
	CEAGESP	8.643	11,40	6.996	21,36
6 〃	C.A.C	1.102	9,62	2.036	21,07
	CEAGESP	6.500	8,35	3.831	28,83
7 〃	C.A.C	557	12,76	1.312	26,46
	CEAGESP	3.444	13,63	3.101	28,27
8 〃	C.A.C	241	23,40	426	40,38
	CEAGESP	2.607	25,48	1.662	37,24
9 〃	C.A.C	18	39,39	120	37,74
	CEAGESP	551	38,50	752	34,10
10 〃	C.A.C	2	85,00	75	28,97
	CEAGESP	68	65,00	603	26,60
11 〃	C.A.C	48	52,60	228	37,63
	CEAGESP	592	39,12	1.414	46,56
12 〃	C.A.C	414	22,90	2.199	21,74
	CEAGESP	3.347	22,48	1.560	19,50
TOTAL	C.A.C	8.041	箱	14.997	箱
TOTAL	CEAGESP	57.331	〃	52.232	〃

2. 東北伯からの青果出荷の可能性

マラグジャは収穫後，日数が経過すると果皮にしわがより始め青果としての市場価値がなくなる。そのため，これを避けるためには収穫後東北伯の産地より，リオ，サンパウロの市場まで3～4日以内に到着せしめ，その後数日間に売りつくしてしまうことが必要になる。これは必ずしも容易なことではないので試験的に，東北伯や北伯からリオ，サンパウロに運ばれた例はあるが，実際には南伯の市場で取引きされているマラグジャの青果は殆んど地元のものである。

上記園野氏やリオ市場のマラグジャ取扱業者によれば，東北伯等よりマラグジャを持って来る場合は，南伯市場の品薄で値の高い時期を狙う必要があると言明している。これは値の安い時期では運賃倒れとなり，地元のマラグジャとは競走出来ないからである。

3. 加工用マラグジャ

加工用マラグジャとしてはしわのあるものも販売可能であるが，サンパウロ州には東北伯からの加工用としての青果は殆んど来ていない様である。しかし東北伯でつくられたマラグジャ果汁を輸入し，これをアイスクリーム，ジャム，清涼飲料に再加工している工場がサンパウロにある。

リオ，サンパウロの非加工用青果が一箱当り平均20 CrS で取引きされているのに対し加工用青果は10 crH/箱程度である。但し加工用は産先価格であり，箱代も運賃も不要で予め契約しておけば，安値の時も売れると云う利点をもっている，

サンパウロ州の奥地のマラグジャは普通加工用に又，近郊のものは非加工の青果用に出荷されている。しかしこの両者の割当については，はっきりした統計がないので不明である。

4. マラグジャ果汁の輸出

第3表はマラグジャ果汁の輸出量を示す。

伯国のマラグジャ果汁の西ヨーロッパへの最初の輸出は1964年に始まり，西独に対し6トンを輸出した。これは天然ジュースで500 CC のびん入りであった。次いで1965年に米国に6トン1966／67 にはノルウエーに3トンを輸出した。1972年は1月から11月までの間に，西独，オランダ，スウェーデンに計226トンを輸出している。

リオにあるInstituto tecnologia agricola alimentar(連邦政府の農業食品加工研究所)のGunthes Papi 博士によれば，マラグジャの果汁はそれ自体

濃厚なのでそのまま濃縮せずに輸出可能であるとのことである。又，同氏や，Blair Cooper氏（Estudoeconômico da cultura da maracujá no estado do Pará, 1971, SUDAM）等によれば，マラグジャ果汁の国際市場は供給より需要の伸びがやや大きく，輸出は伸びる傾向にあると云う。

第3表　マラグジャ果汁の輸出量

（1972年1月～11月）

輸出先国	トン	US$/トン	1,000 U.S.$
西独	153	657	101
オランダ	17	642	11
スウェーデン	55	751	41
計	226	679	154

（注）計にはその他の国の分が含まれる。

輸出港	トン	US$/トン	1,000U.S.$
サルバドール	92	599	55
サントス	133	735	97

注　その他レンーフェ，コルンバ，ポンタポランに少量あり。

5. マラグジャの生産

上記Blair Cooper氏等の報告によれば，東北伯の1968／69年度のマラグジャ生産量は青果で5112トン，サンパウロのそれは1930トンである。その外，リオ・デ・ジャネイロ州，ミーナスジェライス州，パラ州にも若干の生産はあるが統計はないと云う。これによれば伯国のマクラジャ生産量は7092トン＋αとなり世界ではハワイと1位～2位を競う生産国である。

6. マラグジャの加工物

東北伯での大きな加工工場としては，アラゴアス州のCooperativa de Pindorama Ltd社が最大で，これは68／69年度に2500トンのマラグジャを導入加工した。又，

ペルナンブーコ州のPoixe社とMaguary社及びバイア州のBahia Frutos s.a社もある。これらの大工場は主として果汁及びジャムを製造している。

小工場はアイスクリームや，清涼水用のマラグジャ果汁を製造している。

Ⅳ 調査団所見

若し可能ならば南伯のマラグジャ品薄の時期に青果を南伯に出荷し，その他の時期には近くの加工施設（若しそれがあれば，又はそれを設定するかして）に出荷するようにするのが有利と思われる。但し青果の南伯への出荷に当っては，しわを出さないための適期収穫，迅速な出荷，選抜に注意し，又時に多量に出荷して値くずれを来たすことのないよう考慮を払うべきであろう。

Ⅴ 参考資料

別紙 1　マラグジャの加工工程

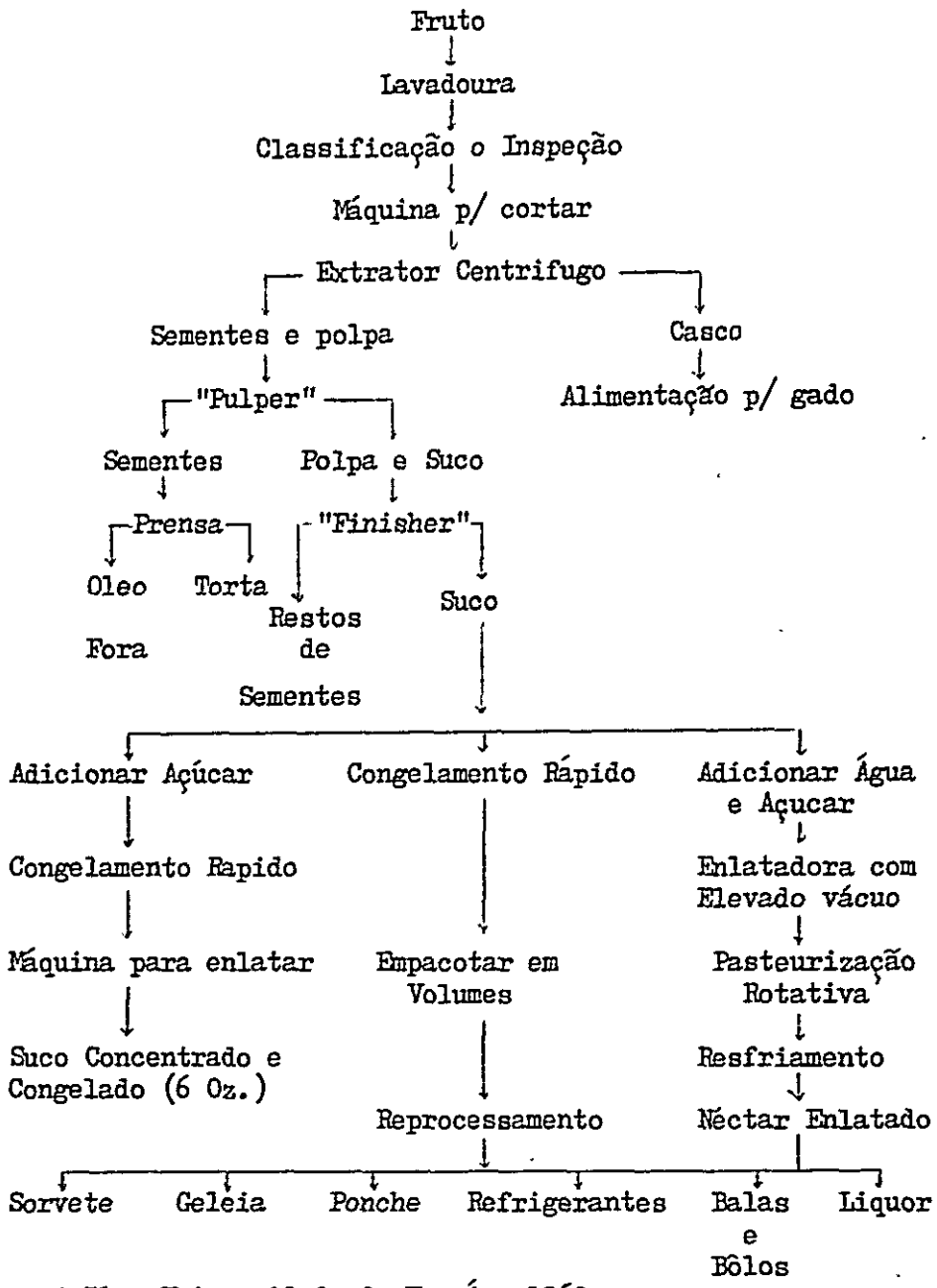
2　世界の主要マラグジャ生産国

3　ハワイに於けるマラグジャの生産

4　リオ並びサンパウロにおけるマラグジャ果汁の卸売価格

別紙 1

マラクジャの加工工程
PROCESSAMENTO INDUSTRIAL DE MARACUJÁ



出所:- Universidade do Havaí - 1960.

別紙 2　　世界の主要マラクジャ生産国

MAIORES PRODUTORES DE MARACUJÁ NO MUNDO(+)

Pais	Ano	Acres Totais	Numero de Plantas Produzindo	Produção em Toneladas
Austrália	1964-65	1.380 (++)	----	1.300
Fiji	1966	200	----	(1.610)
Havaí	1959	1.200	----	10.000
Quônia	1965	(300)	----	1.130
Nova Guiné	1966-67	----	----	(455)
Nova Zelândia	1965	64 (++)	----	178
África do Sul	1959-60	(2.000)	445.000(+)	1.000

OBSERVACOES:- (+) Embora a produção brasileira, seja actualmente considerada entre as maiores do mundo, não constam néste quadro dados referentes, em virtude dosapresentados, serem relativos a comércio exterior.

(++)Estatísticas do Censo Oficial - Londres

() Estimativa do Instituto de Produtos Tropicais - Londres.

出所 — "The market for passion fruit juice" - 1969.

別紙 3　　ハワイに於けるマラクシャの生産

PRODUÇÃO HAVAIANA DE MARACUJÁ

A N O	ACRES PRODUZINDO	PRODUÇÃO POR ACRE/tonelada	PRODUÇÃO/ 1.000 libras (+)
1960	360	3.2	1.135
1961	340	4.9	1.675
1962	320	4.6	1.485
1963	140	10.0	1.402
1964	150	13.9	2.082
1965	260	13.0	3.374
1966	310	14.7	4.562
1967	300	13.2	3.961
1968	200	15.2	3.028
1969	200	14.6	2.913

(+)　2,22 libras = 1,0 kg

出所 — United States Reporting Service - E.U.A.

別紙 4　リオ並びサンパウロにおけるマラクジャ果汁の卸売価格(びん入り)

PREÇOS A VAREJO PARA SUCO DE MARACUJÁ ENGARRAFA
DO NO RIO DE JANEIRO E SÃO PAULO

RIO DE JANEIRO (1970-novembro)

SUPERBOM(+)	Cr$-2,05 - Cr$-2,15
MAGUARY(+)	Cr$-2,45 - Cr$-2,70
PEIXE(+)	Cr$-2,30
PINDORAMA(+)	Cr$-2,80
PAVÃO	Cr$-1,70
CAIBE	Cr$-1,70
HERON	Cr$-1,78
INOFRA	Cr$-1,29

SÃO PAULO (1970-novembro)

MAGUARY (+)	Cr$-2,60 - Cr$-3,90
DEL SOL (+)	Cr$-3,40
CISNE	Cr$-2,10
JANDALA	Cr$-2,10

(+) Marcas conhecidas nacionalmente

全国的に有名な商標

出所 — Pesquisas efetuadas nos estados da Guanabara e São Paulo, pelos autores.

2. 南伯から北伯向け主要農産物の移出量

I 調　査　者　　中部米代表部

II 調 査 期 間　　1973 年 5 月

III 調 査 内 容

コチアのサンパウロよりベレン，マナウス向け，また参考のためにサルバドール及びレシーフェ向けの 1972 年の月別果実蔬菜の移出量は第1表の通りである。

なお，コチアの担当者によれば現在サンパウロ ― ベレン間はアスファルト工事中なので，かってのサンパウロ ― ベレン間3～4日の旅程が，現在少くとも8日を要しており，そのため移出量が減っているという。このアスファルト工事は今年末完成の予定であり，その後は著しく移送量が増大するのであろう。

即ち，南から北への農作物の流入が増大する反面，北から南への移出の可能性も増大するので，この面から移出用作物の研究が必要であろう。

第1表は，"SIMA"（Serviço de Informação de Mercado Agricola―これは農務省の機関でブラジル全国の主要都市の農作物の市況をテレックスにより リオに集中し，毎日報告書を作成している。）によりベレン市場における輸入及び他州よりの移入農作物の販売状況を示している。但し，ベレーンに市況用テレックスが設置されたのは1972，10月以降なので，それ以前の資料はない。

第1表　コチアによるサンパウロ市場よりの移出品

(1) サルバドール向け

1月/72

Uva Itália	1.562 ct
Uva Kiohô	70 ct
Uva Niagara	892 ct
Pessego	30 ct
Abacate	5 cx
Tomate	720 cx
Cenoura	383 cx
Pimentão	208 cx
Repôlho	97 sc
Pepino	13 cx
Batata Doce	10 cx
Aipim	5 cx
Abobrinha	5 cx

2月/72

Uva Italia	4.473 ct
Uva Kioho	30 ct
Uva Niagara	320 ct
Abacate	8 cx
Maca	1 cx
Caqui	67 cx
Tomate	95 cx
Pepino	12 cx
Pimentao	13 cx
Aipim	5 cx
Limao Tahiti	10 cx
Cenoura	270 cx
Repolho	15 sc
Abobrinha	3 cx
Batata Doce	8 cx
Chuchu	2 cx
Ervilha	2 cx
Nabo	12 mç

3月/72

Uva Itália	4.724 ct

Caqui	150 cx
Cenoura	441 cx
Pimentao	110 cx
Repôlho	45 cx
Ervilha	4 cx
Vagem	8 cx
Couve-Flor	6 eng
Batata Doce	26 cx
Abóbrinha	68 cx
Chuchu	6 cx
Aipim	8 cx
Pepino	8 cx
Berinjela	6 cx
Erva Doce	3 cx
Gengibre	2 cx
Pimenta Ardida	1 cx
Beterraba	20 cx
Quiabo	3 cx
Milho Verde	3 sc
Abacate	5 cx

4月/72

Cenoura	342 cx
Tomate	85 cx
Pimentão	75 cx
Ervilha	28 cx
Vagem	39 cx
Ponkan	95 cx
Beterraba	37 cx
Quiabo	28 cx
Maracuja	38 cx
Pepino	35 cx
Couve-Flor	30 eng
Milho Verde	40 sc
Aipim	25 cx
Repôlho	78 sc
Berinjela	37 cx
Abobora Sê ca	1.020 cx
Chuchu	55 cx
Abobrinha	21 cx
Jiló	17 cx
Abacate	25 cx
Pimenta Ardida	19 cx
Abóbora Moranga	19 sc

Batata Doce	23 cx
Gengibre	2 cx

5月/72

Morango	230 ct
Ponkam	635 cx
Abacate	245 cx
Maracujá	135 cx
Tomate	640 cx
Cenoura	549 cx
Pimentão	351 cx
Chuchu	306 cx
Repôlho	340 cx
Beterraba	56 cx
Batata Doce	233 cx
Abóbrinha	44 cx
Abobora Moranga	44 sc
Ervilha Torta	67 cx
Jiló	37 cx
Aipim	48 cx
Berinjela	87 cx
Pimenta Ardida	59 cx
Couve-Flor	1.700 cx
Nabo	20 mç
Inhame	7 cx
Pepino	28 cx
Vagem	15 cx
Quiabo	15 cx
Abóbora Seca	300 kg
Milho Verde	10 sc
Uva Itália	27 ct

6月/72

Morango	650 ct
Tomate	875 cx
Cenoura	452 cx
Ponkan	460 cx
Abacate	232 cx
Maracujá	145 cx
Repôlho	282 sc
Couve-Flor	1.914 cx
Chuchu	278 cx
Pimentão	381 cx

Pimenta Ardida	12 cx
Batata Doce	334 cx
Ervilha	84 cx
Abobrinha	86 cx
Berinjela	86 cx
Beterraba	9 cx
Pepino	35 cx
Abóbora Seca	850 kg
Abóbora Moranga	36 sc
Nabo	25 mç
Aipim	17 cx
Alcachofra	11 cx
Jiló	3 cx

7月/72

Morango	626 ct
Tomate	1.371 cx
Cenoura	734 cx
Repôlho	384 sc
Pimentão	334 cx
Batata Doce	123 cx
Ervilha	66 cx
Pepino	93 cx
Couve-Flor	3.774 cx
Pimenta Ardida	25 cx
Ponkan	570 cx
Abacate	255 cx
Maracujá	81 cx
Melão	138 eng
Melancia	700 kg
Chuchu	20 cx
Alcachofra	23 cx
Aipim	46 cx
Abóbora Sêca	610 kg
Abóbora Moranga	44 sc
Abobrinha	49 cx
Beterraba	72 cx
Berinjela	80 cx
Rabanete	50 mç
Erva Doce	52 mç
Vagem	10 cx
Salsão	11 mç
Nabo	69 mç
Quiabo	5 cx

Palmito	100 pç
Acelgas	3 eng
Brocoli	5 mç
Mostarda	10 mç
Alho Porró	2 mç
Almeirao	10 mç

8月/72

Tomate	1.922 cx
Cenoura	506 cx
Repolho	341 sc
Pimentão	189 cx
Batata Doce	15 cx
Ervilha	22 cx
Pepino	42 cx
Couve-Flor	11.964 cb
Pimenta Ardida	14 cx
Ponkan	255 cx
Abacate	193 cx
Maracujá	29 cx
Melão	104 eng
Melancia	4.100 kg
Chuchu	20 cx
Alcachofra	23 cx
Aipim	14 cx
Abóbora Sêca	1.300 kg
Abóbora Moranga	73 sc
Abobrinha	1 cx
Beterraba	76 cx
Berinjela	83 cx
Erva Doce	24 mç
Vagem	10 mç
Nabo	122 cx
Gengibre	30 cx
Quiabo	15 cx
Palmito	140 pc
Alho Porró	9 mç

9月/72

Morango	349 ct
Laranja Pera	455 sc
Melão	105 eng

Abacate	172 cx
Ponkan	117 cx
Melancia	700 kg
Nespera	7 ct
Cenoura	1.237 cx
Tomate	1.269 cx
Repolho	251 sc
Couve-Flor	2.696 cb
Pimentão	75 cx
Aipim	44 cx
Ervilha Torta	46 cx
Pepino	50 cx
Berinjela	95 cx
Alcachofra	30 cx
Beterraba	46 cx
Gengibre	41 cx
Abóbora Moranga	73 sc
Batata Doce	40 cx
Abóbora Seca	1.400 kg
Chuchu	30 cx
Pimenta Ardida	6 cx
Vagem	10 cx
Nabo	207 mc
Erva de Doce	11 mc

10.月/72

Laranja Pera	395 sc
Ponkam	105 cx
Abacate	170 cx
Melão	30 eng
Limão Tahiti	20 cx
Melancia	1.300 kg
Cenoura	1.107 cx
Tomate	930 cx
Repôlho	184 sc
Pimentão	80 cx
Vagem	70 cx
Beterraba	84 cx
Ervilha Torta	34 cx
Aipim	20 cx
Couve-Flor	1.114 cx
Berinjela	65 cx
Abóbora Moranga	62 sc
Pepino	35 cx

Chuchu	35 cx
Gengibre	28 cx
Alcachofra	28 cx
Pimenta Ardida	6 cx
Batata Doce	15 cx
Abóbora Seca	300 kg
Abobrinha	11 cx
Nabo	20 mç

11月/72

Uva Itália	529 cx
Laranja Pera	515 sc
Abacate	145 cx
Limão Tahiti	41 cx
Melão	10 eng
Melancia	379 kg
Cenoura	452 cx
Tomate	552 cx
Pimentão	83 cx
Beterraba	111 cx
Repôlho	85 sc
Couve-Flor	1.548 cb
Ervilha	29 cx
Vagem	35 cx
Alcachofra	42 cx
Aipim	19 cx
Batata Doce	32 cx
Pepino	40 cx
Berinjela	30 cx
Pimenta Ardida	20 cx
Gengibre	18 cx
Chuchu	20 cx
Palmito	50 pc
Salsão	18 mç
Alho Porró	15 mç
Erva Doce	3 mç
Rabanete	50 mç
Nabo	5 mç

12月/72

Uva Itália	3.910 ct
Uva Kiohô	50 ct
Pessego	480 ct

Laranja Pera	225	sc
Figo	170	eng
Limão Tahiti	45	sc
Abacate	15	cx
Maracujá	10	cx
Goiaba	10	ct
Manga	4	cx
Melancia Kodama	5	cx
Melao	2	eng
Tomate	617	cx
Cenoura	407	cx
Pimentão	134	cx
Vagem	75	cx
Repôlho	82	sc
Pepino	58	cx
Berinjela	73	cx
Ervilha	9	cx
Beterraba	26	cx
Pimenta Ardida	18	cx
Aipim	8	cx
Batata Doce	25	cx
Chuchu	20	cx
Alcachofra	9	cx
Gengibre	10	cx
Salsão	2	mç
Alho Porró	3	mç
Erva Doce	1	mç
Rabanete	10	mç

(2)レシーフェ向

2月/72	
Uva Italia	200 ct
3月/72	
Uva Italia	200 ct
Caqui	20 cx
6月/72	
Morango	620 ct
7月/72	
Morango	400 ct
8月/72	
Morango	371 ct
Abacate	30 cx
9月/72	
Morango	230 ct
10月/72	
Pessego	80 cp
11月/72	
Pessego	100 cp
12月/72	
Uva Itália	200 ct

(3) マナウス

8月/72

Morango	20 ct

10月/72

Tomate	35 cx
Cenoura	38 cx
Pimentão	43 cx
Berinjela	50 cx
Aipim	18 cx
Repôlho	20 sc
Erva de Doce	32 mc
Chuchu	13 cx
Alface	1 eng
Jiló	5 cx
Vagem	9 cx
Abobrinha	17 cx
Alcachofra	7 cx
Abacate	16 cx
Laranja Pera	10 sc
Limão Tahiti	3 cx
Manga Rosa	4 cx

12月/72

Uva Italia	150 ct
Pêssego	50 ct
Figo	100 eng

OBS.:

A praça de Manaus, somente atingirá a plenitude de vendas no exercicios de 1973, em virtude de coordenação no transporte.

(4)ベレーン向

1月/72

Uva Itália	420 ct

2月/72

Uva Itália	595 ct
Uva Kiohô	5 ct
Uva Niagara	100 ct

3月/72

Uva Itália	700 ct

OBS:

Em virtude do asfaltamento da estrada, a viagem que durava em medias 3 a 4 dias, está sendo feita em 8 dias no mínimo, o que acarretou sensível baixa nas vendas.

E.T.: O asfalto ficará pronto no fim deste ano.

(注) 単位

ct—カゴ　cx—箱　sc—袋　mc—小束　eng—束　cb—個

ペレーン市場における移輸入野菜平均価格（ crs／箱 ）

	1972. 10月		11月		12月		1973. 1月		2月		3月		4月	
たす														
スペシアル	SP	15～20	SP	15～20										
1級		12～14	SP	12～14										
人じん														
スペシアル	SP	70～80	SP	100～140	SP	100～120	SP	100～140	SP	100				
シュシュ														
スペシアル									SP	45～50	SP	45		
キャベツ										70				
Jap. スペシアル	SP	40～50	SP	52～55	SP	50～60	SP	60～70	SP	70	SP	60～70	SP	70～130
トマト														
エクストラ"A"	SP	47～50	SP	35～55	SP	50～55	SP	55～65	SP	50～60	SP	45～50	SP	50～60
エクストラ	SP	40												
スペシアル	SP	30												
2級	SP	25～30												
アバカテ														
マンテカ	SP	60	SP	60			SP	80	SP	150	SP	70	SP	65
クワテマラ	SP	60	SP	65					SP	100				
アバカシ														
大	SP	25	SP	25	SP	25	SP	25			SP	150*		
小	SP	25	SP	22	SP	22	SP	22			SP	100*		
ラランジャ														
ペーラ	SP	35	SP	30～35	SP	35	SP	25～55	SP	25～40				
レモン														
タイチ	SP	60～70	SP	60～80	SP	60～70	SP	50～60	SP	50～70	SP	70		
ガレゴ	SP	60～70	SP	80			SP	20			SP	60	SP	60
輸入品														
リンゴ														
オランスミス	Arg	70～75												
レッドデリシオーサ	Arg	65～80	Arg	70～90	Arg	75～80	Arg	80			Arg	150	Arg	150
ナシ														
ウインター バルテレ	フランス	70～80											フランス	150

(注) (1)* 100個当り　(2)SP サンパウロより移入　(3)Arg アルゼンチンより輸入

3　メロン及びピメンタの輸出入統計

Ⅰ　調 査 者　　中南米代表部

Ⅱ　調査期間　　1973 年 5 月

Ⅲ　調査内容

1971 年及び 1972 年の国別のメロンの輸入統計及び国別，港別のピメンタの輸出統計は第1，2，3表の通りである。月別の統計は，見せて貰えなかった。（以上は Banco do Brasil, CACEX — 貿易局 — 資料による）

第1表　メロンの輸入量及び輸入額

1971 年

国別＼項目	輸入量	輸入額 F.O.B (u.s$)	平均価格 u.s.$
アルゼンチン	557 トン	109,540	197
チリー	330	38,850	118
スペイン	2,676	518,332	194
ポルトガル	18	4,500	250
合計	3,581	671,222	187

1972年（1月～11月）

国別＼項目	輸入量	輸入額 F.O.B (u.s$)	平均価格 u.s.$
アルゼンチン	239 トン	37,000	155
チリー	162	20,480	126
スペイン	1,560	331,629	213
日本	2	5,132	2,451
パラグァイ	80	5,000	63
ペルー	90	9,000	100
ポルトガル	6	1,823	298
合計	2,139	410,064	192

第2表　ピメンタ輸出量及び輸出額

1971年

輸出先国＼項目	輸出量	輸出額 (F.O.B)1,000uaS	平均価格 (uaS／ton)
	トン		
西独	2,709	2,305	851
アルジェリア	400	334	835
アルゼンチン	2,048	2,176	1,063
チリー	459	449	978
米国	5,997	4,691	782
フランス	2,338	2,002	857
イタリア	542	437	808
メキシコ	505	443	876
※計	17,525	14,943	863

注：計にはその国の分も含む。

1972年（1月～11月）

輸出先国＼項目	輸出量	輸出額 (F.O.B)1,000uaS	平均価格 (uaS/トン)
	トン		
西独	2,095	1,894	904
東独	760	623	820
アルゼンチン	906	1,050	1,160
米国	3,545	2,907	820
フランス	1,025	965	941
モロッコ	1,380	1,102	798
メキシコ	1,032	905	877
オランダ	343	323	942
英国	327	338	1,035
※計	12,620	11,204	888

第3表　ピメンタ港別輸出量及び輸出額

1971年

項目 / 輸出港	輸出港	輸出額 (F.O.B)1000 us$	平均価格 (us$／トン)
	トン		
マナウス	214	170	794
ベレン	16,164	13,844	856
ベレン空港	5	4	826
リオ	571	542	950
サントス	321	336	1,046
Jaguarão	19	23	1,159
Urnguaiana	18	19	1,029
コルバン	11	5	479
ポンタポラン	1	5	485

1972年（1月～11月）

項目 / 輸出港	輸出量	輸出額 (F.O.B)1000us$	平均価格 (us$／トン)
	トン		
Guajara-Mirin	1	1	1,239
マナウス	50	39	780
ベレン	12,252	10,851	886
Cabedelo	10	10	1,100
リオ	167	171	1,025
サントス	104	99	953
Jaguarão	2	3	1,433
Uruguaiana	10	16	1,621
コルンバ	25	13	512

4　アマゾンのメロンとイボチ移住地のイタリアブドウのリオ，サンパウロにおける評価について

Ⅰ　調 査 者　　中南米代表部

Ⅱ　調査期間　　1973年 5 月

Ⅲ　調査内容　　調査内容

1. アマゾンのメロン

リオ，サンパウロの販売関係者の共通の意見としては，一般に極めて評判が良いが，特に1971年のものは良かったと云う。しかし，昨年（72年）7月出，のものは6月に雨が多かったせいか，入荷した品の30％がくさり評判を落した。収穫前に不順な気候を経過した場合には厳重に選抜し不良品を出荷しないように注意して貰いたいと云う希望が多い。又，多雨期を避けて栽培してもらいたいと要望もあった。

輸入のスペインメロンは，乾燥地の産だけあって，永く保存ができるので，国産のメロンよりは，常に値が良い。

又，コチアの，販売部長，堀野氏によれば，サンフランシスコ河流域の乾燥地帯はメロンの栽培に最良の条件を有し，ここでは，メロンが"作られる"のではなく"出来る"と云う。即ち他の地域では日本人が作っているのであって，ブラジル人が作るメロンはないが，サンフランシスコ流域では，日本人は居ないのに，"できる"のだと云う。ここに，日本人が入って作れば更に優秀なメロンが，作られようと語った。

2. イボの移住地のイタリアのぶどう

これについては未だ広くその名が知られておらずその評判も余り聞けなかったが，CEAGESPで聞いた一つの意見は次の通りである。

編果が十分でないせいか粒が小さい。もっと栽培管理を良くすれば良い品質になるであろう。甘さは十分ある。CEAGESP では，一般に中級品とされている。註（CEAGESP はサンパウロ中央市場）

5　コヤバ（Goiaba）加工品の市場状況

Ⅰ　調 査 者　中南米代表部

Ⅱ　調査期間　1973年5月

Ⅲ　調査内容

1. ゴヤバ加工の種類

カンピーナスのサンパウロ州立食品加工研究所（Institute de Tecnologia de Alimentos）のKenzo Kato 技師によれば，ゴヤバの加工品としてはgoiabada（ようかんのようなもの），Calda（果実シロップで，果実が少しくずれているもの），Compota（もものかんづめのような果実の砂糖煮）及びネクターがある。又現在，ブラジルでは製造されていないが，Suco（マラクシャの果汁）がある。

2. Kato 技師の意見

goiabada は普通自生の安価なゴヤバの果実（1971／72 年度のサンパウロ州の生産量は25,000トン，別添　諸統計資料1参照）を原料として作られる。Caldo は既にリオのSupermercad あたりにもかなり出廻っている。Compota はブラジルでは比較的新しいものであるがリブロンプレートの近くにある。Ralston の工場は近くに自分のゴヤバ畑を持ち，主としてこれを原料にしてCompota を製造している。この工場は1966年に建てられたが，能力は1kg入りの罐づめを日に10,000個以上製造する。但し加工工程において良い品質のものとするために，種子を取除くことが必要であるが，これは人の手によることとしている。罐のふたを閉じる装置は真空式であるから，果実の香は良く，保全され，輸出用にも適する。この工場の建設者によると1罐現在（73年4月）のCr$に換算すれば，100～150 Cr$ となる模様である。

罐詰めのふたを閉じる装置が真空でないものは，品質において劣る（空気が罐内に残るため長期の保全に耐しない）から輸出用には向かないが，国内用には販売可能である。この工場では年間の稼働を可能とするため，ゴヤバ以外の果実も利用している。加藤技師は，Compota とネクターの両方を製造するのが有利であろうと云う。しかし資金が乏しくて，止むなく非真空式の小型で安価な設備を設定する場合にでも，品質を良くすることに努力すれば

国内用として，ここ，しばらくの間は販路を見つけ得るであろうとの意見であった。又，サンパウロ州では，ゴヤバのみを加工している工場は無いそうである。

3. リオの国立食品加工研究所のGunther Papi教授の意見

「Compotaや Cuidsは大企業との競争があるから小企業には不利。小資本でやるなら，ゴヤバの果汁が良いのでないか。何故なら未だゴヤバの果汁工場は，ブラジルに無いからである。特に，マラクジャ（Maracuja）の果汁設備と同じもので良いから，このマラクジャとゴヤバを組合せて稼働すると良い。この工場の経済的な規模の最少の設備費は機械，建物を含め30～40万Cr$位で，この原料処理能力は30～40 ton／日である。資金が足りない時はCODERJにより政府の奨励資金を借りることができる。」とのことであった。

又，「このような計画には，工場設計から建設までを一貫して行う"Metalurgica Riosulense社，Rio do Sul，Santa Catarina"に相談してみるのが良いではないか。この会社はドイツ系の人々からなり，極めて真面目で良心的である。」のことであった。

4 調査者の意見

上記の外，ゴヤバ加工工場経営者の加工品販売事況についての意見を聞きたかったが，工場訪問の許可を得ることが意外に難しく調査期間中には実現できなかった。従って，この問題はなお研究調査を要するが，調査者が上記の外，コチアの販売関係者（コチアもかつてゴヤバの加工工場設置を企て，資金をつみ立てたことがあるが，途中で計画を放棄した）等の意見を聞いた上で，現在考えられることは次の通りである。

(1) 食卓用ゴヤバは生産増加に伴い，今後販売競争が激しくなろうが品質の良い果実さえ作れば競争に勝つであろう。従って，良い品質の果実を作ることについては，今後益々生産者は努力しなければならない。

(2) 加工施設を考える場合は，原料の確保が必須条件である。年間を通じて十分な原料の確保なしには失敗するであろう。

(3) リオ支部管内フンシャール移住地について加工施設を考える場合，原料確保上の問題と予算が過少であるために，何の製造を如何にすべきかの選択の範囲が甚しく狭くなり，極めて難しい問題となっている。

そのため，今回の限られた調査では結論的な意見を出すことが困難であった。

今後は，現在稼働中のゴヤバの加工工場を視察し，経営者の率直な意見を聞く必要がある。

別添 1　　リオ市場におけるゴヤバの入荷量と月平均価格

（但しコチア取扱分）

	1971年		1972年	
	箱　数	Crs/箱 平均価格	箱　数	Crs/箱 平均価格
1 月	5,299	5.43	8,697	5.39
2 〃	2,067	7.65	4,138	7.11
3 〃	4,505	5.79	5,714	7.22
4 〃	3,645	5.03	4,708	7.38
5 〃	7,159	3.26	2,396	6.95
6 〃	5,570	4.06	5,497	7.68
7 〃	3,210	7.30	6,680	9.10
8 〃	2,630	7.81	4,520	11.35
9 〃	6,292	7.03	5,460	10.07
10 〃	7,470	7.10	10,730	8.78
11 〃	6,407	8.34	16,370	8.48
12 〃	5,866	7.99	16,370	8.48

別添 2　　リオ市場におけるメロンの入荷量と月平均価格。

（但しコチア取扱分）

	1971年		1972年	
	箱　数	Crs／箱 平均価格	箱　数	Crs／箱 平均価格
1 月	3,150	27.80	4,424	28.86
2 〃	208	35.95	1,064	47.70
3 〃	2,167	27.38	3,823 (87)	41.57 (66.98)
4 〃	4,940	26.69	4,676	32.03
5 〃	5,090	18.56	5,666	25.75
6 〃	1,680	22.20	7,710 (1,190)	24.41 (52.50)
7 〃	1,594	66.60	3,300 (8,060)	21.30 (29.80)
8 〃	1,223	48.78	2,180 (2,070)	32.10 (45.67)
9 〃	86 (524)	39.27 (35.20)	326 (1,040)	48.22 (49.36)
10 〃	2,304	43.57	1,240 (517)	32.20 (67.22)
11 〃	4,990	22.87	2,690	32.64
12 〃	8,630	16.85	2,686	32.64

註．（　）内はパラ州より直送分。

その他はCEAGESP（サンパウロ中央市場）経由分

別添 3　コチアのリオ倉庫取扱い農産物の数量及び平均価格

COOPERATIVA AGRICOLA DE COTIA

Deposito de Rio de Janeiro

Comparação em quantidade de produção do ano social 71-72

(Verduras, Tomate e Batata)

Producao	Uni.	Quant-71	P.Medio	Quant-72	P.Medio
Abobrine	cx	6.783	9,588	7.776	13,171
Alface	eng	310	16,258	2.118	32,890
Batata Doce	cx	25.175	11,819	33.719	13,003
" Ingles	sc	229	24,989	3.844	39,107
Berinjela	cx	20.176	6,832	26.954	7,949
Beterraba	cx	26	8,326	38	19,776
Cònoura	cx	9.878	12,268	11.024	36,071
Chuxhu	cx	6.238	5,201	8.719	5,969
Couve Flor	eng	713	13,495	2.518	23,723
" "	sc	56	15,696	20	11,500
" "	cb	19.848	0,702	5.925	1,088
Ervilha	cx	433	20,466	187	30,832
Jilo	cx	30.426	10,756	29.570	17,393
Mandioca	cx	6.570	9,669	12.361	9,460
Maxixi	cx	2.082	13,335	1.453	21,908
Milho Verde	cx	244	5,467	3	4,000
Pimentão	cx	18.748	10,481	17.350	14,598
Repólho	sc	4.380	7,165	4.188	16,774
"	eng	-0-	-0-	318	17,487
Pepino	cx	15.442	11,126	20.707	12,202
Quiabo	cx	19.479	16,256	59.862	17,690
Tomate	cx	10.786	17,095	45.431	20,681
" Caqui	cx	2.884	10.562	4.090	22,565
" "	ct	134	4,782	3.381	7,687
Vagem	cx	19.174	21,416	20.181	27,001
Verdura Divercos	cx	1.986	10,583	3.740	14,459
" "	ct	1	8,000	3	7,666
" "	cng	1.831	11,149	240	24,358
" "	mc	10.352	0,829	85.437	1,176
" "	kg	16.470	0,070	4.978	0,160
" "	sc	755	10,861	1.656	23,341
" "	cb	-0-	-0-	5.872	1,163

Rio de Janeiro, 15/02/73

COOPERATIVA AGRICOLA DE COTIA - COOPERATIVA CENTRAL

Deposito de Rio de Janeiro

Comparacao em quantidade de producao do ano social 71 e 72.

(Frutas, Ovos e Outros)

Produção	Unid.	Quant-71	P.Medio	Quant-72	P.Medio
Abacaxi	cx	88	13,198	38	7,315
Abacate	cx	-0-	-0-	533	10,530
Caqui Ama	cx	-0-	-0-	4.949	19,553
" Shibu	cx	5.054	10,248	3.138	14,288
" "	ct	24	9,416	2	3,500
Goiaba	cx	863	11,510	1.566	16,445
"	ct	38.095	6,823	66.987	8,203
Laranja	cx	3.539	9,072	9.654	8,272
Idmão	cx	-0-	-0-	1.743	16,904
Maracuja	cx	5.582	14,519	6.356	19,503
Melão	cx	1.187	16,966	30.021	26,795
Morango	ct	562	10,130	-0-	-0-
Nespera	ct	1	4,000	-0-	-0-
Pera	cx	108	10,888	189	7,579
Pessago	ce	15	3,200	-0-	-0-
"	ct	72	2,125	522	4,095
Ponkan	cx	10	3,900	377	8,439
Tangerina	cx	118	6,652	707	9,450
Uva Itália	ct	2.771	26,134	3.959	23,801
" Fina	et	6	3,000	3	3,000
Fruta Diverços	cx	3.932	10,290	2.053	9,918
" "	ct	533	4,746	267	4,455
" "	sc	8	12,375	727	28,160
" "	cb	-0-	-0-	4.055	0,550
" "	kg	12.470	0,182	-0-	-0-
Ovos	dz	63.376,5	1,541	34.099	1,516
" Codorna	dz	7.496	0,434	13.380	0,754
Amendoim c/casca	sc	35	18,000	-0-	-0-
Camarrão seco c/c	kg	-0-	-0-	150	24,000
" " s/c	kg	-0-	-0-	125	37,000
Feijão	sc	3	50,000	-0-	-0-
" Soja	sc	1	36,000	-0-	-0-

単位 Rio de Janeiro, 15/02/73

cx—箱 eng—束 cb—個 sc—袋 ct—カゴ mç—小束 dx—ダース

別添4　サンパウロのコチア及びCEAGESP（サンパウロ中央市場）における
農産物の取扱い数量及び平均価格

4－① CEAGESPにおける主要蔬菜の取扱い量－1971年度CEAGESPとCEAGESPにおけるコチアの比較表

COMERCIALIZACAO DE PRINCIPAIS HORTALICAS NO CEAGESP

COMPARACAO ENTRE C A C NO CEAGESP E CEAGESP TOTAL EM 1 971

P R O D U T O S		QUANTIDADE	PRECO MEDIO	VALOR TOTAL	%CAC(コチア)
TOMATE	CAC.CC cx.	921 998	15 86	14 625 855 59	10 39
	CEAGESP cx.	8 873 481	"	140 733 408 66	100 00
ABOBORA	CAC.CC kg.	-	-	-	-
	CEAGESP kg.	10 865 498	0 26	2 776 871 94	100 00
ABOBRINHA	CAC.CC cx.	91 744	9 94	911 742 05	13 25
	CEAGESP cx.	692 201	"	6 880 477 94	100 00
ALFACE	CAC.CC eng	32 587	38 76	1 263 072 20	6 48
	CEAGESP eng	503 126	"	19 501 163 76	100 00
ALCACHOFRA	CAC.CC cx	89 031	19 81	1 763 907 90	31 03
	CEAGESP cx	286 989	"	5 685 252 09	100 00
ASPARGO	CAC.CC mc.	68 170	2 21	150 595 60	85 05
	CEAGESP mc.	80 116	"	177 056 36	100 00
BATATA DOCE	CAC.CC cx.	32 778	9 75	319 446 72	7 38
	CEAGESP cx.	443 996	"	4 328 961 00	100 00
BERINGELA	CAC.CC cx.	60 979	6 89	420 021 00	7 60
	CEAGESP cx.	802 551	"	5 529 576 39	100 00
CENOURA	CAC.CC cx.	268 547	13 62	3 658 463 60	22 01
	CEAGESP cx.	1 220 232	"	16 619 559 84	100 00
COUVE FLOR	CAC.CC dz.	109 680	6 97	764 645 23	13 12
	CEAGESP dz.	835 893	"	5 826 174 21	100 00
CHUCHU	CAC.CC ex.	40 665	7 40	300 723 00	4 04
	CEAGESP ex.	1 006 086	"	7 445 036 40	100 00
ERVILHA	CAC.CC cx.	39 420	24 00	946 208 61	13 56
	CEAGESP cx.	290 668	"	6 976 032 00	100 00
ESCARCIA	CAC.CC eng	10 859	20 52	222 847 42	6 89
	CEAGESP eng	157 728	"	3 236 578 56	100 00
JILO	CAC.CC cx.	29 139	12 00	349 785 60	16 31
	CEAGESP cx.	178 674	"	2 144 088 00	100 00
MANDIOQUINHA	CAC.CC cx.	44 789	19 81	887 333 00	13 47
	CEAGESP cx.	332 642	"	6 589 638 02	100 00
PEPINO	CAC.CC cx.	118 237	10 87	1 285 866 90	14 21
	CEAGESP cx.	832 484	"	9 049 101 08	100 00
PIMENTAO	CAC.CC cx.	121 186	12 13	1 470 061 00	12 00
	CEAGESP cx.	1 010 116	"	12 252 707 08	100 00
QUIABO	CAC.CC cx.	10 788	19 47	209 804 90	4 82
	CEAGESP cx.	223 671	"	4 354 874 37	100 00
REPOLHO	CAC.CC sc.	196 292	8 73	1 713 741 74	16 28
	CEAGESP sc.	1 206 030	"	10 528 641 90	100 00
VAGEM	CAC.CC cx.	87 080	21 37	1 860 716 10	11 85
	CEAGESP cx.	734 702	"	15 700 581 74	100 00
TOTAL	CAC.CC			33 124 838 16	11 57
	CEAGESP.			286 335 781 34	100 00

4 ―② 1971 年度 CEAGESP におけるコチアによる主要蔬菜の取扱い額

HORTALICAS MAIS IMPORTANTES COMERCIALIZADAS PELA CAC CC

NO CEAGESP EM 1 971

ORD.	P R O D U T O	QUANTIDADE	P/MEDIO	V A L O R Cr$
1	TOMATE	921 998 cx	15 86	14 625 855 59
2	CENOURA	268 547 cx	13 62	3 658 463 60
3	VAGEM	87 080 cx	21 37	1 860 716 10
4	ALCACHOFRA	89 031 cx	19 81	1 763 907 90
5	REPOLHO	196 292 sc	8 73	1 713 741 74
6	PIMENTAO	121 186 cx	12 13	1 470 061 00
7	PEPINO	118 237 cx	10 87	1 285 866 90
8	ALFACE	32 587 eng	38 76	1 263 072 20
9	ERVILHA	39 420 cx	24 00	946 208 61
10	ABOBRINHA	91 744 cx	9 94	911 742 05

4 ―③ 1971年度 CEAGESP における主要蔬菜の取扱い額

HORTALICAS MAIS IMPORTANTES COMERCIALIZADAS NO CEAGESP EM 1971

ORD.	P R O D U T O	QUANTIDADE	P/MEDIO	V A L O R Cr$
1	TOMATE	8 873 481 cx	15 86	140 733 408 66
2	ALFACE	503 126 eng	38 76	19 501 163 76
3	CENOURA	1 220 232 cx	13 62	16 619 559 84
4	VAGEM	734 702 cx	21 37	15 700 581 74
5	PIMENTAO	1 010 116 cx	12 13	12 252 707 08
6	REPOLHO	1 206 030 sc	8 73	10 528 641 90
7	PEPINO	832 484 cx	10 87	9 049 101 08
8	CHUCHU	1 006 086 cx	7 40	7 445 036 40
9	ERVILHA	290 668 cx	24 00	6 976 032 00
10	ABOBRINHA	692 201 cx	9 94	6 880 477 94

4 —④1971年度 CEAGESP にお

COMPARAÇÃO DO MOVIMENTO DE VENDAS DAS PRINCIPAIS

PRODUTOS			JANEIRO	FEVEREIRO	MARÇO
TOMATE	CAC.CC	cs	97 352	48 734	62 051
	CEAGESP	cx	821 836	651 957	687 632
ABÓBORA	CAC.CC	kg	-	-	-
	CEAGESP	kg	453 700	515 938	854 864
ABOBRINHA	CAC.CC	cx	9 602	7 291	9 611
	CEAGESP	cx	57 054	52 606	65 545
ALFACE	CAC.CC	eng	2 693	2 434	2 383
	CEAGESP	eng	38 591	36 012	42 373
ALCACHOFRA	CAC.CC	cx	1 158	152	110
	CEAGESP		3 776	344	122
ASPARGO	CAC.CC	mc	9 919	6 705	9 651
	CEAGESP	mc	10 966	7 715	10 825
BATATA DOCE	CAC.CC	cx	1 461	1 709	2 707
	CEAGESP	cx	19 334	29 351	54 219
BERINGELA	CAC.CC	cx	5 747	5 867	3 667
	CEAGESP	cx	70 187	90 822	95 753
CENOURA	CAC.CC	cx	16 146	14 895	17 545
	CEAGESP	cx	77 830	75 509	94 095
COUVE FLOR	CAC.CC	dz	2 772	7 548	8 012
	CEAGESP	dz	14 703	30 884	43 615

ける主要蔬菜の取扱い動向比較表

HORTALICAS NO CEAGESP DURANTE O ANO DE 1 971

QUADRO (03)

ABRIL	MAIO	JUNHO	JULHO	AGOSTO
64 347	83 762	68 463	74 079	97 853
567 224	593 391	669 346	794 510	779 936
-	-	-	-	-
796 111	871 526	1 139 429	1 280 645	1 243 380
7 466	5 445	3 219	4 836	8 064
42 652	44 508	27 351	46 296	65 588
3 029	2 451	2 025	1 803	2 916
42 343	46 759	38 249	31 974	33 591
-	-	625	2 220	7 257
-	91	1 050	4 033	14 692
7 032	987	36	641	3 631
7 220	1 240	118	859	3 934
3 689	2 958	5 736	2 830	2 759
52 426	47 975	69 162	41 257	28 617
4 570	4 173	3 374	2 948	5 063
74 595	56 698	43 799	37 435	60 103
18 120	24 251	21 635	21 269	22 294
82 331	87 902	111 288	101 778	109 741
9 452	9 876	13 526	7 774	8 752
60 926	57 557	96 781	112 387	78 365

PRODUTOS			SETEMBRO	OUTUBRO	NOVEMBRO
TOMATE	CAC.CC	cx	76 265	72 198	70 265
	CEAGESP	cx	824 217	855 812	838 042
ABÓBORA	CAC.CC	kg	-	-	-
	CEAGESP	kg	1 126 606	1 112 221	
ABOBRINHA	CAC.CC	cx	7 151	9 905	8 486
	CEAGESP	cx	64 481	79 570	75 701
ALFACE	CAC.CC	eng	3 037	3 310	3 104
	CEAGESP	eng	42 076	43 424	50 970
ALCACHOFRA	CAC.CC	cx	24 446	36 388	11 146
	CEAGESP		63 620	121 986	53 884
ASPARGO	CAC.CC	mc	5 014	7 480	6 953
	CEAGESP	mc	5 579	10 551	9 571
BATATA DOCE	CAC.CC	cx	2 428	1 951	1 569
	CEAGESP	cx	25 775	26 746	25 515
BERINGELA	CAC.CC	cx	6 646	6 617	5 900
	CEAGESP	cx	73 360	62 877	71 932
CENOURA	CAC.CC	cx	36 615	28 492	24 902
	CEAGESP	cx	132 633	118 357	115 968
COUVE FLOR	CAC.CC	dz	10 308	13 470	10 764
	CEAGESP	dz	81 491	117 639	98 928

DEZEMBRO	T O T A L	M E D I A
106 629	921 998	76 833
789 578	8 873 481	739 457
-	-	-
10 668	91 744	7 645
70 849	692 201	57 683
3 402	32 587	2 716
56 764	503 126	41 927
5 529	89 031	7 419
23 391	286 989	23 916
10 121	68 170	5 681
11 538	80 116	6 676
2 981	32 778	2 731
23 619	443 996	37 000
6 407	60 979	5 081
64 990	802 551	66 879
22 383	268 547	22 379
112 800	1 220 232	101 686
7 426	109 680	9 140
42 617	835 893	69 658

PRODUTOS			JANEIRO	FEVEREIRO	MARÇO
CHUCHU	CAC.CC	cx	683	294	994
	CEAGESP	cx	27 740	15 578	47 012
ERVILHA	CAC.CC	cx	470	175	659
	CEAGESP	cx	18 514	11 162	4 175
ESCAROLA	CAC.CC	eng	939	896	771
	CEAGESP	eng	12 645	9 724	11 069
JILÓ	CAC.CC	cx	2 565	2 415	2 690
	CEAGESP	cx	12 912	14 307	15 718
MANDIOQUINHA	CAC.CC	cx	3 463	3 105	3 045
	CEAGESP	cx	22 874	23 138	32 600
PEPINO	CAC.CC	cx	18 709	18 929	15 447
	CEAGESP	cx	98 906	93 918	101 603
PIMENTÃO	CAC.CC	cx	11 874	10 475	11 481
	CEAGESP	cx	94 038	73 242	99 038
QUIABO	CAC.CC	cx	1 821	1 164	1 113
	CEAGESP	cx	41 035	29 647	27 513
REPOLHO	CAC.CC	sc	14 253	16 096	16 000
	CEAGESP	cx	96 518	87 291	110 999
VAGEM	CAC.CC	cx	9 839	5 923	8 178
	CEAGESP	cx	58 046	56 117	66 155

FONTES: CAC.CC DVPC SEÇÃO HORTI-FRUTICOLA - 1.971 -
CEAGESP - SEÇÃO DE ESTATISTICA - 1.971 -

ABRIL	MAIO	JUNHO	JULHO	AGOSTO
2 191	1 580	1 599	2 185	4 996
121 788	116 796	88 659	57 222	90 776
1 539	2 690	4 495	3 614	8 584
16 211	23 214	26 296	29 866	56 010
692	654	846	1 194	1 987
10 620	11 754	12 680	15 824	19 976
2 591	2 872	3 602	3 330	1 968
12 902	12 676	12 209	12 292	16 719
4 171	3 725	4 307	4 356	4 334
29 145	29 704	31 825	34 808	34 211
9 529	4 303	7 787	2 608	3 728
76 208	52 758	58 814	49 837	50 148
9 386	8 419	8 098	9 708	7 949
86 242	93 073	74 046	64 315	80 124
728	239	80	1 108	1 360
20 007	13 113	4 571	5 329	11 233
11 531	13 165	21 262	19 771	21 226
70 815	79 425	101 427	134 090	127 243
9 126	8 282	3 519	3 989	7 225
81 016	62 314	31 953	34 995	64 800

SÃO PAULO
"BOLETIM MENSAL" - SÃO PAULO

PRODUTOS			SETEMBRO	OUTUBRO	NOVEMBRO
CHUCHU	CAC.CC	cx	7 758	8 530	6,859
	CEAGESP	cx	135 805	117 965	118 202
ERVILHA	CAC.CC	cx	6.206	5 194	4.311
	CEAGESP	cx	48 653	26 908	16 297
ESCAROLA	CAC.CC	eng	985	584	484
	CEAGESP	eng	14 800	11 060	11 686
JILO	CAC.CC	cx	3 083	1 327	1 253
	CEAGESP	cx	22 442	15 214	16 837
MANDIOQUINHA	CAC.CC	cx	3 774	4 135	3 536
	CEAGESP	cx	30 500	24 747	20 800
PEPINO	CAC.CC	cx	6 768	11 320	7 983
	CEAGESP	cx	53 977	58 050	63 007
PIMENTAO	CAC.CC	cx	8 470	11 548	11 246
	CEAGESP	cx	95 434	88 848	74 567
QUIABO	CAC.CC	cx	463	826	763
	CEAGESP	cx	8 604	14 015	22 006
REPOLHO	CAC.CC	sc	18 092	17 708	14 086
	CEAGESP	cx	105 124	111 876	97 372
VAGEM	CAC.CC	cx	10 144	6 713	6 556
	CEAGESP	cx	82 997	69 817	69 183

DEZEMBRO	T O T A L	M E D I A
2 996	40 665	3 389
68 543	1 006 086	83 840
1 483	39 420	3 285
13 362	290 668	24 222
827	10 859	905
15 890	157 728	13 144
1 443	29 139	2 428
14 446	178 674	14 889
2 838	44 789	3 732
18 290	332 642	27 720
11 126	118 237	9 853
75 258	832 484	69 374
12 532	121 186	10 099
87 149	1 010 116	84 176
1 113	10 778	898
26 598	223 671	18 639
13 102	196 292	16 358
83 850	1 206 030	100 502
7 586	87 080	7 257
57 309	734 702	61 225

PRODUTOS			JANEIRO	FEVEREIRO	MARÇO
PERA	CAC	cx	1 154	2 137	571
	CEAGESP	cx	17 521	16 060	5 420
	IMPORT.	cx	13 854	34 385	34 881
PESSEGO	CAC	ct	78 992	8 647	266
	CEAGESP	ct	189 950	27 687	7,695
	IMPORT.	ct	12 288	9 282	2 409
PESSEGO FABR	CAC	cx	602	-	-
	CEAGESP	cx	4 104	-	-
UVA ITÁLIA	CAC	ct	50 678	62 860	67 038
	CEAGESP	ct	85 607	128 -53	148 812
	IMPORT.	ct	-	-	4 321
UVA COMUM	CAC	ct	11 065	8 022	573
	CEAGESP	ct	615 471	1 274 585	1 035 807
NESPERA	CAC	ct	-	-	-
	CEAGESP	ct	-	-	-
CAQUI AMA SHIBU	CAC	cx	-	-	462
	CAC	cx	-	-	4 550
	CEAGESP	cx	-	907	122 708
CAQUI AMA SHIBU	CAC	ct	-	-	686
	CAC	ct	-	16	2 435
	CEAGESP	ct	-	16	3 738
PONKAN	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx	-	-	2 035
TANGERINA	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx	-	-	11 884
MAMÃO	CAC	eng	297	139	116
	CEAGESP	eng	34 295	37 367	51 979
NECTARINA	CAC	ct	6 189	17 447	3 672
	CEAGESP	ct	14 640	24 896	3 672
	IMPORT.	ct	535	3 215	100
PINHA	CAC	ct	222	6 850	2 571
	CEAGESP	ct	4 974	10 231	4 602
MIXIRICA	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx	-	-	-

FONTES:- CAC.CC-DVPC SEÇÃO HORTI-FRUTICOLA - 1.971

CEAGESP - SEÇÃO DE ESTATISTICA - 1.971 -

ABRIL	MAIO	JUNHO	JULHO	AGOSTO
25	-	-	-	-
562	700	-	-	-
23 587	17 580	14 761	16 303	19 409
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
2 495	507	-	105	1 028
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
12 139	12 694	149	-	-
38 149	18 317	149	-	-
12 488	14 483	10 349	7 547	1 700
10	-	-	-	-
81 318	1 775	-	-	-
-	-	-	456	4 726
-	-	-	2 471	25 386
6 218	2 853	57	-	-
19 985	14 283	3 754	307	-
239 541	107 368	28 614	533	-
8 583	5 227	553	-	-
7 470	2 708	411	3	-
11 445	25 782	5 910	206	-
1 948	4 234	7 255	8 157	7 880
44 958	156 072	212 934	167 263	99 369
470	2 069	675	133	-
112 481	147 776	70 925	17 755	1 262
118	392	189	338	178
52 522	68 074	40 148	36 918	38 022
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
2 612	2 232	228	636	12
4 384	2 673	3 434	4 443	8 675
180	2 908	1 974	219	-
10 132	34 019	48 432	36 342	4 345

- SÃO PAULO

SÃO PAULO

PRODUTOS			SETEMBRO	OUTUBRO	NOVEMBRO
PERA	CAC	cx	-	-	56
	CEAGESP	cx	-	-	302
	IMPORT.	cx	22 856	27 083	21 472
PESSEGO	CAC	ct	-	9 345	82 651
	CEAGESP	ct	1 304	54 884	599 827
	IMPORT.	ct	1 865	1 510	339
PESSEGO FABR	CAC	cx	-	-	189
	CEAGESP	cx	-	-	341
UVA ITÁLIA	CAC	ct	-	-	4 056
	CEAGESP	ct	-	-	12 421
	IMPORT.	ct	3 354	9 533	6 113
UVA COMUM	CAC	ct	-	18	2 541
	CEAGESP	ct	-	18	10 864
NESPERA	CAC	ct	18 510	19 667	2 171
	CEAGESP	ct	122 206	84 699	2 607
CAQUI AMA SHIBU	CAC	cx	-	-	-
	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx		-	-
CAQUI AMA SHIBU	CAC	ct	-	-	-
	CAC	ct	-	-	-
	CEAGESP	ct	-	-	-
PONKAN	CAC	cx	2 478	20	-
	CEAGESP	cx	15 087	682	138
TANGERINA	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx	290	-	783
MAMÃO	CAC	eng	116	32	-
	CEAGESP	eng	47 420	59 543	58 648
NECTARINA	CAC	ct	-	-	4
	CEAGESP	ct	-	-	4
	IMPORT.	ct	105	-	-
PINHA	CAC	ct	-	-	-
	CEAGESP	ct	205	134	-
MIXIRICA	CAC	cx	-	-	-
	CEAGESP	cx	702	-	-

DEZEMBRO	T O T A L	M E D I A
1 614	5 557	463
32 173	72 738	6 061
20 451	266 622	22 218
220 541	400 442	33 370
1 046 414	1 927 761	160 647
-	31 828	2 652
5 471	6 262	522
6 186	10 631	886
138 388	348 002	29 000
274 259	705 767	58 801
985	70 873	5 906
36 089	58 318	4 860
868 968	3 888 806	324 067
403	45 933	3 828
499	237 868	19 822
-	9 590	799
-	42 879	3 573
-	499 671	41 639
-	15 049	1 254
-	13 043	1 086
-	47 097	3 925
-	31 972	2 664
-	698 538	58 211
-	3 347	279
983	364 139	30 345
2	1 917	160
51 052	575 988	47 999
3 642	30 954	2 579
9 497	52 709	4 392
1 246	5 201	433
4	15 367	1 281
4	43 759	3 646
-	5 281	440
-	133 972	11 164

4 ―⑤ 1971 年度 CEAGESP における コチアによる主要果実の取扱い額

FRUTAS MAIS IMPORTANTES COMERCIALIZAFAS PELA CAC CC NO

CEAGESP EM 1 971

ORD.	P R O D U T O S	QUANTIDADE	P/M	V A L O R Cr$
01º	UVA ITÁLIA E FINA	348 002 ct.	23 43	8 154 849 38
02º	MELÃO	2 678 578 kg	1 37	3 677 185 98
03º	MORANGO	615 762 kg	2 75	1 694 121 48
04º	PESSEGO	400 442 ct	3 44	1 378 991 06
05º	NECTARINA	30 954 ct	22 31	690 719 30
06º	ABACAXI	1 013 162 cb	0 66	665 418 80
07º	UVA COMUM	58 218 ct	10 30	599 604 20
08º	NESPERA	45 933 ct	11 49	527 853 50
09º	CAQUI SHIBU	52 469 cx	8 19	429 692 47
10º	LIMÃO	36 011 cx	11 41	410 817 60

4 ー⑥ 1971 年度 CEAGESP による主要果実の取扱い額

FRUTAS MAIS IMPORTANTES COMERCIALIZADO PELO CEAGESP

EM 1 971

ORD.	P R O D U T O S	QUANTIDADE	P/M	V A L O R Cr$
01º	UVA COMUM	3 888 806 ct	10 30	40 054 701 80
02º	LARANJA	6 924 435 cx	5 61	38 846 080 35
03º	UVA ITÁLIA E FINA	705 618 ct	23 43	16 532 629 74
04º	ABACAXÍ	11 887 155 cb	0 66	7 845 522 30
05º	MELÃO	5 669 680 kg	1 37	7 767 461 60
06º	MELANCIA	39 873 433 kg	0 19	7 575 952 27
07º	LIMAO	608 353 cx	11 41	6 941 307 73
08º	PONKAN	698 538 cx	9 91	6 922 511 58
09º	PESSEGO	1 927 761 ct	3 44	6 631 497 84
10º	MORANGO	2 167 324 kg	2 75	5 960 141 00

4－⑦ CEAGESPにおける主要果実の取扱い計－1971年度におけるCEAGESPとCEAGESPにおけるコチアの比較表

COMERCIALIZAÇÃO DE FRINCIPAIS ERUTAS NO CEAGESP

COMPARAÇÃO ENTRE CAC CC NO CEAGESP E CEAGESP TOTAL 1.971

PRODUTOS			QUANTIDADE	P. MEDIO	IMPORTANCIA	%
ABACATE	CAC CC	cx	15 413	10 96	168 956 90	3 77
	CEAGESP	cx	409 100	"	4 483 736 00	100 00
ABACAXÍ	CAC CC	cb	1 013 162	0 66	665 418 80	8 48
	CEAGESP	cb	11 887 155	"	7 845 522 30	100 00
AMEIXA	CAC CC	ct	26 520	8 65	229 272 40	18 36
	CEAGESP	ct	144 374	"	1 248 835 10	100 00
CAQUI	CAC CC	cx	52 469	8 19	429 692 47	10 50
	CEAGESP	cx	499 671	"	4 092 305 49	100 00
FIGO	CAC CC	eng	17 763	3 69	65 574 80	1 60
	CEAGESP	eng	1 113 514	"	4 108 866 66	100 00
GOIABA	CAC CC	ct	46 391	6 32	293 420 00	16 22
	CEAGESP	ct	286 192	"	1 808 733 44	100 00
LARANJA	CAC CC	cx	10 998	5 61	61 690 43	0 16
	CEAGESP	cx	6 924 435	"	38 846 080 35	100 00
MAÇÃ	CAC CC	cx	8 247	16 78	138 405 50	7 76
	CEAGESP	cx	106 192	"	1 781 901 76	100 00
MELANCIA	CAC CC	kg	1 065 580	0 19	201 537 98	2 66
	CEAGESP	kg	39 873 433	"	7 575 952 27	100 00
MEIÃO	CAC CC	kg	2 678 578	1 37	3 154 849 38	40 62
	CEAGESP	kg	5 669 680	"	7 767 461 60	100 00
MORANGO	CAC CC	kg	615 762	2 75	1 694 121 48	28 42
	CEAGESP	kg	2 167 324	"	5 960 141 00	100 00
NESPERA	CAC CC	ct	45 933	11 49	527 853 50	19 31
	CEAGESP	ct	237 868	"	2 733 103 32	100 00
NECTARINA	CAC CC	ct	30 954	22 31	690 719 30	58 73
	CEAGESP	ct	52 709	"	1 175 937 79	100 00
PERA	CAC CC	cx	5 557	20 00	111 130 50	7 64
	CEAGESP	cx	72 738	"	1 454 760 00	100 00
PESSEGO	CAC CC	ct	400 442	3 44	1 378 991 06	20 79
	CEAGESP	ct	1 927 761	"	6 631 497 84	100 00
PINHA	CAC CC	ct	15 367	12 42	190 863 60	35 11
	CEAGESP	ct	43 749	"	543 362 58	100 00
PONKAN	CAC CC	cx	31 972	9 91	316 921 42	4 58
	CEAGESP	cx	698 538	"	6 922 511 58	100 00
LIMÃO	CAC CC	cx	36 011	11 41	410 817 60	5 92
	CEAGESP	cx	608 353	"	6 941 307 73	100 00
UVA ITÁLIA	CAC CC	ct	348 002	23 43	8 154 849 38	49 3
	CEAGESP	ct	705 618	"	16 532 629 74	100 00
UVA COMUM	CAC CC	ct	58 218	10 30	599 604 20	1 4
	CEAGESP		3 888 806	"	40 054 701 80	100 00

4 — ⑧ CEAGESP における

QUADRO COMPARATIVO DE ENTRADA DAS PRINCIPAIS

PRODUTOS			JANCIRO	FEVERCIRO	MARCO
ABACATE	CAC	cx	289	1 179	1 508
	CEAGESP	cx	13 643	37 878	80 954
ABACAXI	CAC	cb	295 857	120 354	99 861
	CEAGESP	cb	2 164 360	1 507 188	461 092
AMEIXA	CAC	ct	6 152	7 698	252
	CEAGESP	ct	28 470	29 892	1 078
	IMPORT.	ct	9 354	7 826	7 857
FIGO	CAC	eng	4 750	4 722	3 943
	CEAGESP	eng	227 596	278 728	237 367
GOIABA	CAC	ct	2 660	2 148	3 999
	CEAGESP	ct	15 143	18 792	45 309
LARANJA	CAC	cx	1 337	1 304	211
	CEAGESP	cx	743 627	699 681	704 399
LIMAO	CAC	cx	4 046	3 322	4 115
	CEAGESP	cx	66 335	68 953	58 171
LIMÃO	CAC	sc	750	320	552
	CEAGESP	sc	3 543	2 799	1 731
MAÇã	CAC	cx	1 053	2 139	3 302
	CEAGESP	cx	21 261	30 793	24 064
	IMPORT.	cx	57 930	94 805	132 843
MANGA	CAC	cx	547	90	-
	CEAGESP	cx	59 918	24 201	4 275
MELÃO	CAC	kg	281 260	71 940	230 000
	CEAGESP	kg	320 220	182 900	501 440
	IMPORT.	kg	17 250	57 540	45 030
MELANCIA	CAC	kg	98 237	90 878	134 452
	CEAGESP	kg	3 675 444	2 544 602	2 936 108
MORANGO	CAC	kg	1 476	20	80
	CEAGESP	kg	6 604	20	1 600

主要果実の移入比較表

FRUTAS NO CEAGESP DURANTE O EXERCICIO DE 1.971

ABRIL	MAIO	JUNHO	JULHO	AGOSTO
1 034 56 570	1 034 39 457	926 34 593	478 36 876	1 206 39 997
8 100 249 924	4 531 157 604	14 665 485 048	108 126 739 628	29 832 629 915
- - 2 472	- - 207	- - -	- 8 4 471	- 222 2 156
2 081 97 221	555 19 637	- -	- 320	- -
5 446 53 016	2 304 37 169	2 653 32 391	7 353 22 478	6 517 16 762
543 476 412	1 189 406 025	1 061 423 796	3 227 563 458	1 577 544 372
3 814 45 7k2	3 344 39 986	1 946 37 603	2 914 40 641	1 810 42 656
250 777	463 1 195	352 770	430 939	501 501
464 4 275 118 785	- 688 111 678	- - 89 523	- 397 109 724	- 94 144 495
- 429	- -	- -	- -	- -
237 720 574 360 2 430	399 435 721 900 -	165 960 384 620 -	82 620 109 435 -	76 635 76 635 164 745
40 556 1 366 866	113 289 1 052 832	- 425 500	- 97 500	- 214 100
2 405 5 776	15 782 39 576	61 504 205 176	128 766 546 596	205 003 240 704

PRODUTOS			STEMBRO	OUTUBRO	NOVEMBRO
ABACATE	CAC	cx	2 498	3 695	873
	CEAGESP	cx	31 310	22 439	10 203
ABACAXI	CAC	cb	20 886	36 852	82 914
	CEAGESP	cb	688 160	1 120 480	1 497 488
AMEIXA	CAC	ct	-	-	3 215
	CEAGESP	ct	-	-	28 332
	IMPORT.	ct	1 120	305	903
FIGO	CAC	eng	-	-	53
	CEAGESP	eng	-	-	19 515
GOIABA	CAC	ct	4 688	3 429	3 389
	CEAGESP	ct	13 986	14 990	8 734
LARANJA	CAC	cx	347	180	17
	CEAGESP	cx	562 760	580 573	595 874
LIMÃO	CAC	cx	2 885	2 667	1 637
	CEAGESP	cx	42 913	44 148	55 206
LIMÃO	CAC	sc	435	441	816
	CEAGESP	sc	1 216	1 455	3 105
MAÇÃ	CAC	cx	-	-	70
	CEAGESP	cx	-	-	2 976
	IMPORT.	cx	141 780	125 257	120 643
MANGA	CAC	cx	-	-	1 242
	CEAGESP	cx	269	22 531	76 806
MELÃO	CAC	kg	49 020	185 888	350 345
	CEAGESP	kg	50 220	259 240	940 085
	IMPORT.	kg	158 280	143 280	38 895
MELANLIA	CAC	kg	-	183 377	150 074
	CEAGESP	kg	1 864 504	4 937 600	9 590 070
MORANGO	CAC	kg	99 540	55 245	31 765
	CEAGESP	kg	538 173	307 294	199 964

DEZEMBRO	T O T A L	M E D I A
693	15 413	1 284
5 180	409 100	34 092
191 184	1 013 162	84 430
2 186 268	11 887 155	990 596
9 344	26 661	2 222
56 372	144 374	12 031
16 611	53 282	4 440
1 659	17 763	1 480
233 130	1 113 514	92 793
2 105	46 691	3 891
7 422	286 192	23 849
5	10 998	916
623 458	6 924 435	577 036
3 511	36 011	3 001
66 029	608 353	50 696
247	5 557	463
2 056	20 387	1 699
1 219	8 247	687
21 644	106 192	8 849
97 900	1 345 363	112 114
1 781	3 660	305
107 106	295 535	24 628
547 755	2 678 578	223 215
1 560 560	5 681 615	472 473
25 080	652 530	54 377
254 237	1 065 100	88 758
11 168 307	39 873 433	3 322 786
14 176	615 762	51 313
75 846	2 167 324	180 610

4 —⑨ サンパウロにおける国産主要果実の取扱い量及び金額

VOLUME E VALOR DA COMERCIALIZACAO DAS PRINCIPAIS FRUTAS NACIONAIS EM SAO PAULO - COMPARAÇÃO ENTRE A C. A. C NO CEAGESP, CEAGESP E CANTAREIRA REFERENTE 1.971

PRODUTOS		L O C A L	QUANTIDADE	P/MED	VALOR (Cr$)	%
ABAÇATE	cx	C.A.C.	15 413	10 96	168 956 90	2 26
		CEAGESP	409 100	"	4 483 000 00	60
		CANTAREIRA	272 720	"	2 988 000 00	40
		TOTAL.	681 820	"	7 471 000 00	100
ABACAXÍ		C.A.C.	1 013 162	0 66	665 418 80	2 54
		CEAGESP	11 887 155	"	7 845 000 00	30
		CANTAREIRA	27 736 660	"	18 305 000 00	70
		TOTAL.	39 623 815	"	26 150 000 00	100
AMEIXA		C.A.C.	26 520	8 65	229 272 40	12 86
		CEAGESP	144 374	"	1 248 000 00	70
		CANTAREIRA	61 860	"	535 000 00	30
		TOTAL.	206 234		1 783 000 00	100
FIGO	ENG	C.A.C.	17 763	3 69	65 574 80	1 12
		CEAGESP	1 113 514	"	4 108 000 00	70
		CANTAREIRA	477 210	"	1 761 000 00	30
		TOTAL.	1 590 724	-	5 869 000 00	100
GOIABA	ct	C.A.C.	46 391	6 32	293 420 00	8 11
		CEAGESP	286 192	"	1 808 000 00	50
		CANTAREIRA	286 192	"	1 808 000 00	50
		TOTAL.	572 384	"	3 616 000 00	100
LARANJA	cx	C.A.C.	10 998	5 61	61 690 43	0 06
		CEAGESP	6 924 435	"	38 846 000 00	40
		CANTAREIRA	10 386 660	"	58 269 000 00	60
		TOTAL.	17 311 095	"	97 115 000 00	100
LIMÃO	cx	C.A.C.	36 011	11 41	410 817 60	3 55
		CEAGESP	608 353	"	6 941 000 00	60
		CANTAREIRA	405 560	"	4 627 000 00	40
		TOTAL.	1 013 913	"	11 568 000 00	100
LIMÃO	sc	C.A.C.	5 557	5 74	31 872 70	16 34
		CEAGESP	20 387	"	117 000 00	60
		CANTAREIRA	13 600	"	78 000 00	40
		TOTAL.	33 987	"	195 000 00	100
MAÇÃ	cx	C.A.C.	8 247	16 78	138 405 50	5 44
		CEAGESP	106 192	"	1 781 000 00	70
		CANTAREIRA	45 510	"	763 000 00	30
		TOTAL.	151 702	"	2 544 000 00	100
MANGA	cx	C.A.C.	3 660	7 42	27 154 10	0 62
		CEAGESP	295 535	"	2 192 000 00	50
		CANTAREIRA	295 535	"	2 192 000 00	50
		TOTAL.	591 070	"	4 384 000 00	100

PRODUTOS		L O C A L	QUANTIDADE	P/MED	VALOR (Cr$)	%
MELÃO	kg	C.A.C.	2 678 578	1 37	3 677 185 98	33 14
		CEAGESP	5 669 680	"	7 767 000 00	70
		CANTAREIRA	2 429 850	"	3 328 000 00	30
		TOTAL.	8 099 530	"	11 095 000 00	100
MELANCIA	kg	C.A.C.	1 065 580	0 19	201 537 98	0 80
		CEAGESP	39 873 433	"	7 576 000 00	30
		CANTAREIRA	93 037 980	"	17 677 000 00	70
		TOTAL.	132 911 413	"	25 253 000 00	100
MORANGO	kg	C.A.C.	615 762	2 75	1 694 121 48	18 48
		CEAGESP	2 167 324	"	5 960 000 00	65
		CANTAREIRA	1 167 005	"	3 209 000 00	35
		TOTAL.	3 334 329	"	9 169 000 00	100
PERA	cx	C.A.C.	5 557	20 00	111 130 50	5 35
		CEAGESP	72 738	"	1 454 000 00	70
		CANTAREIRA	31 170	"	623 000 00	30
		TOTAL.	103 908	"	2 077 000 00	100
PESSEGO	ct	C.A.C.	400 442	3 44	1 378 991 06	12 48
		CEAGESP	1 927 761	"	6 631 000 00	60
		CANTAREIRA	1 285 160	"	4 421 000 00	40
		TOTAL.	3 212 921	"	11 052 000 00	100
PESSEGO	cx	C.A.C.	6 262	13 42	84 027 70	41 39
		CEAGESP	10 631	"	142 000 00	70
		CANTEREIRA	4 560	"	61 000 00	30
		TOTAL.	15 191	"	203 000 00	100
UVA ITÁLIA E FINA	ct	C.A.C.	348 002	23 43	8 154 849 38	34 53
		CEAGESP	705 618	"	16 532 000 00	70
		CANTAREIRA	302 400	"	7 085 000 00	30
		TOTAL.	1 008 018	"	23 617 000 00	100
UVA COMUM	ct	C.A.C.	58 218	10 30	599 604 20	1 20
		CEAGESP	3 888 806	"	40 054 000 00	80
		CANTAREIRA	972 200	"	10 013 000 00	20
		TOTAL.	4 851 006	"	50 067 000 00	100
NESPERA	ct	C.A.C.	45 933	11 49	527 853 50	11 59
		CEAGESP	237 868	"	2 733 000 00	60
		CANTAREIRA	158 560	"	1 822 000 00	40
		TOTAL.	396 428	"	4 555 000 00	100
CAQUI	ct	C.A.C.	28 089	4 14	116 179 52	35 97
		CEAGESP	47 097	"	194 000 00	60
		CANTAREIRA	31 400	"	129 000 00	40
		TOTAL.	78 497	"	323 000 00	100

PRODUTOS		L O C A L	QUANTIDADE	P/MED	VALOR (Cr$)	%
CAQUI	cx	C.A.C.	52 469	8 19	429 692 47	6 30
		CEAGESP	499 671	"	4 092 000 00	60
		CANTAREIRA	333 120	"	2 728 000 00	40
		TOTAL.	832 791	"	6 820 000 00	100
PONAKN	cx	C.A.C.	31 972	9 91	316 921 42	2 29
		CEAGESP	698 538	"	6 922 000 00	50
		CANTAREIRA	698 538	"	6 922 000 00	50
		TOTAL.	1 397 076	"	13 844 000 00	100
TANGERINA	cx	C.A.C.	3 365	4 21	14 171 46	0 37
		CEAGESP	364 139	"	1 533 000 00	40
		CANTAREIRA	546 180	"	2 299 000 00	60
		TOTAL.	910 319	"	3 832 000 00	100
MAMÃO	eng	C.A.C.	1 917	8 17	15 660 10	0 20
		CEAGESP	575 988	"	4 705 000 00	60
		CANTAREIRA	384 000	"	3 137 000 00	40
		TOTAL.	959 988	"	7 842 000 00	100
NECTARINA	ct	C.A.C.	30 954	22 31	690 719 30	58 78
		CEAGESP	52 709	"	1 175 000 00	100
		CANTAREIRA	-	-	-	-
		TOTAL.	52 709	"	1 175 000 00	100
PINHA	ct	C.A.C.	15 367	12 42	190 863 60	24 60
		CEAGESP	43 749	"	543 000 00	70
		CANTAREIRA	18 750	"	233 000 00	30
		TOTAL.	62 499	"	776 000 00	100
VALOR TOTAL DA C.A.C.-C.C.					20 296 092 88	6 11
VALOR TOTAL DO CEAGESP					177 382 000 00	53 36
VALOR TOTAL DA CANTAREIRA					155 013 000 00	46 64
VALOR TOTAL EM SÃO PAULO					332 395 000 00	100

Obs:- 1) O total São Paulo se refere à soma do movimento de vendas no CEAGESP E CANTAREIRA

2) No movimento de vendas CEAGESP está incluído o da C.A.C.-C.C.

3) A C.A.C. detém 6,11% do mercado de frutas São Paulo, e 11,44% do mercado de frutas CEAGESP.

4 —⑩ 1971年度CEAGESPにおける輸入果実の入荷量

ENTRADA DE FRUTAS IMPORTADAS NO CEAGESP NO ANO DE 1 971

ORD.	PRODUTOS	PESO	QUANT.	P/M	IMPORTANCIA
01	AMEIXA	ct 10kg	53.282	41,64	2.219.121,44
02	CEREJA	ct 6kg	9 897	50 09	495 723 99
03	MACA	cx 18kg	1 345 363	38 92	52 360 241 18
04	MELA	cx 15kg	43 502	49 02	2 132 641 00
05	NECTARINA	ct 6kg	5 201	37 12	193 080 00
06	PERA	cx 17kg	266 622	45 48	12 127 046 43
07	PESSEGO	ct	31 828	26 72	850 385 23
08		barrica ct 10kg	72 320	40 93	2 960 094 41

1- AMEIXA

A maior safra de Ameixa importada é de dezembro a abil, que coincide com a Ameixa nacional. A sua procedencia e ARGENTINA.

2- CEREJA

A cereja estrangeira é a única frutas que não tem concorrencia, pois no Brasil quase não há plantação desta fruta e no Ceagesp nao teve entrada no ano de 1.971.A sua entrada é de novembro a janeiro. As procedencias sao do CHILE E ARGENTINA.

3- MAÇÃ

A maçã e a fruta importada de maior importância e conônica. O seu consumo é muito grande em todo o ano. As suas principais procedência s são :- ARGENTINA, FRANCA e HUNGARIA.

4- MELÃO

O melão e uma das frutas importada que teve grande entrada em 1.971. A sua grande entrada foram em agosto; setembro e outubrok, e entrada normal em fevereiro, março, novem-

bro e dezembro. Nos meses de agosto a outubro teve grande influencia no preco do melão do Para. A procedencia e da ESPANHA.

5- NECTARINA

A nectarina teve entrada nos meses de janeiro, fevereiro e dezembro. A sua procedencia é do CHILE.

6- PERA

A pera é a 2º frutas importada de maior importancia. A procedencia são:- FRANCA, U.S.A., CHILE E ARGENTINA.

7- PESSEGO

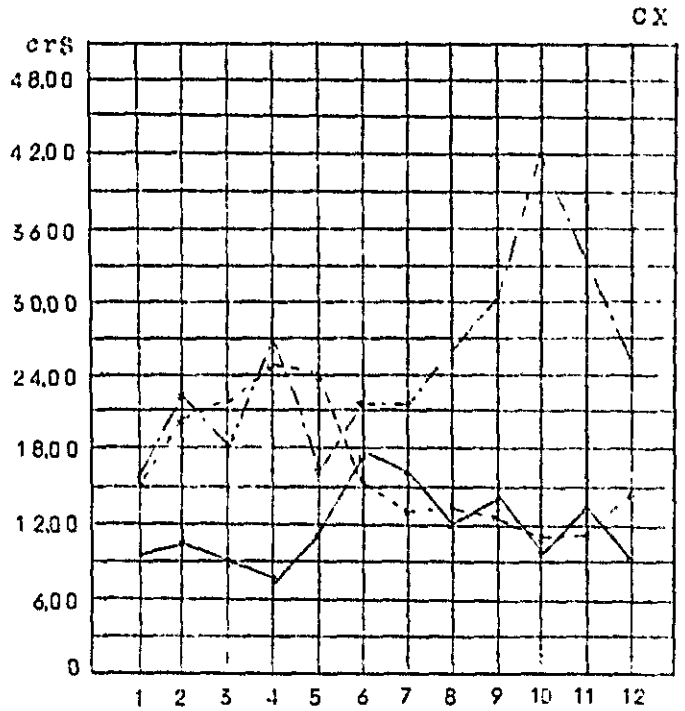
A entrada do pessego são de janeiro a abril. A sua procedencia são:- FRANCA E ITÁLIA.

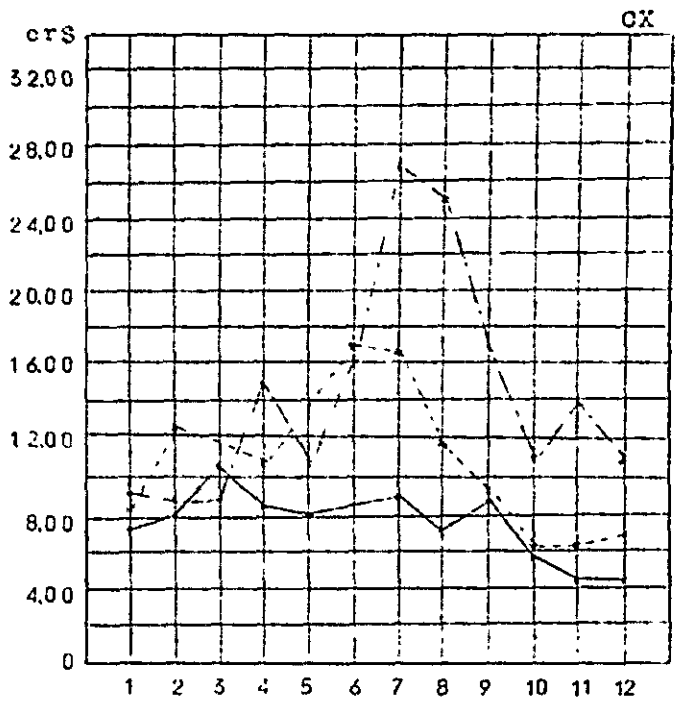
8- UVA

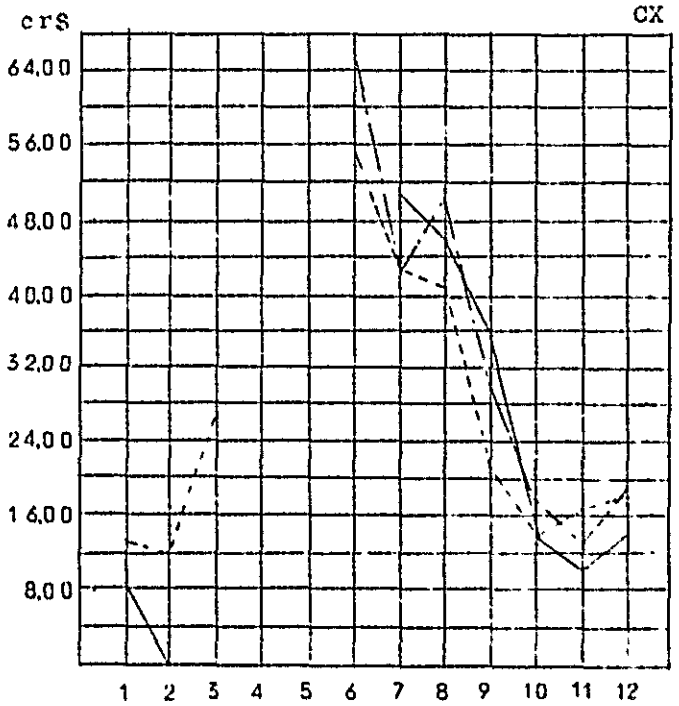
A entrada da Uva estrangeira são de março a novembro. Por esse motivo não afeta muito o preco das uvas nacionais. A sua procedencia são:- ESPANHA, ARGENTINA, CHILE, U.S.A., e MEXICO. A sua embalagem são de barrica é caixeta c/aproximadamente 10 a 12 kg.

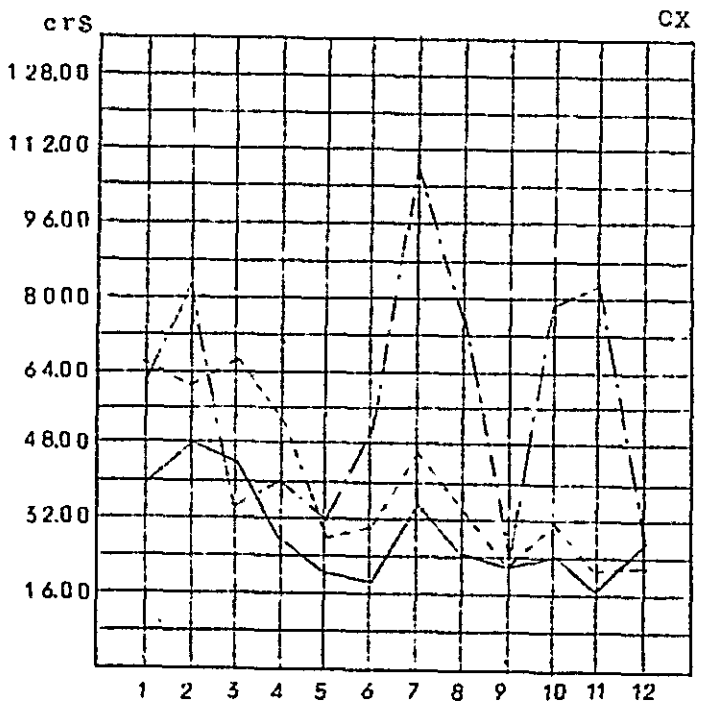
(注) 単位 ct ―カゴ
cx ―箱
sc ―袋
mc ―小束
eng ―束
cb ―個
dx ―ダース

4－⑪　1970'71，72，年度CEAGESPにおけるコチブ取扱い分月平均価格表

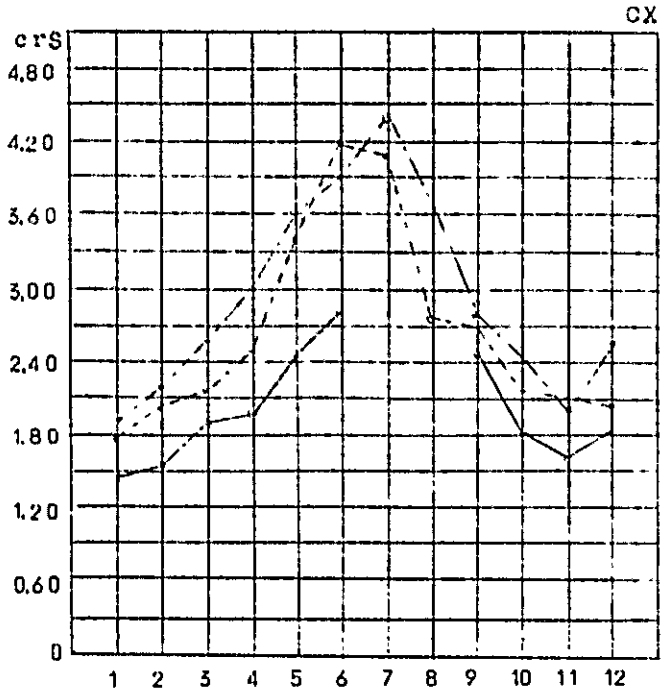




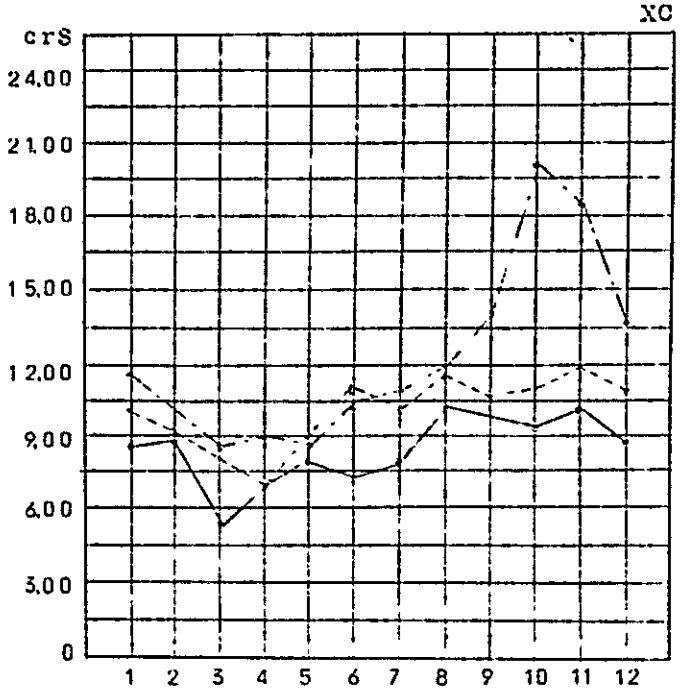

ALCACHOFRA
crS
CX
64.00
56.00
48.00
40.00
32.00
24.00
16.00
8.00
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

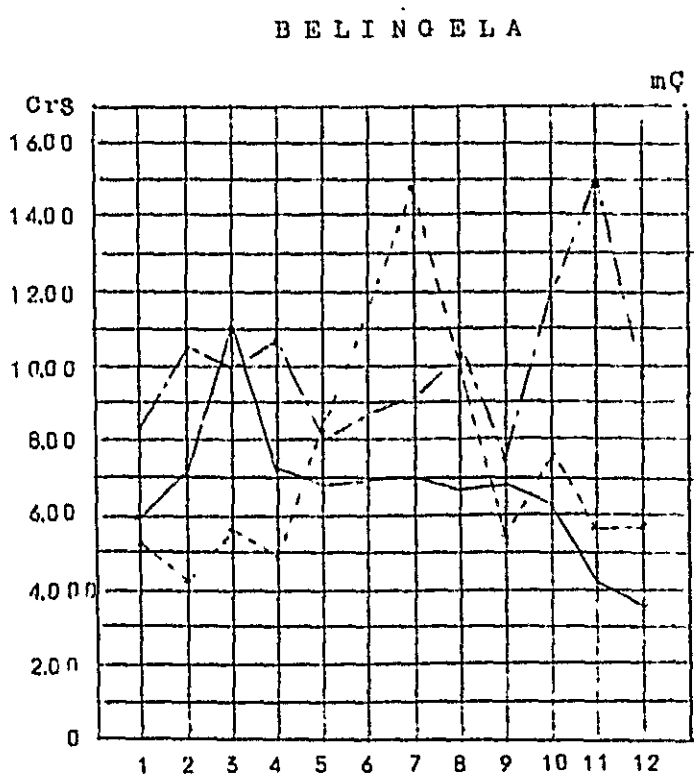

AFFACE
crS
CX
128.00
112.00
96.00
80.00
64.00
48.00
32.00
16.00
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

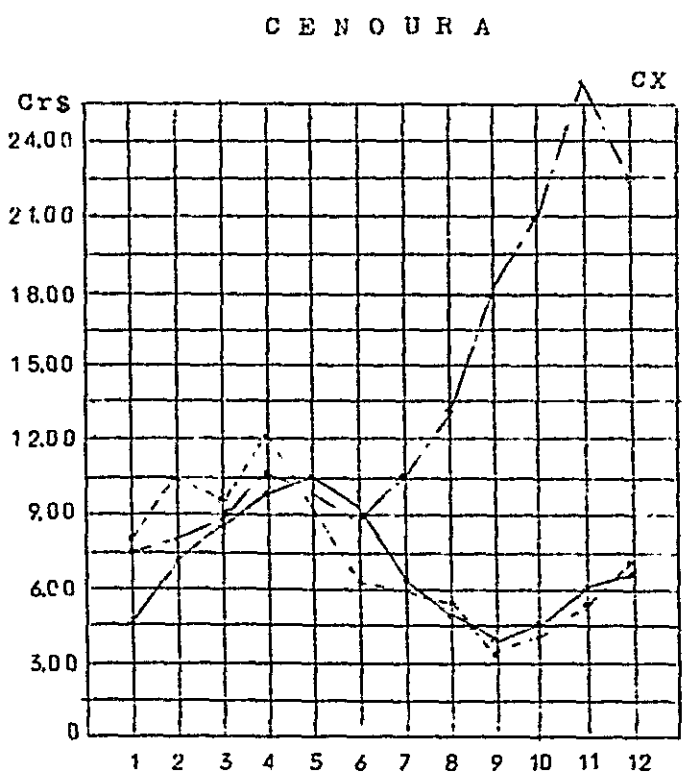
ASPARGO

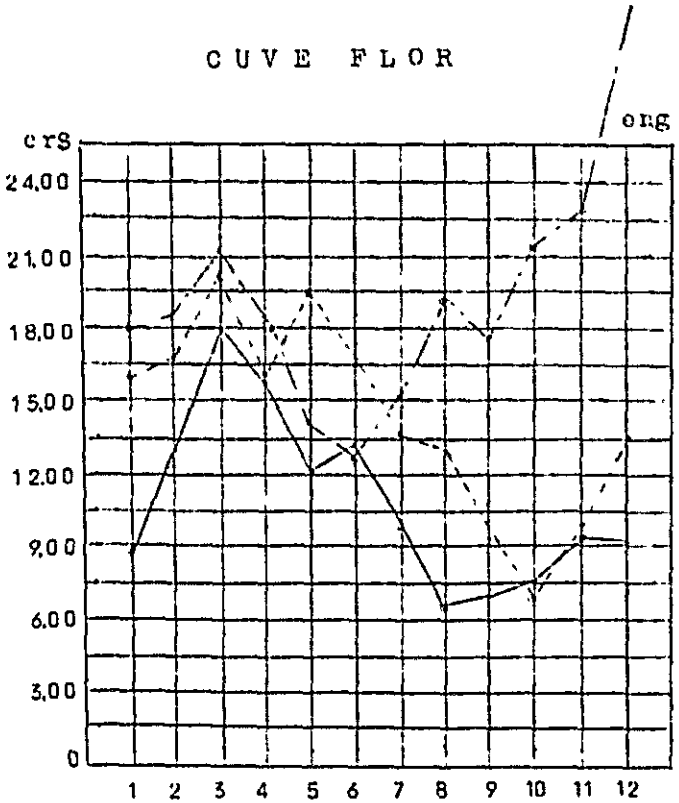


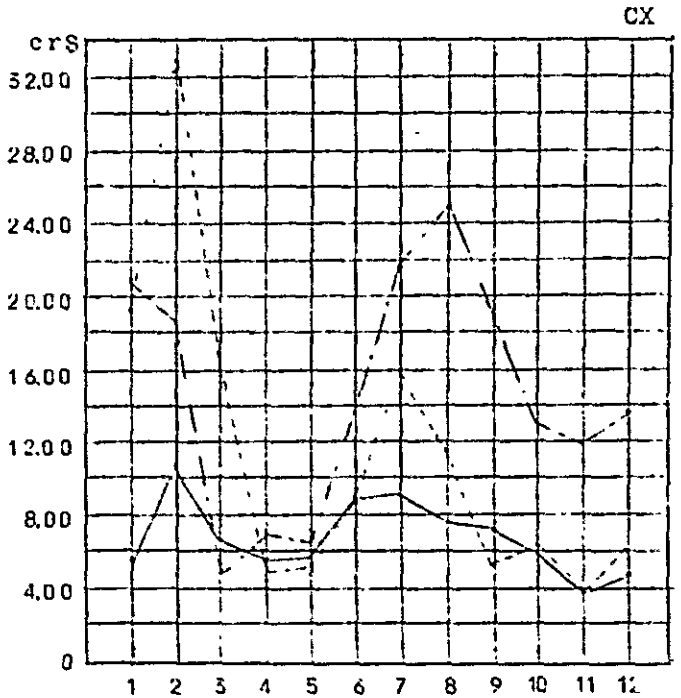
BATATA DOCE

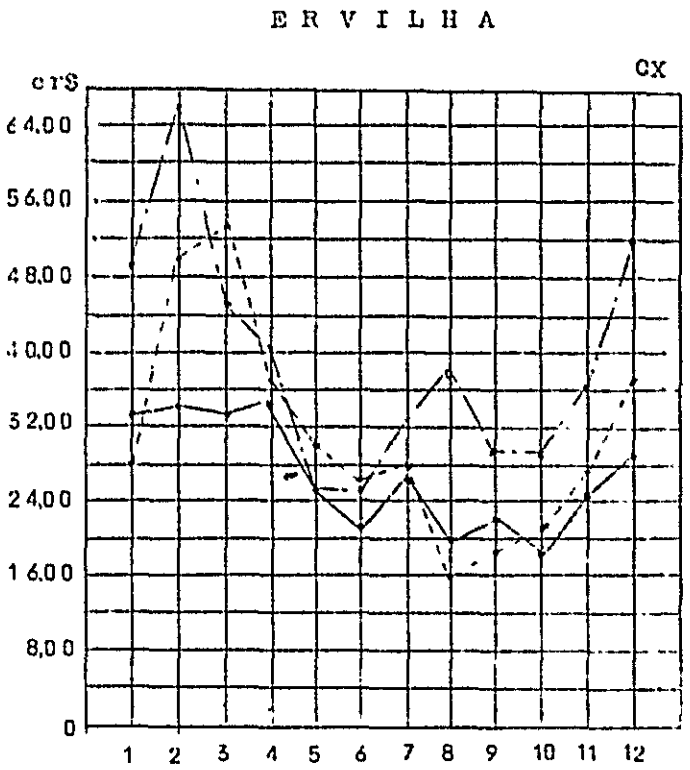


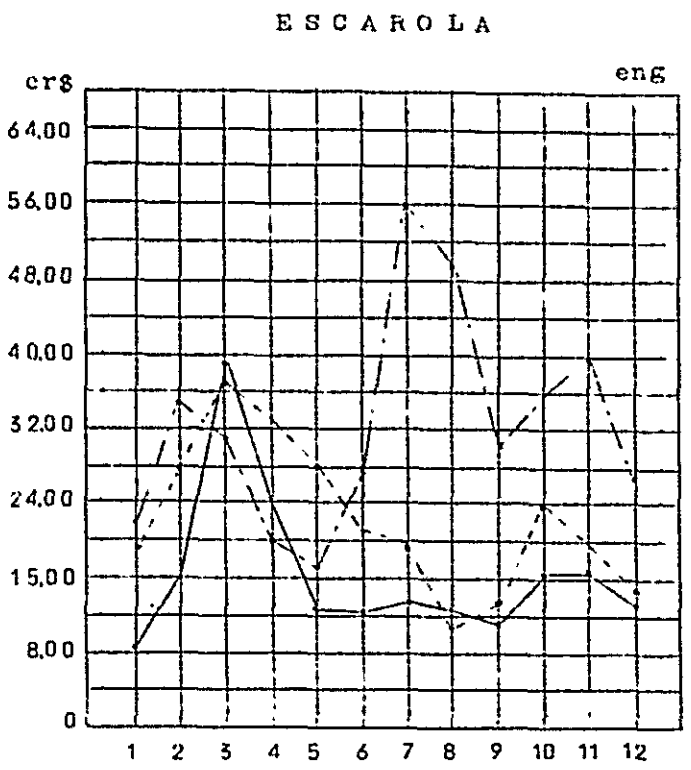

BELINGELA
mÇ
Crs
16.00
14.00
12.00
10.00
8.00
6.00
4.000
2.00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12


CENOURA
CX
Crs
24.00
21.00
18.00
15.00
12.00
9.00
6.00
3.00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

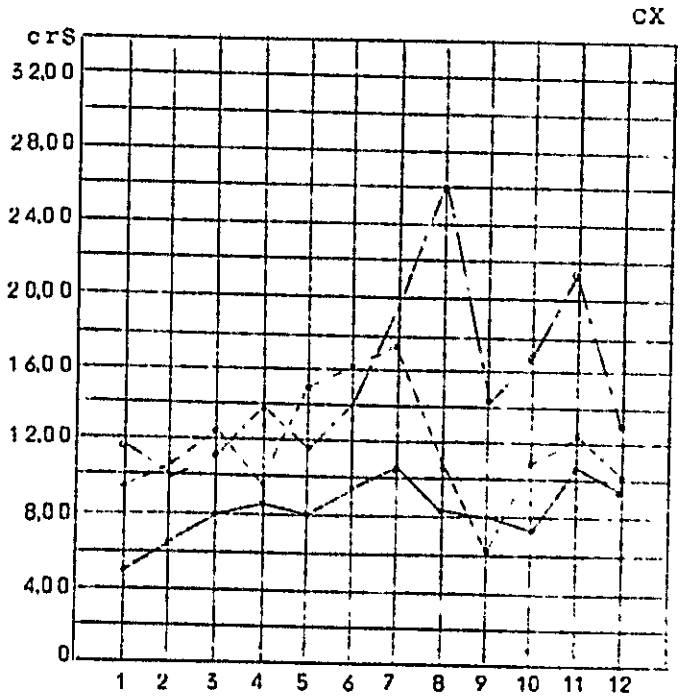

CUVE FLOR
crS
org
24.00
21.00
18.00
15.00
12.00
9.00
6.00
3.00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12


CHUCHU
crS
CX
32.00
28.00
24.00
20.00
16.00
12.00
8.00
4.00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

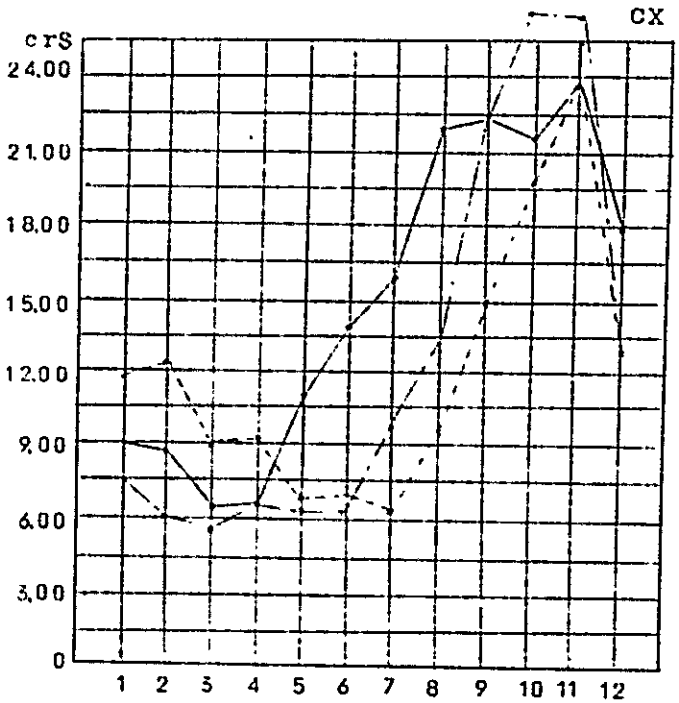

ERVILHA
cr$
CX
64,00
56,00
48,00
40,00
32,00
24,00
16,00
8,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

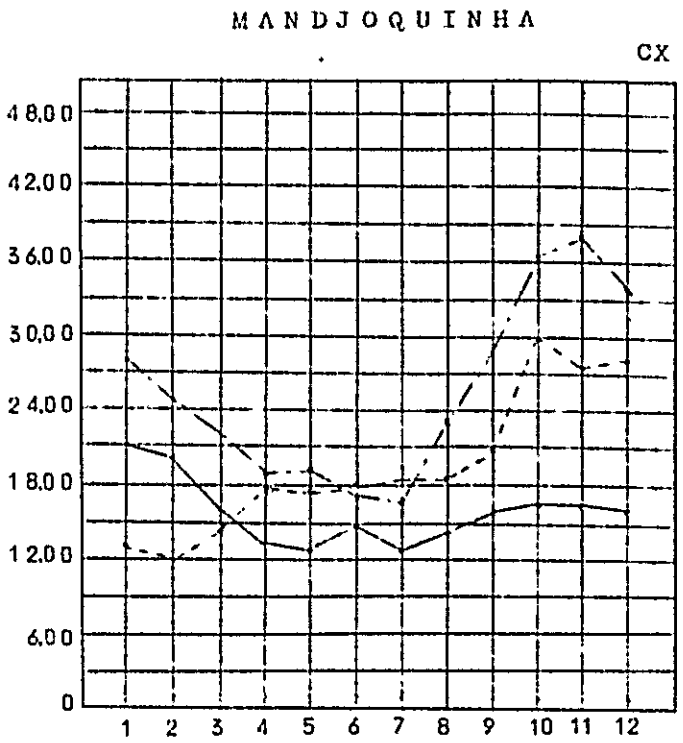

ESCAROLA
cr$
eng
64,00
56,00
48,00
40,00
32,00
24,00
15,00
8,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

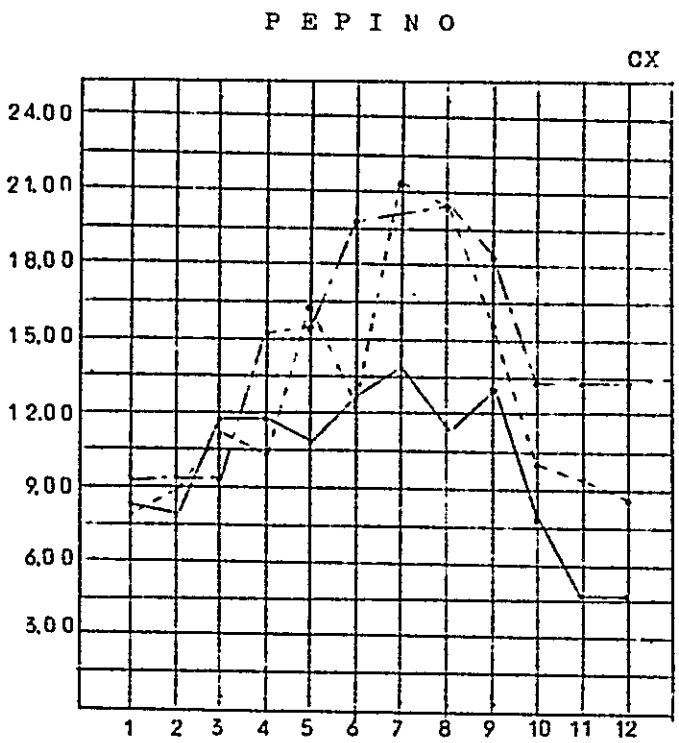
J I L O


CX
crS
32,00
28,00
24,00
20,00
16,00
12,00
8,00
4,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

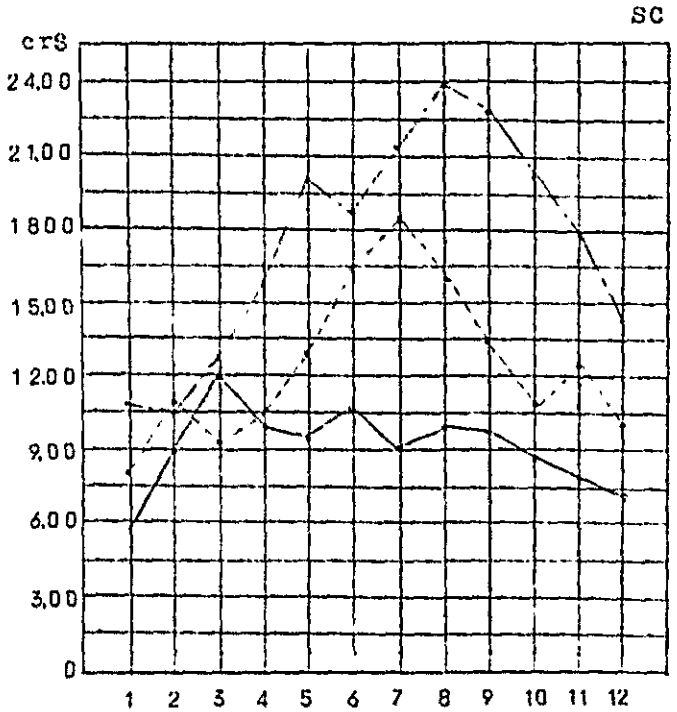
L I M Ã O


CX
crS
24,00
21,00
18,00
15,00
12,00
9,00
6,00
3,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12


MANDJOQUINHA
CX
48.00
42.00
36.00
30.00
24.00
18.00
12.00
6.00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

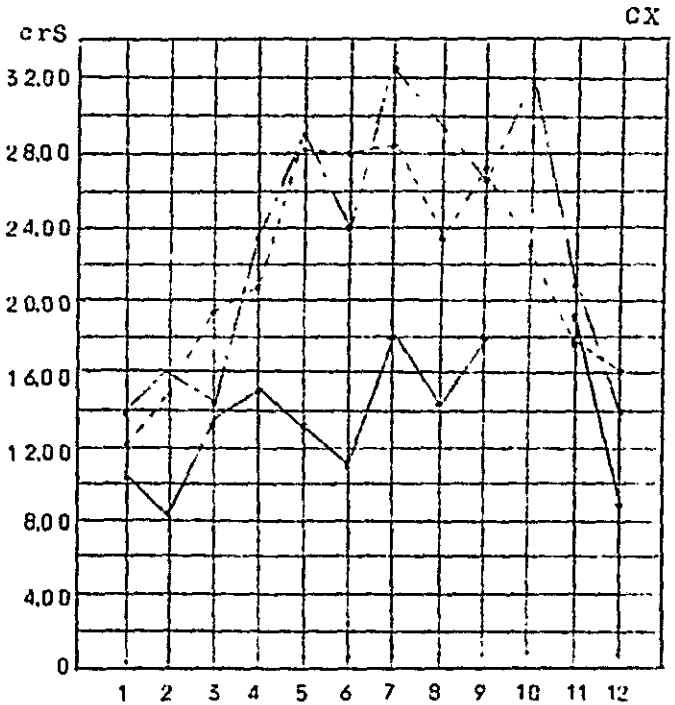

PEPINO
CX
24.00
21.00
18.00
15.00
12.00
9.00
6.00
3.00
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

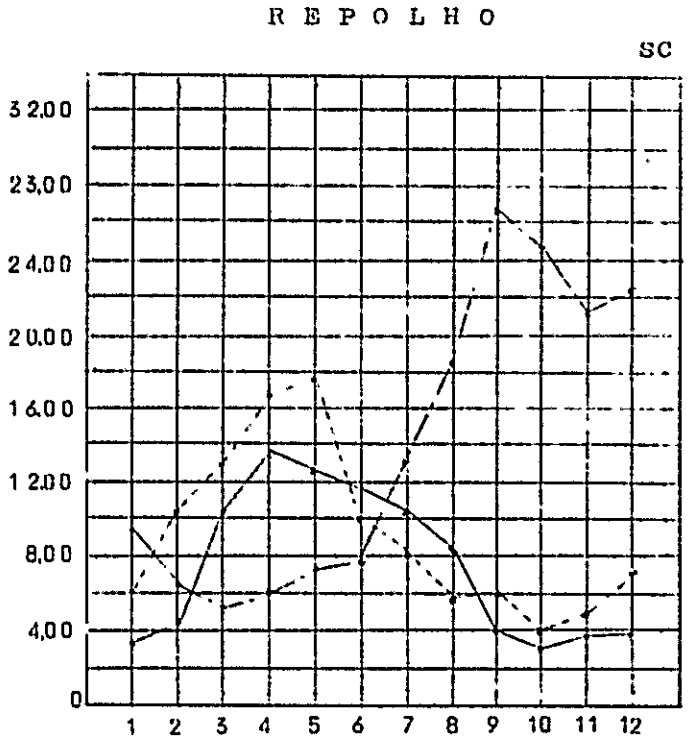
P I M E N T Ã O

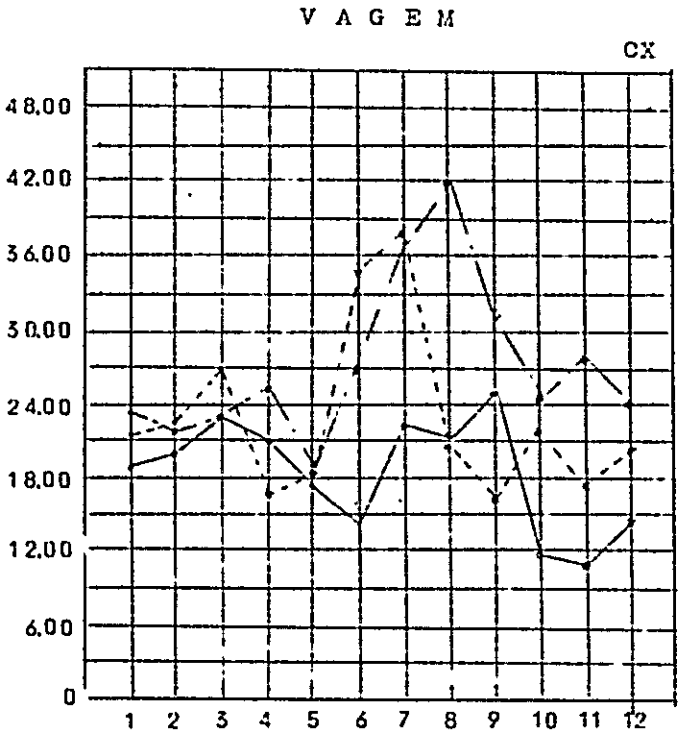


(注) 单位 cX－角 m －小果
eng－果 Sc－

Q U I A B O




REPOLHO
SC
32,00
23,00
24,00
20,00
16,00
12,00
8,00
4,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12


VAGEM
CX
48,00
42,00
36,00
30,00
24,00
18,00
12,00
6,00
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

別添 5　サンパウロ農務局，経済研究所農産物生産統計

5 - ①　生産物別

Secretaria da Agricultura
Instituto de Economia Agricola e Coor
Previsões e Estimativas das Safras
Ano 71/72 - 5° Levantamen

Produto	Area em 1000ha		Variação percentual da area
	Final 71	Final 72	
Cafe beneficiado	693,8	693,8	0,0
Algodao em caroco	605,0	630,0	+ 4,1
Arroz em casca	556,6	503,0	- 9,6
Milho	1.694,0	1.500,0	- 11,4
Feijao das aguas	128,3	115,0	- 10,4
Feijao da seca	130,7	135,0	+ 3,3
Amendoim das aguas	302,5	310,0	+ 2,5
Amendoim da seca	203,3	194,0	- 4,6
Batata das aguas	17,9	17,9	0,0
Batata da seca	12.8	12.6	- 1,6
Batata de inverno	7,5	5,7	- 24,0
Cana para industria	750,2	759,0	+ 1,2
Cana para forragem	72,6	60,0	- 17,4
Mandioca	94,4	100,6	+ 6,6
Fumo em corda	1,2	1,2	0,0
Mamona	54,7	56,5	+ 3,3
Soja	87,1	126,6	+ 45,4
Cebola	11,8	11,2	- 5,1
Tomate envarado	6,3	7,4	+ 17,5
Tomate rasteiro	18,1	14,5	- 19,9
Uva para mesa	8,0	8,6	+ 7,5
Uva para industria	2,5	2,6	+ 4,0
Laranja	213,0	251,0	+ 17,8
Banana	26.4	28,3	+ 7,2

(1) O levantamento dos dados foi feito no periodo de 2 a 20

Obs: As previsões e estimativas referentes as areas e produçõ algodão, arroz, milho, feijão e amendoim, foram obtidas recursos financeiros propiciados pelo Instituto Brasilei Unidade de Processamento de Dados da Faculdade de Cienci

do Estado de São Paulo
denadoria de Assistencia Técnica Integral
Argicolas do Estado de Sao Paulo
to, Junho de 1.972

Producao em 1000t		Variacao percentual da producão	Rendimento kg/ha	
Final 71	Final 72		Final 71	Final 72
606,0	510,0	- 15,8	873	735
668,0	660,0	- 1,2	1.104	1.048
348,0	660,0	+ 89,6	625	1.312
2.760,0	3.000,0	+ 8,7	1.629	2.000
54,0	51,0	- 5,6	420	443
84.0	72,0	- 14,3	642	533
400,0	470,0	+ 17,5	1.322	1.516
237,5	175,0	- 26,3	1.168	902
210,0	210,0	0,0	11.732	11.732
138,0	144,0	+ 4,3	10.781	11.429
90,0	66,0	- 26,7	12.000	11.579
36.000,0	42.300,0	+ 17,5	47.987	55.731
2.300,0	1.900,0	- 17,4	31.680	31.667
1.630,0	1.750,0	+ 7,4	17.267	17.396
0,6	0,6	0,0	500	500
52,5	66,0	+ 25,7	960	1.168
93,6	222,0	+137,2	1.075	1.754
54,0	66,0	+ 22,2	4.538	5.893
268,8	322,0	+ 19,8	42.667	43.514
210,0	166,0	- 20,9	11.602	11.448
71,2	109,6	+ 53,9	8.900	12.744
21,7	25,2	+ 16,1	8.680	9.692
1.840 -	2.428,0	+ 32,0	8.638	9.673
427,2	462,0	+ 8,1	16.182	16,325

do junho próximo passado.
es totais do Estado para culturas de café, cana
pelo sistema de "amostragem", sendo parts dos
ro do Café. Os cálculos foram realizados na
as Economicas da USP.

5 －② 農業地区別

Divisao Regional Agricola	Pessego		
	mesa		indus
	mil pés	mil caixas	mil pés
Araçatuba	-	-	-
Bauru	-	-	-
Campinas	20	200	13
São Paul(Gd.e Exterior)	330	4.200	133
Presidente Prudente	-	-	-
Ribeirão Preto	-	-	-
São José do Rio Preto ..	-	-	-
Sorocaba	95	1.000	6
Vale do Paraiba	55	200	2
Total	500(1)	5.600	154(2)

Divisão Regional Agricola	Manga		Mor
	mil pes	mil caixas	hectare
Araçatuba	-	-	-
Bauru	63	185	3
Campinas	110	430	59
São Paulo(Gd.e Exterior).	-	-	344
Presidente Prudente	21	120	-
Ribeirão Preto	260	820	-
Sao José do Rio Preto ...	105	82	-
Sorocaba	24	88	96
Vale do Paraiba	17	75	28
Total	600(5)	1.800	530

(1) inclue 60.000 pés novos
(2) inclue 15.000 pés novos
(3) inclue 39.000 pés novos

tria toneladas	Goiaba mesa mil pés	Goiaba mesa mil caixas	Goiaba indústria mil pés	Goiaba indústria toneladas
-	-	-	-	-
-	15	23	-	-
416	40	110	730	3.000
6.380	84	543	95	500
-	-	-	-	-
-	-	-	900	20.720
-	21	20	67	670
195	-	-	-	-
9	10	54	8	110
7.000	170(3)	750	1.800(4)	25.000

ango tonelada	Girassol hectare	Girassol tonelada	Chá hectare	Chá tonelada
-	1.162	1.400	-	-
42	224	330	-	-
1.168	-	-	-	-
5.809	-	-	3.900	18.200
-	244	300	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
1.391	20	20	400	1.100
260	-	-	-	-
8.670	1.650	2.050	4.300	19.300

(4) inclue 630.000 pés novos

(5) inclue 180.000 pés novos

Divisão Regional Agricola	Café		Al
	mil pés(1)	mil sc 60kg beneficiado	hectare
Araçatuba	34.700	400	95.300
Bauru	208.700	1.850	34.600
Campinas	53.460	630	81.500
São Paulo(Grande e Exterior).	8.460	80	-
Presidente Prudente	99.420	1.180	114.400
Ribeirão Preto	75.100	1.040	113.000
Sao José do Rio Preto	175.300	2.830	160.200
Sorocaba	43.900	470	31.000
Vale do Paraiba	960	20	-
Total	700.000	8.500	630.000

Divisão Regional Agricola	Feijao (2)		
	Das Águas		Da
	hectare	mil sc60kg	hecatre
Araçatuba	2.300	16	1.400
Bauru	21.400	145	26.800
Campinas	7.200	68	10.200
São Paulo(Grande e Exterior).	3.900	36	6.100
Presidente Prudente	12.800	100	12.000
Ribeirão Preto	10.200	82	9.000
São Jose do Rio Preto	8.400	48	7.800
Sorocaba	46.200	328	59.800
Vale do Paraiba	2.600	27	1.900
Total	115.000	850	135.000

(1) inclue 100.000.000 pés novos (sem produção)

(2) inclue culturas intercaladas.

Algodão	Arroz (2)		Milho (2)	
mil arrobas em caroço	hectare	mil sc 60kg em casca	hectare	mil sc 60kg
5.960	30.600	660	78.000	2.680
1.990	58.000	1.150	233.600	6.700
8.710	40.200	920	132.600	4.760
-	8.200	160	33.800	1.220
6.400	20.200	480	86.600	2.240
9.100	114.500	2.530	342.000	13.400
8.760	164.700	3.470	298.000	10.520
3.080	47.800	1.050	268.000	7.710
-	18.800	580	27.400	770
44.000	503.000	11.000	1.500.000	50.000

Amendoim				
Seca	Das Águas		Da Seca	
mil sc60kg	hectare	mil sc25kg em casca	hectare	mil sc25kg em casca
6	23.600	1.900	11.600	410
200	79.500	4.300	50.700	1.710
80	1.100	78	200	12
72	150	6	-	-
90	129.600	6.530	116.900	4.220
56	51.800	4.200	4.200	160
36	24.000	1.770	10.300	480
637	250	16	100	8
23	-	-	-	-
1.200	310.000	18.800	194.000	7.000

Divisão Regional Agricola	Das Águas		Ba Da
	hectare	mil sc60kg	hectare
Araçatuba	-	-	-
Bauru	150	25	800
Campinas	7.300	1.260	3.100
São Paulo(Grande e Exterior).	3.500	780	1.840
Presidénto Prudente	-	-	60
Ribeirão Preto	-	-	1.000
São José do Rio Preto	-	-	-
Sorocába	6.500	1.340	5.600
Vale do Paraiba	450	95	200
Total	17.900	3.500	12.600

Divisao Regional Agricola	Cana de Acucar		
	Industrial		Para forr
	hectare(2)	mil t	hectare(3)
Araçatuba	5.200	400	2.600
Bauru	134.600	7.300	9.600
Campinas	271.500	14.400	8.500
São Paulo(Grande e Exterior).	3.650	260	1.800
Presidente Prudente	350	20	6.100
Ribeirao Preto	260.000	15.100	10.900
São José do Rio Preto	25.600	2.000	7.500
Sorocaba	55.300	2.700	4.900
Vale do Paraiba	2.800	120	8.100
Total	759.000	42.300	60.000

(1) incluindo 30.000 hectares de mandioca para mesa com 450.000
(2) incluindo 126.000 hectares plantados no presente ano agrico
(3) incluino 5.000 hectares plantados no presente ano agricola.

t a t a				Mandioca (1)	
Seca		De Inverno			
mil	sc60kg	hectare	mil sc60kg	hectare	mil t
	-	-	-	2.800	50
	100	50	5	38.400	710
	370	1.700	250	18.500	350
	480	1.600	410	2.100	30
	10	-	-	7.000	110
	170	500	90	6.800	100
	-	-	-	15.500	250
	1.220	1.250	195	6.700	100
	50	600	150	2.800	50
	2.400	5.700	1.100	100.600	1.750

	M a m o n a		S o j a	
agem mil t	hectare	mil sc50kg	hectare	mil sc60kg
75	2.800	60	600	16
290	13.500	250	14.500	450
290	-	-	4.600	124
75	-	-	-	-
115	25.800	700	800	30
420	8.200	160	100.000	2.920
265	6.200	150	2.800	70
150	-	-	3.300	90
220	-	-	-	-
1.900	56.500	1.320	126.600	3.700

toneladas.
la.

Divisão Regional Agricola	Tomate envarado hectare	Tomate envarado mil cx	Tomate rasteiro hectare
Araçatuba	20	30	400
Bauru	200	340	40
Campinas	1.700	3.440	-
São Paulo(Grande e Exterior)..	1.000	1.500	-
Presidente Prudente	30	50	100
Ribeirão, Preto	560	840	10.960
São Jose do Rio Preto	-	-	3.000
Sorocaba	3.650	5.000	-
Vale do Paraiba	240	300	-
Total	7.400	11.500	14.500

Divisão Regional Agricola	Abacaxi mil pés	Abacaxi mil frutos	Aba mil pes
Araçatuba	2.100	1.000	-
Bauru	52.700	24.400	60
Campinas	2.200	1.300	350
São Paulo(Grande e Exterior)..	3.400	1.900	32
Presidente Prudente	6.300	4.400	14
Ribeirao Preto	15.400	5.700	350
São José do Rio Preto	16.200	6.700	50
Sorocaba	12.000	5.800	184
Vale do Paraiba	700	300	20
Total	111.000(1)	51.500	1.060(2)

(1) incluindo 38.600.000 pés novos
(2) incluindo 330.000 pés novos
(3) incluindo 3.900.000 touceiras novas
(4) incluindo 15.500.000 pés novos.

teiro mil t	Cebola hectare	Cebola mil arrobas	Melancia hectare	Melancia toneladas
5	10	6	100	900
2	170	39	2.950	71.200
-	3.400	1.150	130	1.300
-	770	170	80	1.000
3	10	5	260	3.400
120	1.250	650	-	-
36	-	-	30	200
-	5.500	2.350	600	4.800
-	90	30	50	500
166	11.200	4.400	4.200	83.300

cate mil caixas	Banana mil touceiras	Banana mil cachos	Laranja mil pes	Laranja mil caixas
-	280	180	550	850
140	1.340	930	1.250	1.770
860	860	700	16.550	21.200
90	35.460	22.450	400	780
70	350	200	100	160
1.085	770	490	22.300	25.700
80	550	450	7.350	8.000
310	2.030	1.900	1.350	1.740
65	760	700	350	500
2.700	42.400(3)	28.000	50.200(4)	60.700

Divisão Regional Agricola	Limão	
	mil pés(1)	mil caixas
Araçatuba	70	110
Bauru	210	225
Campinas	700	650
São Paulo(Gd.e Exterior)	430	1.040
Presidente Prudente	15	10
Ribeirao Preto	1.300	2.600
São José do Rio Preto	310	290
Sorocaba	300	500
Vale do Paraiba	65	75
Total	3.400	5.500

Divisão Regional Agricola	Uva	
	Para Mesa	
	mil pés(4)	mil cx 8kg mil
Araçatuba	30	10
Bauru	360	180
Campinas	7.410	2.700
São Paulo(Gd.e Exterior)	27.100	9.485
Presidente Prudente	350	118
Ribeirao Preto	-	-
São José do Rio Preto	20	7
Sorocaba	3.370	1.130
Vale do Paraiba	60	70
Total	38.700	13.700

Outras Culturas

Fumo: 1.200 hectares - 38.000 arrobas
Figo: 1.700.000 pés produzindo - 4.060.000 caixas p/mesa e

(注) 単位 mil pés 千本
caixas 箱
tonelada トン
hectare ヘクタール

Tangerina, Ponkan e Mexerica		Mamão	
mil pés(2)	mil caixas	mil pés(3)	mil duplos
110	140	-	-
1.060	2.050	100	50
1.650	1.990	10	8
900	1.500	5	4
70	100	12	9
970	1.220	713	480
220	250	3.100	1.720
600	780	150	150
220	310	10	9
5.800	8.340	4.100	2.430

Para Industria		Caqui		Trigo	
pés(5)	toneladas	mil pés(6)	mil caixas	hectare	toneladas
-	-	5	10	-	-
-	-	20	40	22.600	28.900
100	200	45	95	100	130
3.400	6.150	610	2.340	150	200
-	-	10	10	250	210
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
9.500	18.830	45	115	3.900	4.260
-	-	165	290	300	300
13.000	25.200	900	2.900	27.300	34.000

3.800 t p/industria.

(1) incluindo 1.600.000 pés novos
(2) incluindo 1.100.000 pés novos
(3) incluindo 1.370.000 pés novos
(4) incluindo 1.700.000 pés novos
(5) incluindo 100.000 pés novos
(6) incluindo 100.000 pés novos

5－⑤ 郡別（サンパウロ州）農作物生産統計

① ゴヤバ（食卓用），70/71，71/72

郡名	70／71			71／72		
	本数		生産量	本数		生産量
	生産中	未生産		生産中	未生産	
Valinhos	3,000	3,000	60,000箱	3,000	5,000	60,000箱
Charqueada	10,000		10,000	8,000		20,000
Sao Paulo	12,000		120,000	12,000		120,000
Guarulhos	3,000	1,000	45,000	8,000	1,000	120,000
Aruja	1,000	300	15,000	2,000	400	30,000
Moji das Cru.	23,000	1,300	103,500	24,300		109,350
Guararema	2,500		25,000	1,000		10,000
Santo Isabel	1,200	500	14,400	1,200	500	14,400
Jundai	3,000	500	15,000	3,000	500	15,000
Atihaia				10,000	15,000	100,000
Sananal	5,000	300	25,000			
Campinas				7,630	950	16,100
Piracioaba	10,000		10,000	10,000		10,000
Olimpia		10,000		10,000	10,000	20,000
Bananal	5,000	300	25,000	5,000	300	25,000
Queluz	2,000	1,000		2,000	1,000	20,000
合計	84,600	27,550	484,250	130,300	28,650	737,100

註 合計にはその他の郡も含む

② 高級ブドウ

郡名	70／71				71／72			
	本数1,000本		生産量	Caixa／本	本数1,000本		生産量	Caixa／本
	生産中	未生産	1000箱		生産中	未生産	1,000 Caixa	
Ourinhos	40	10	40	1.0	50	2	50	1.0
Indaiatuba	30	1	90	3.0				
Mairipora	40	20	200	5.0	40	20	200	5.0
Moji das Cruz.	32	10	48	1.5	65	5	97.5	1.5
Ferraz de Vas.	60	0.8	120	2.0	40	0.8	80	2.0
Suzano	50	35	75	1.5	50	15	75	1.5
Jundai	50		50	1.0	50		50	1.0
Itupeva	10		10	1.0	10		10	1.0
Atibaia	20		40	2.0	20		40	2.0
Bon Jesus.d.P.	20		40	2.0	20		40	2.0
Pilar do Sul	23	17	69	3.0	33	12	132	4.0
São Miguela.	46	10	56	1.4	60	0.5	180	3.0
Jacarei	19	1.5	36	1.9				
Campinas					44	15	128	2.9
Sorocaba	70		140	2.0	30	5	60	2.0
合計	578	158	1,888		799	264	1,655	

合計中には其の他の郡の分を含む。サンパウロ州，農務局資料

別紙 6　　コチアの地域別果実作付面積統計

LEVANTAMENTO

regional / especie	Norte de São Paulo		Sudoeste de S.Paulo	
	Area	Nº Planta	Area	Nº Planta
	ha		ha	
ABACATE	47,10	5.720	104,80	10.800
ABACAXI	19,00	35.000	20,50	335.000
AMEIXA	10,40	3.165	21,30	5.331
ANONA	0,50	130	-	-
BANANA MAÇÃ	-	-	-	-
CAQUIZEIRO	110,30	32.115	33,90	8.788
CASTANHA	-	-	0,64	100
CÔCO	-	-	-	-
FIGO	5,00	6.000	-	-
FIGO DA INDIA	0,40	400	-	-
FRAMBOEZA	1,56	5.000	1,13	6.700
GOIABA	26,00	8.395	2,30	700
LARANJA MURCOTT	72,49	25.730	71,47	23.580
LARANJA PERA	77,67	16.430	51,80	19.220
LARANJA PONKAN	247,27	102.255	206,58	68.200
LIMÃO	101,00	36.450	33,29	10.310
MACA	-	-	192,69	61.220
MAMÃO	-	-	-	-
MANGA	-	-	-	-
MARACÚJA	25,27	12.690	-	-
NECTARINA	8,27	2.130	1,50	300
NESPERA	68,54	13.894	11,45	1.948
NOG. PECÃ	5,70	450	14,00	1.229
PERA	5,32	1.630	52,88	11.335
PESSEGO	107,21	23.325	109,61	22.633
UVA COMUM	29,99	104.310	51,98	107.481
UVA ITÁLIA	94,96	76.803	161,04	133.579

F R U T I C O L A - 1972

Oeste de S.Paulo		Cint. Verde de S.P.		Rio de Janeiro	
Area	Nº Planta	Area	Nº Planta	Area	Nº Planta
ha		ha		ha	
35,20	4.400	1,60	130	8,60	1.300
51,40	1.025.500	-	-	11,00	14.000
-	-	1,73	400	-	-
290,80	59.745	-	-	-	-
0,48	300	-	-	-	-
7,70	1.670	1,60	700	21,48	7.540
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	2,21	400
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
11,00	3.150	1,00	330	83,00	18.820
39,12	7.980	8,10	2.800	19,70	6.880
74,55	15.210	-	-	28,99	10.120
192,98	39.370	-	-	7,37	2.720
30,85	6.170	1,50	500	19,18	6.070
-	-	0,80	220	-	-
0,90	1.000	-	-	-	-
40,60	5.071	-	-	1,59	240
22,40	11.200	-	-	0,50	400
-	-	-	-	0,28	50
-	-	5,73	1.195	-	-
796,70	79.670	-	-	-	-
27,37	5.553	-	-	1,74	224
3,61	737	11,93	3.067	2,16	550
107,75	53.810	-	-	-	-
40,46	20.229	0,80	420	1,73	915

regional / especie	Norte do Parana		Sul do Parana	
	Area	Nº Planta	Area	Nº Planta
	ha		ha	
ABACATE	28,70	3.110	-	-
ABACAXI	14,70	192.000	-	-
AMEIXA	-	-	46,57	15.612
ANONA	14,10	5.780	-	-
BANANA MAÇÃ	-	-	-	-
CAQUIZEIRO	4,10	690	0,50	100
CASTANHA	-	-	-	-
CÔCO	-	-	-	-
FIGO	-	-	-	-
FIGO DA INDIA	-	-	-	-
FRAMBOEZA	-	-	-	-
GOIABA	-	-	-	-
LARANJA MURCOTT	1,50	400	-	-
LARANJA PERA	0,50	150	22,00	8.800
LARANJA PONKAN	13,64	3.410	-	-
LIMÃO	1,10	305	-	-
MAÇÃ	-	-	22,47	11.500
MAMÃO	-	-	-	-
MANGA	-	-	-	-
MARACUJÁ	-	-	-	-
NECTARINA	-	-	15,36	5.225
NESPERA	3,40	540	-	-
NOG. PECÃ	92,60	5.544	33,53	3.380
PERA	-	-	16,20	2.700
PESSEGO	-	-	40,00	12.335
UVA COMUM	25,01	26.150	7,30	3.510
UVA ITÁLIA	169,66	130.399	2,50	920

L E V A N T A M E N T O F R U T I C O L A

1.972

ESPÉCIE: A B A C A T E

Depósitos (Norte de S.Paulo)	Nº de Planta	Total	Area(ha)	Total
Atibaia	100		0,80	
Braganca Paulista	1.810		12,50	
Campinas	450		3,70	
Guatapará	2.300		22,00	
Jacareí	50		0,20	
Jundiai	100		0,30	
Mori das Cruzes	760		6,40	
Pindamonhangaba	150	5.720	1,20	47,10
Depósitos (Sudoeste de S.P.				
Capão Bonito	2.160		20,50	
Itapetininga	2.790		25,80	
Itaporanga	4.400		44,00	
Sao Miguel Arcanjo	1.150		11,50	
Sorocaba	300	10.800	3,00	104,80
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Bastos	2.300		18,40	
Mirandópolis	1.700		13,60	
Tupã	400	4.400	3,20	35,20
Depósito (Cint.Verde de S.P.				
Urbano		130		1,60
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		1.300		8,60
Depósitos (Norte do Paraná)				
Assaí	690		6,90	
Carlópolis	2.300		20,60	
Joaquim Távora	120	3.110	1,20	28,70

X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.X.

ESPÉCIE: ABACAXI

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Guatapará	20.000		11,00	
Jacarei	15.000	35.000	8,00	19,00
Depósito (Sudoeste de S.P.				
Registro		335.000		20,50
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Mirandópolis	1.023.000		51,20	
Pres. Prudente	2.500	1.025.500	0,20	51,40
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		14.000		11,00
Depósito (Norte do Parana)				
Nova Esperança		192.000		14,70

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: AMEIXA

Depositos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	550		1,10	
Bragança Paulista	280		1,30	
Jundiaí	410		0,70	
Mogi das Cruzes	1.675		6,20	
Suzano	250	3.165	1,10	10,40
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Capão Bonito	2.400		10,50	
Guapiara	370		1,80	
Ibiuna	1.000		3,00	
Piedade	480		1,90	
Pilar do Sul	450		1,50	
Tapiraí	75		0,40	
Vargem Grande	556	5.331	2,20	21,30

Depósitos (Cint.Verde de S.P)				
Maua	300		1,08	
Urbano	100	400	0,65	1,73
Depósitos (Sul do Parana)				
Araucária	12.132		34,30	
Curitiba	2.560		7.32	
Ponta Grossa	920	15.612	4,95	46,57

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: ANONA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Campinas	30		0,10	
Mogi das Cruzes	100	130	0,40	0,50
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	2.400		11,80	
Alvares Machado	2.100		10,30	
Bastos	1.300		6,40	
Irapuru	1.100		5,40	
Lins	2.200		10,80	
Mirandópolis	42.810		209,80	
Pres. Bernanrdes	55		0,30	
Pres. Prudente	2.480		10,00	
Tupã	5.300	59.745	26,00	290,80
Depósitos (Norte do Parana)				
Assai	5.700		13,90	
Guaira	80	5.780	0,20	14,10

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: BANANA MAÇÃ

Depósito (Oeste de S.Paulo)				
Álvares Machado		300		0,48

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPECIE: C A Q U I

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Braganca Paulista	1.140		4,85	
Itatiba	930		4,05	
Jacarei	5.922		19,12	
Mogi das Cruzes	19.628		66,86	
Suzano	4.495	32.115	15,42	110,30
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Capão Bonito	200		0,50	
Caucaia	1.250		5,19	
Cotia	520		1,40	
Guapiara	500		2,00	
Ibiuna	3.173		11,88	
Piedade	1.000		4,33	
Pilar do Sul	905		4,23	
Sao Miguel Arcanjo	500		1,25	
Tapirai	150		0,54	
Vargem Grande	590	8.788	2,58	33,90
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	100		0,50	
Alvares Machado	1.050		5,15	
Bastos	40		0,20	
Mirandópolis	30		0,15	
Pres. Prudente	150		0,25	
Tupã	300	1.670	1,45	7,70
Depósito (Cint. Verde de S.P.)				
Urbano		700		1,60
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		7.540		21,48

Depósitos (Norte do Paraná)				
Bandeirantes	50		0,30	
Cruzeiro D'Oeste	400		2,60	
Guaira	200		1,00	
Londrina	40	690	0,20	4,10
Depósito (Sul do Paraná)				
Curitiba		100		0,50

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: CASTANHA

Depósito (Sudoeste de S.Paulo)				
Caucaia		100		0,64

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: COCO

Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		400		2,21

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: FIGO

Depósito (Norte de S.Paulo)				
Indaiatuba		6.000		5,00

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: FIGO DA INDIA

Depósito (Norte de S.Paulo)				
Campinas		400		0,40

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: FRAMBOEZA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Jacareí	4.000		1,36	
Suzano	1.000	5.000	0,20	1,56
Depósito (Sudoeste de S.P.)				
Ibiúna		6.700		1,13

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: GOIABA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	630		2,50	
Campinas	2.470		7,45	
Indaiatuba	40		0,10	
Itatiba	50		0,12	
Jacareí	1.795		5,75	
Mogi das Cruzes	3.410	8.395	10,08	26,00
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Piedade	300		1,10	
Registro	400	700	1,20	2,30
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Mirandópolis	3.000		10,50	
Pres. Prudente	150	3.150	0,50	11,00
Depósito (Cint.Verde de S.P.)				
Urbano		330		1,00
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		18.820		83,00

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

EESPÉCIE: LARANJA MURCOTT

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Campinas	400		0,80	
Guatapará	5.330		16,25	
Itatiba	3.270		15,70	
Jacareí	9.570		24,64	
Mogi das Cruzes	6.160		13,32	
Suzano	1.000	25.730	1,78	72,49
Depósitos (Sudoeste de S.Paulo)				
Ana Dias	200		1,21	
Capão Bonito	3.050		9,91	
Ibiúna	1.000		2,40	
Itapetininga	3.050		13,55	
Itaporanga	500		1,50	
Pilar do Sul	8.430		19,22	
Registro	50		0,13	
Sao Miguel Arcanjo	5.600		17,25	
Sorocaba	1.700	23.580	6,30	71,47
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	235		1,15	
Bastos	2.600		12,75	
Lins	3.600		17,64	
Mirandópolis	650		3,19	
Tupã	895	7.980	4,39	39,12
Depósito (Cint.Verde de S.P.)				
Urbano		2.800		8,10
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		6.880		19,70
Deposito (Nórte do Parana)				
Uraí		400		1,50

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE:	LARANJA		PERA	
Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Campinas	450		1,50	
Guatapará	15.400		75,00	
Itatiba	100		0.36	
Indaiatuba	100		0,36	
Jacareí (kinkan)	380	16.430	0,45	77,67
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Ana Dias	6.300		9,80	
Itapetininga	350		1,30	
Itaporanga	6.800		20,40	
Pilar do Sul	300		1,00	
Registro	5.000		18,00	
S. Miguel Arcanjo	200		0,50	
Sorocaba	200		0,60	
Vargem Grande	70	19.220	0,20	51,80
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	350		1,71	
Bastos	3.540		17,36	
Mirandopolis	8.020		39,31	
Tupa	3.300	15,210	16,17	74,55

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE:	LARANJA		PERA	
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro	9.395		26,39	
Rio de Janeiro (tangerina)	725	10.120	2,60	28,99
Depósito (Norte do Paraná)				
Joaquim Távora (Pera)	100		0,30	
" (Baiana)	50	150	0,20	0,50

Depósito (Sul do Paraná)				
Araucária (laranja com.)	1.600		4,00	
" (" mimosa)	400		1,00	
" (" delicia)	6.800	8.800	17,00	22,00

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: LARANJA PONKAN

Depositos (Norte de S.Paulo)				
Bragança Paulista	2.810		11,25	
Campinas	1.435		4,40	
Guatapará	5.200		15,50	
Indaiatuba	1.050		1,08	
Itatiba	5.650		24,45	
Jacareí	55.515		125,37	
Jundiaí	200		0,40	
Mogi das Cruzes	20.585		45,33	
Suzano	9.810	102.255	19,49	247,27
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Ana Dias	1.550		2,42	
Capao Bonito	1.150		3,25	
Guapiara	100		0,25	
Ibiúna	1.200		3,00	
Itapetininga	3.860		12,18	
Itaporanga	2.000		6,00	
Pilar do Sul	25.470		73,72	
Registro	300		0,75	
S. Miguel Arcanjo	19.47-		64,51	
Sorocaba	13.100	68.200	40,50	206,58
Depositos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	1.070		5,24	
Bastos	23.670		116,03	
Lins	1.700		8,33	
Mirandópolis	4.840		23,72	
Tupa	8.090	39.370	39,66	192,98

Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		2.720		7,37
Depósitos (Norte do Parana)				
Assaí	150		0,54	
Bandeirantes	300		0,96	
Cornélio Procópio	210		0,42	
Cruzeiro D'Oeste	300		1,08	
Guaíra	550		2,05	
Joaquim Távora	500		1,50	
Uraí	1.400	3.410	7,09	13,64

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPECIE: LIMÃO

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	2.100		3,24	
Bragança Paulista	780		3,00	
Campinas	3.890		10,60	
Guatapará	5.330		21,98	
Indaiatuba	860		3,57	
Itatiba	1.100		2,75	
Jacareí	3.690		8.48	
Mogi das Cruzes	13.050		32,15	
Pindamonhangaba	2.400		4,77	
Suzano	3.250	36.450	10,46	101,00
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Ana Dias	1.150		2,42	
Guapiara	500		2,45	
Ibiúna	1.150		3,09	
Itaporanga	300		0,90	
Itapetininga	50		0,30	
Pilar do Sul	1.550		4,04	
Registro	1.350		4,86	
S. Miguel Arcanjo	650		1,88	
Sorocaba	1.500		5,62	
Vargem Grande	2.110	10.310	7,73	33,29

<u>Depósitos (Oeste de S.Paulo)</u>				
Bastos	750		3,90	
Lins	50		0,25	
Mirandópolis	700		3,50	
Tupã	4.670	6.170	23,20	30,85
<u>Depósito (Cint.Verde de S.P.)</u>				
Urbano		500		1,50
<u>Depósitos (Rio de Janeiro)</u>				
Rio de Janeiro		6.070		19,18
<u>Depositos (Norte do Paraná)</u>				
Guaíra	100		0,30	
Cruzeiro D'Oeste	60		0,30	
Uraí	145	305	0,50	1,10

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: MAÇÃ

<u>Depósitos (Sudoeste de S.P.)</u>				
Caucaia	1.690		7,80	
Capão Bonito	950		5,37	
Cotia	350		1,27	
Guapiara	1.530		4,33	
Ibiúna	6.170		22,89	
Itapetininga	38.000		95,00	
Piedade	680		1,97	
Pilar do Sul	2.600		15,37	
S. Miguel Arcanjo	8.990		37,47	
Tapiraí	90		0,45	
Vargem Grande	170	61.220	0,77	192,69
<u>Depósito (Cint.Verde de S.P.)</u>				
Urbano		220		0,80

Depósitos (Sul do Paraná)				
Araucária	510		2,20	
Castro	4.800		9,70	
Curitiba	5.690		8,67	
Ponta Grossa	500	11.500	1,90	22,47

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: MAMÃO

Depósito (Oeste de S.Paulo)				
Lins		1.000		0,90

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: MANGA

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Alvares Machado	590		4,72	
Lins	350		2,80	
Mirandópolis	3.895		31,16	
Pres. Bernardes	86		0,72	
Pres. Prudente	150	5.071	1,20	40,60
Deposito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		240		1,59

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPECIE: MARACUJÁ

Depositos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	600		0,27	
Braganca Paulista	50		0,10	
Guatapará	8.290		19,50	
Indaiatuba	400		0,60	
Jacareí	700		0,82	
Pindamonhangaba	2.650	12.690	3,98	25,27

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	5.150		10,30	
Bastos	600		1,20	
Mirandópolis	3.400		6,80	
Pacaembu	2.000		4,00	
Pres. Prudente	50	11.200	0,10	22,40
Depósito Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		400		0,50

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: NECTARINA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	1.480		5,90	
Jundiai	650	2.190	2.37	8,27
Depósito (Sudoeste de S.P.)				
Piedade		300		1,50
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		50		0,28
Depósitos (Sul do Parana)				
Araucária	1.190		3,25	
Curitiba	4.035	5.225	12,11	15,36

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: NESPERA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	745		3,76	
Braganca Paulista	70		0,40	
Campinas	185		1,00	

Jacareí	505		2,60	
Mogi das Cruzes	10.233		48,89	
Suzano	2.156	13.894	11,89	68,54
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Caucaia	80		0,34	
Guapiara	200		0,86	
Ibiúna	330		1,82	
Itapetininga	378		3,53	
Piedade	300		1,47	
Pilar do Sul	110		0,51	
S.Miguel Arcanjo	230		1,47	
Vargem Grande	320	1.948	1,45	11,45
Depósito (Cint.Verde S.P.)				
Urbano		1.195		5,73
Depositos (Norte do PR.)				
Assaí	140		0,80	
Bandeirantes	50		0,20	
Guaíra	20		0,10	
Uraí	330	540	2,30	3,40

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: NOGUEIRA PECÃ

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Bragança Paulista	250		2,50	
Campinas	100		1,00	
Suzano	100	450	2,20	5,70
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Capão Bonito	850		10,66	
Ibiúna	55		0,80	
Pilar do Sul	70		1,00	
S. Miguel Arcanjo	200		1,00	
Vargem Grande	54	1.229	0,54	14,00

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Alvares Machado	2.590		25,90	
Mirandópolis	670		6,70	
Pacaembu	170		1,70	
Pres. Bernardes	20		0,20	
Pres. Prudente	76.220	79.670	762,20	796,70
Depósitos (Norte do Parana)				
Assaí	640		8,11	
Carlópolis	664		6,64	
Cruzeiro D'Oeste	250		3,00	
Diamante do Norte	790		7,76	
Joaquim Távora	300		2,92	
Uraí	2.900	5.544	64,17	92,60
Depositos (Sul do Parana)				
Castro	2.400		23,73	
Ponta Grossa	980	3.380	9,80	33,53

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: P E R A

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Braganca Paulista	1.400		4,30	
Itatiba	150		0,50	
Suzano	80	1.630	0,52	5,32
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Caucaia	930		3,90	
Guapiara	240		2,30	
Ibiúna	7.765		32,29	
Pilar do Sul	50		0,30	
São Miguel Arcanjo	1.510		10,85	
Vargem Grande	840	11.335	3,24	52,88

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Alvares Machado	2.550		12,60	
Bastos	20		0,10	
Pres. Bernardes	23		0,11	
Pres. Prudente	2.960	5.553	14,56	27,37
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		224		1,74
Depositos (Sul do Parana)				
Araucária	1.500		5,30	
Castro	1.050		9,90	
Curitiba	150	2.700	1,00	16,20

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x

ESPÉCIE: PESSEGO

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	6.636		29,69	
Brangaca Paulista	100		0,70	
Campinas	2.660		14,20	
Itatiba	450		2,30	
Jacareí	1.759		6,66	
Jundiaí	2.095		9,97	
Mogi das Cruzes	7.080		33,18	
Pindamonhangaba	1.225		4,43	
Suzano	1.320	23.325	6,08	107,21
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Çaucaia	1.270		4,93	
Capão Bonito	2.155		11,40	
Guapiara	8.920		44,89	
Ibiúna	170		0,94	
Itapetininga	300		1,92	
Piedade	2.880		12,91	
Tapiraí	1.435		8,00	
Vargem Grande	5.503	22.633	24,62	109,61

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Lins	610		3,08	
Pres. Bernardes	7		0,03	
Pres. Prudente	120	737	0,50	3,61
Depósito (Cint.Verde de S.P.)				
Urbano		3.067		11,93
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		550		2,16
Depósitos (Sul do Parana)				
Araucária	6.918		20,98	
Curitiba	4.140		13,66	
Ponta Grossa	1.277	12.335	5,36	40,00

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: UVA COMUM

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	8.600		5,66	
Bragança Paulista	1.550		1,70	
Campinas	12.400		2,50	
Indaiatuba	22.500		4,80	
Itatiba	6.000		1,20	
Jundiaí	52.800		13,30	
Mogi das Cruzes	100		0,12	
Suzano	360	104.310	0,71	29,99
Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Capao Bonito	930		1,12	
Ibiuna	4.073		2,75	
Itapetininga	11.665		5,94	
Pilar do Sul	1.100		1,32	
S. Miguel Arcanjo	2.930		3,91	
Sorocaba	12.030		10,09	
Vargem Grande	74.753	107.481	26,85	51,98

Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	110		0,25	
Alvarés Machado	1.800		3,60	
Irapuru	200		0,40	
Lins	4.600		9,20	
Mirandópolis	5.950		11,90	
Pres. Prudente	41.150	53.810	82,40	107,75
Depositos (Norte do Paraná)				
Arapongas	3.477		3,45	
Assaí	6,875		6,61	
Bandeirantes	4.725		2,03	
Cornelio Procópio	182		0,22	
Cruzeiro D'Oeste	100		0,16	
Guaíra	800		1,70	
Joaquim Távora	1.871		1,71	
Londrina	800		1,12	
Maringá	600		0,72	
Nova Esperança	6.180		6,33	
Uraí	900	26.150	0,96	25,01
Depósitos (Sul do Paraná)				
Araucária	3.010		5,90	
Curitiba	100		0,30	
Ponta Grossa	400	3.510	1,10	7,30

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

ESPÉCIE: UVA ITÁLIA

Depósitos (Norte de S.Paulo)				
Atibaia	3.580		3,60	
Braganca Paulista	3.600		7,70	
Campinas	2.925		4,00	
Guatapará	700		0,80	
Indaiatuba	300		0,50	
Itatibá	600		0,66	
Jacareí	20.150		19,21	
Jundiaí	9.850		11,97	
Mogi das Cruzes	6.780		13,14	
Suzano	28.318	76.803	33,38	94,96

Depósitos (Sudoeste de S.P.)				
Caucaia	2.150		3,05	
Capão Bonito	4.500		5,16	
Cotia	400		0,36	
Ibiúna	29.942		39,34	
Itapetininga	6.697		7,78	
Pilar do Sul	36.500		44,15	
São Miguel Arcanjo	47.910		56,36	
Sorocaba	2.970		2,89	
Vargem Grande	2.510	133.579	1,95	161,04
Depósito (Cing.Verde de S.P.)				
Urbano		420		0,80
Depósitos (Oeste de S.Paulo)				
Adamantina	1.990		3,98	
Alvares Machado	1.400		2,80	
Bastos	1.250		2,50	
Irapuru	6.030		12,06	
Lins	2.500		5,00	
Mirandópolis	1.809		3,62	
Pacaembu	300		0,60	
Pres. Prudente	3.350		6,70	
Tupã	1.600	20.229	3,20	40,46
Depósito (Rio de Janeiro)				
Rio de Janeiro		915		1,73
Depósitos (Norte do Paraná)				
Arapongas	5.965		7,45	
Assaí	35.355		47,39	
Assis Chateaubriand	6.800		10,96	
Bandeirantes	5.110		6,95	
Carlópolis	3.194		4,53	
Cornelio Procopio	1.020		1,14	
Cruzeiro D'Oeste	5.915		9,34	
Diamante do Norte	1.210		2,42	
Guaíra	3.580		5,68	

Joaquim Távora	1.750		2,11	
Londrina	16.330		23,29	
Maringá	15.400		12,84	
Nova Esperança	16.040		18,54	
Uraí	12.730	130.399	17,02	169,66
Depósitos (Sul do Parana)				
Curitiba	800		2,40	
Ponta Grossa	120	920	0,10	2,50

x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.

Deptº. Regional
- Assessoria -
abril/73

サンタクルース支部編

ボリビアにおける奥地移住地生産物（熱帯果樹等）のアルゼンチン向輸出の可能性と具体的輸出方法について

I 調査目的

ボリビア国サンファン移住地は海のない内陸国にあり，また隣国のブラジル・アルゼンチンの中心から２４数百キロはなれた距離に位置した奥地移住地としていまだ安定した営農形態をとっていない。

これは，ボリビア国内市場の狭小性に起因している点も少なくなく今後の生産目標のひとつに，輸出商品となりうるものについて開発生産していく必要がある。

このような観点からサンファン移住地で生産する果樹の輸出可能性について，過年当支部において，アルゼンチンを調査したが，今回は，果樹の具体的輸出方法，あっせん業者の開発，誘致，業者との直接取引方法等を，中心に前回調査を更に補完し，調査効果を具体的に移住地産業の振興に結びつける方向で調査交渉を行った。

II 調査者

サンタクルーズ支部（サンファン事業所・サンファン試験農場）

III 調査地

アルゼンチン国　ブエノスアイレス市

〃　　トウクマン市

〃　　エンバルカシオン市及び近郊（サンタローサ移住地）

IV 調査内容

(1) 一般概況

面　　積：2,795,693 キロメートル（日本の約8倍）

気　　候：ブエノスアイレス市一夏期平均28.6℃冬期平均8℃

人　　口：総人口 23,000,000 人（推定）

（ブエノス 700万，コルドバ 80万，トウクマン 40万，サルタ18万）

人口密度：82人（1平方キロメートル）

人口増加率：17.6 人（1,000 人につき）

人　　種：97％（ヨーロッパ系白人，主にスペイン，イタリー系）

3％（その他）

歴　　史：独立宣言 1816 年7月9日

政　　体：立憲共和制

宗　　教：カトリック（国民の 85％）

在留邦人：約20,000人（日系人含む）

(2) バ　ナ　ナ

ア．バナナ一般概況

バナナ生産の大部分は，現地で，アフリカ西部，インドネシア，コンゴ，インド，ブラジルで行はれており，それぞれ大生産地を形成しているが，生産と販売には，複雑な問題があり，特にどこの国でも輸出は必ずしもスムーズに行はれていないようである。

バナナの世界生産量をみると，全体の42％が中米，27％が南米，12％がアジア，7％がアフリカで，1972年における各地域別生産量は，下記表の通りである。

1972 年バナナの生産量　　単 位 1,000トン

地　　域	生　産　量
中　　米	7,013
南　　米	2,940
ア　ジ　ア	1,873
カリブ諸諸国	500
ア　フ　リ　カ	450
カナリア群島	400

また，世界の総輸入量は，年間630～640万トンで，バナナは，後進国諸地域から，先進国地域への供給が相当大きい傾向にある。

ヨーロッパにおいては比較的消費量が少なく，主要国の国民一人当り，消費量は西ドイツ及びフランスが，10キログラム，ベルギー，オランダ，ルクセンブルクが約8キロ，スェーデン，デンマークが8キロ弱，イタリーが6キロで，イギリスは，更に少ないと云われている。

しかし，全体の消費量は年々増加している。

EEC（欧州経済共同体）では，昨年バナナの総消費量は1,632,000 トンにも達し，アメリカは，1,900,000 トン，日本は，1,140,000 トンであった。

一般に国際市場に，受けが良いのは，「ナニカ種」で，ブラジル等はヨーロッパ向市場拡大の可能性があるとして，相当栽培熱が高まっている由である。

アメリカはカリブ諸諸国や，エクアドルにバナナを大企業化し，経済的にも，技術的にも，近代化された組織的栽培を作っており，バナナの品種基準についても，優良種を導入しており形，大きさ，色，味などを規格化している。このような規格化は，今日のバナナ国際市場において当然のこととして義務づけられているので，今後ボリビアからアルゼンチン向の輸出に当っても，当然注意を払はなければならない重要なポイントであろう。

イ．ブラジル産バナナのアルゼンチン向輸出の状況

ブラジルからのバナナ輸出は，主にアルゼンチン，ウルグァイ，に行はれているが，ブェノス・アイレスでは，ブラジル産バナナの約８０％を消化している。

しかし，１９７１年１０月に始まったアルゼンチンの経済危機により，アルゼンチン政府は，特に，ブラジル産品に対し，１５％の輸入課徴金制度を設定した。

この課徴金制度は，７２年２月に至り，中止されたが，ブラジルからのアルゼンチン向輸出はブラジル生産地における

① 栽培上の種々の問題

② 流通上の問題（特に，国際規格に適合する荷造梱包の欠陥から，海上輸送，港湾荷役に支障をきたしている。）

③ アルゼンチン国内の平価切下げ，ブラジル平価の切り上げ等により，採算性がうすくなった。

等の理由から非常に難しくなりつつある。

ウ．アルゼンチンにおけるバナナの状況とボリビアからの輸出の可能性について

アルゼンチン国内の生産地は，ミシオネス州，フォルモサ州，サルタ州であり，ほとんどが部分的な無霜地帯か，人工による撒水装置（スプリンクラー等）を施しているが，概してブラジル産より小さく生産費が割高となっている。

アルゼンチンでは，ブエノスアイレス市民に限らずバナナの外観，大きさにデリケートであり，なるべく大きいものを好むが，ボリビアで使用されている料理用バナナ（テンプラ用）は，全く生食する習慣がない。この点，輸出に際して重要な要素となっている。

サルタ州，エンバルカシオン近郊（ボリビアの国境近く）で，主に，バナナ栽培をしている堀本芳雄氏（北海道出身，敗戦移住者，住所：Casilla 8. Embarcación, PCia. Salta, Argentina）は，彼地がブエノスアイレスから，１６００kmに位置し，１年のうち約半年間にわたって雨が降らない土地であるにもかかわらず，数少ないアルゼンチンの無霜地帯（又は，霜の害の少ない地帯）のため，バナナ２５haを栽培し，成功をおさめている。

主に庭先き渡しの形式をとり，トラックでブエノスアイレス，トウクマン，サルタ，コルドバ市の各市場に出しているが，ブエノスアイレスの最大メルカード，アバストにも相当量定期的に出荷している。

この人からの聴き取り調査の内容は次の通りである。

① バナナのブエノス市場の嗜好は大きく，みかけが良く長ければ味は余り問題にしていない。但し，ボリビアの料理用バナナは習慣にないので，需要の見込はまったくないと思はれる。

② アルゼンチンには，いつでもブラジル産が８０％を占めている。

主に，リベイラ川流域（レジストロ，セッテバーラス，ジャクピランガ，エルドラード，パリクンーラアス，イグァッペ）のものが海路又は陸路ウルグアイアー）（国境地帯）経由で入っている様である。

⑤ サルタ州は一年中バナナは生産しているが，現在全州で約2,000ha程度の植付面積である。しかし，採算性，気候等の理由で年々減少の傾向にある。

特に毎年5月から10月まで雨が降らないので灌水して栽培しているが，天然の雨水の場合と違い，梨もあまり大きくならず好成績を収めている。

④ ボリビアから輸出するとすれば，11月から翌年の5月までがよく，特に12月から1月のクリスマスから正月にかけて最も値が良い。

その他の月は，フォルモーサ州，ミシオネス州のものが出回っているので価格が若干落ちる可能性がある。

⑤ エンバルカシオン近辺では畑売りで$Ley※ 0.45/kg しており，昨年に比べ歩は良い。（$Ley 10/$us 公定レート，1972年10月現在）

⑥ ボリビアからの輸出については，数量はどんなにあっても良い。果物販売取扱業者も数多く知っているので，紹介も可能。

⑦ 青果出荷物であるので，ボリビアからの鉄道輸送の確実性が輸出の最も重要な事項になろう。

⑧ 未だ青くて硬いうちに（サンファンで普通収穫している時期よりも1～2ケ月早め）畑で穫り，時間をおかず直ちに貨車積みし出荷する必要がある。

また同氏が同行し紹介してくれたタルタガル市（ボリビア国境から，130kmの位置）の果物業者 SR，Francico martimey（スペイン系移民，住所 Belgramo 570，TARTAGAL，PC1A，SALTA TEL 1748）によると，

① 過去にボリビアのサンファン移住地近くを視察した経験があるが，気候地質ともバナナ栽培には好適地であり，立派なものが出来ることを良く知っている。

② バナナはアルゼンチンでは値もよく，piña（パイン．アップル）より採算性がよいと思われる。

③ 輸送については麦ワラ又は，稲ワラを下に敷くと良い。

バナナの皮及び実は，植物検疫で許可にならない。

④ 貨車の手配を確実に行うのが，輸出に際して実要なポイントとなろう。

等の助言があった。

エンバルカシオンの近郊では，コロニアサンタローサがあり，ここでは移住地に施設された灌漑用水をもって灌水し，バナナを栽培している。ここは１０年程前から始まり，この他，オランダ及び，ＪｕＪｕＹ（フフイ）州のレデスマを中心に栽培している。主に品種は在来のキャベンディシュ種からコンゴ種，ロブスタ種に切り換えており，サンファン移住地のグアヤキル（Guayaquill）（ナニカ種）と比べ，丈も短く，三本仕立し，肥料を施し，管理も充分行き届いており，生産費は相当かかっているが，アルゼンチン国内における消費，市場性から採算は充分とれているとのことであった。

（生産者，SR ANTONIO PEREZ，住所 CASILLA DECORRREO 49，COLONIA SANTAROSA Pcia SALTA）

エ．サンファン移住地での輸出のための生産の可能性について，

当サンファン移住地で，バナナを本格的に輸出を目標に栽培した場合について検討を加えてみると

① 年間２０００mm の雨量，無霜地帯で地質等がバナナ栽培に適していること（この点130 km離れたオキナワ第１２.３移住地では年間雨量約８００mm なので問題がある）

② サンタクルースからブェノスアイレスまで直通した鉄道があり，輸送が可能なこと。

③ ボリビア，アルゼンチン両国でバナナの輸出入に関し，特恵待遇をし関税が少ないこと。

④ 鉄道沿線上にブエノスアイレス，コルドバ，トウクマン，サルタ等の大消費市場があること。（実際は国境から各都市の市場まで大型トラック輸送で行なっており経費が安く早い）

⑤ 市場にバナナ流入が少ない時期に（値が良い時期）サンファンでは最も良く出来ること等により，輸出については有利性が強いこと。

⑥ 国境（アルゼンチン，ボリビア）近くに，日系人がおり種々便宜，あっせんや情報が得られること。

⑦ 輸出用バナナ（ナニカ，又は，ナニコン種）の種苗は当地では入手しにくいが，コンゴ種（アルゼンチン・サンタクルス州で栽培しているものと同一）は近隣移住地で入手しやすくまた１４ケ月で，生産出荷可能なことから，半永年作物として，また換金作物として充分成立するものと考えられる。

(3) パインナップル

ボリビアでは，ピーニャ（PIÑA），アルゼンチンでは，アナナ（ANANA），ブラジルでは，アバカシ（ABACAXI）と呼称されている。

アルゼンチンでは，ほとんどがブラジルから輸入されており，種類はとげなし（無刺）のハワイ種（スムースカイエン）がほとんどで，型態は若干小さめ（細長）のものが市場に出回ってい

る。

アルゼンチンでは，パインナップルを年中食べる習慣があまりなく，普通クリスマスから正月にかけて食卓におき，"においのよいもの"を好む習慣のようである。

よって，ブラジル国内からも，この期間に集中的に市場に入っており，その他の月は，あまり売れ行きは芳しくないようである。

一般に市場状況は前回調査時と同様であるが，邦人の垣本益雄氏，田中普太氏（ウルキッサ移住地在住），アルゼンチン人の果物取引業者，（デイマルコ社長等）数人の話しを総合すると，

① アルゼンチン経済は，最近極めて悪くなり低下の一方をたどっているので，いままでの様なブラジルから一方的に入って来た状態は，対ドル，クルゼイロの関係からこれにブレーキがかかる傾向となろう。

② パインナップルは，一部フォルモーサ，ミシオネス州からのものが市場に出るが，クリスマス頃は絶対量が足りない。

③ １２月～1月のクリスマス，正月が最も需要のある時期であり，これに合せて出荷すれば，必らず高値取引が可能である。（クリスマス期間中が最も良い）

④ 種類としては，ハワイ種（スムースカイエン）がよいが，ボリビアからのものは在来種で，トゲがあり，あまり美味しくないといった評判であるので，是非優良品種を栽培し出荷する必要がある。

（トゲのある在来種であっても，缶詰工場も日系人経営のものがエンバルカシオンにもあるので拡さえさとまれば，いくらでも引受けられる。）

サンファン移住地は，数年前からブラジルよりハワイ種（スムースカイエン種）の苗51,000本を導入し，現在アルゼンチン向用に栽培しているが，この種は型態は大きく，美味で無刺種なことから評判は極めてよい。

（よって後述するとおり．１９７１年１２月のクリスマス用に1貨車分のテスト輸出をすることを計画した。輸出手続等については別項に設け報告する。）

(4) 柑 き つ 類

サンファン移住地自身は，柑きつ類の栽培に好適地であり，特に，ポンカン，バンペィユー，グレープフルーツ類は多量に生産出来る可能性はある。

しかし，アルゼンチン北部地方（サルタ等）も果樹の９０%以上が柑きつ類であり，しかも優良なものがやはり多く出来る。またアルゼンチン自身が現在全般的に柑きつの生産過剰の状態にあるため，生産者はその販売に苦労しているようである。

グレープフルーツ等は，未成熟なものを加工工場で人工着色し市場に出している様な状態であ

るので熱帯期に，ボリビアから輸出する可能性もなきにしもあらずの感であるが，今回，ポシート（POSITO 国境の町）の税関で調査したところ，ボリビアからは以前グレープフルーツに病気のものが入り，以後柑きつ類のアルゼンチンへの輸入は困難となった様である。

その他，柑きつはブラジルから一部入っているが，やはり景気の後退により輸入禁止措置がとられている。

ポシートの税関での調査によると，柑きつ類は全て，税関に申請を要する品目に入っていた。

ポンカンについては，前回での調査同様，全くアルゼンチンの市場になく，またみかん類（MANDARIN）も4月，5月には市場にまったくなくなるので，今後ボリビアからの輸出についても興味のあるものであるが

① 価格の変動がありすぎること。

② 柑きつ類は，ボリビア側の方が一般に品質が悪く，種類も少く，価格も高い

等の理由で，サンファン移住地からのアルゼンチン向輸出の可能性は，ここ当分，ほとんど見込みがないと思われる。

(5) その他の生産物（果物・野菜等）

ア．イグサ製品（Junco 製品）

マルデ・プラタ市最大の海浜用具店 VENDARAL S・C・A（AV:JACINTO PeraLTa Ramos 866, mardel plata, Pcia. Bs. As. TEL 3-0570）にあたったところ，今の所ブラジルからの輸入は全くないので室外海浜用具としてうける可能性があるが，量的にまとまる必要があることと，生産コストを下げる必要があるとの事であった。

業者は興味を示しているので，一夏テストして結果を見てから，引合に出してみたら良いと思はれる。アルゼンチン北方部のサルタ市トウクマン市方面でも夏期間の暑い時期にエステーラ（敷物）としてうける可能性もある。

（見本を各所において様子を見ることにし，各所ガソリンスタンド，売店等に展示することとした。）

関係業者からは，その後「染めないもので，コストをなるべく安くする必要がある」とのコメントがあった。

イ．ピ ー マ ン

アルゼンチンでは，バナナ同様ピーマンを年間通して肉と共に食べる習慣があり，これなしでは生活出来ないと云う人々まで相当ある程である。

しかし年間8月，9月，10月は降霜のため，需要がありながら全く市場になくなる時期がある。

この時期にボリビアのサンファン移住地等の無霜地帯で生産し，輸出すれば充分採算がとれる見込みがある。

1箱（18kg入）で最低Sus6.66から場合によっては，最高値Sus12.50までの可能性もある。

種は米国加州産がアルゼンチンで市販されているのことから量的にも入手可能である。

関係筋者の話しによると，かってアルゼンチンでピーマンが市場に全くなくなりこのためにわざわざパラグァイから緊急航空輸入し採算のとれた経緯もある由であるので，当サンファン移住地でもテスト栽培し，輸出してみる必要があると思はれる。（後述するが，本件は後日本格的栽培が可能となり，約50haという当サンファン移住地で初めての野菜の大規模的栽培が行はれた）

(6) 具体的輸出方法

アルゼンチンにおいて現地調査後，パインナップル及びバナナを後日各々テスト輸出したのでその経緯を例示し，今後の本格的輸出の参考に供したい。

ア．パインナップル（47年12月7日サンタクルス積込）

テスト輸出経緯：サンファン農協の組合員，長谷春男氏が中心となって組合員の栽培したパインナップルを集荷し，相合に代って47年12月7日試験輸出した。

以下はその時の当該青果の輸出状況である。

(a) 出荷内容

当サンファン移住地には，1971年度に導入したスムースカイエン種の苗11,000本と1972年度に導入した約40,000本，合計51,000本に近いパインが植付けられている。

今回は，1971年に導入した分を対象に集荷し輸出した。

出荷者は大半ピーニヤグループ（パインナップル生産グループ）の者で産物は，比較的小玉であり，平均果重3kgであった。

o 輸出青果内訳

① スムースカイエン種（無刺種）	大玉	779個×Sb4＝Sb3,116	（庭先渡価）
	小玉	1,241個×Sb3＝Sb3,723	（〃）
② 在来種（有刺種）		322個×Sb1＝Sb 322	（〃）
③ シンガポール種（無刺種）		287個×Sb2＝Sb 574	（〃）
	計	2,629個(364箱)Sb7,735	

出荷された青果は，それまでボリビア国内市場価格が低いことと，消費力が僅少であることから生産者も興味を示さず，半ば放置された状況であったため青果が不揃いで，日焼け等も多く，商品としての見栄えを落し，箱詰め作業にも必要以上に，時間を要した。

(b) 輸 出 手 続

今回の輸出は亜国エンバルカシオンに居住する垣本氏の力添えにより，アルゼンチン商人との契約による輸出で，輸出手続き貨車の手配，その他は生産者代表の長谷グループが主になり代理実施した。

貨車は一般に１車貸切り契約で，１週間前に契約金（Ｓｂ１００以上）を付し予約する必要があり，契約日の２日前に確認する必要がある。

アルゼンチン向にボリビアが有する貨車の数が，限定されており，時期的に板材，バナナ，パインの輸出時期でその競争予約率の高さは予想外である。

通関代理人が，バックアップしてくれるが，継続的に貨車の使用契約をしないと，安定した貨車の確保は困難と思はれる。

今回は３６４箱を輸出した訳であるが，貨車１車には，少なくとも７４０箱位は収容出来るので，この単位の輸出でないと経費高となろう。

青果，中でもパイン及びバナナは輸出先である亜国の輸入税が，減額されており，自由品目に入っている。

輸出手続は，積込みに先立ち１週間前に輸出商業，領収証又は，請求書（Factura Comercial）をもって開始され領事査証，検疫証明，輸出税支払い等，最低サンタクルースに２日間程の滞在，手続きを要する。（実務は通関代理業者が代行）

(c) 経 費 実 績

① 輸出証明（poliza de exportacion）Ｓｂ２５２－（輸出見積額，Ｓｕｓ４２０（Ｓｕｓ０.８４／箱×５００箱）の３％及び手数料）

② 領事査証料（輸出額の１５％及び見積書１葉につきＳｂ１１２）	Ｓｂ ４０８.５０
③ 輸 出 税（輸出額Ｓｕｓ ４２０の１５％）	Ｓｂ１,２６０.－
④ 通関代理事務所，手数料（Ｓｂ１／Ｓｂ１,０００）及び証明書代	Ｓｂ ５０.－
⑤ 税 関 書 類	Ｓｂ ８０.－
⑥ 税関保証料	Ｓｂ ５０.－
⑦ 通関代理事務所手数料（事務料）（１貨車につき）	Ｓｂ ２００.－
⑧ 通関代理税金 １０％	Ｓｂ ２０.－
⑨ 書 類 代	Ｓｂ ４０.－
⑩ Guias Y conocimiento （案内説明費）	Ｓｂ ６０.－

⑪ 車賃及び人夫賃　　Sb　35.30

⑫ 統　計　費　　Sb　1.20

⑬ 貨 車 運 賃　　Sb 1,620.—

⑭ 駅に於ける保管在費　　Sb　200.—

① ～ ⑭　　合 計　Sb 4,279

※上記経費は，yacuiba 渡し価格の経費であり，サンタクルース通関代理人事務所に於いて処理されたものである。

また，今回の輸出は委託販売方式でSalta渡し価格で販売したため yacuiba－Salta 間の運賃も生産者負担としたが，以下は上記以外の経費である。

⑮ 積込みまでの運賃，サンファンーサンタクルス　　Sb　650—

（トラック　1車　Sb　450）

（小型トラック　1車　Sb　200）

⑯ 箱詰手数料　　Sb　455.—

（5～6名　2日半）

⑰ 集 荷 運 賃　　Sb　500.—

※3日間貸切り（$b200／日）

今回は産物が散在していたため集荷に時間を要した。

⑱ 貨車積人夫賃（1貨車）　　$b　80.—

⑲ トラック，ヤクイバーサルタ運賃　　Sb 5,184.—

（$Ley 2,880×1.8Sb／1$Ley ＝ Sb5,184）

⑳ 販 売 手 数 料（売上高　$Ley 11,850の10%）　　Sb 2,133.—

（売上金$Ley11,850の10%，$ley 1,185×Sb1.8＝Sb 2,133）

㉑ 箱の材料，製作経費　　Sb 5,030.—

（材料　約　3,500pic　0.80　Sb 2,800.—

釘代　1箱　50kg　Sb　630.—

大工賃，2人，　10日　Sb　80（機械代含）Sb 1,600.—）

㉒ 接待費，他　　Sb 1,531.—

（出張2回，滞在費　Sb 1,090.—　旅費日当

宿泊，食事　Sb　171—

宿泊，食事　Sb　270—　）

㉓ Wagon（貨車）の予約費　　Sb　100.—

㉔ 生産者代表，出張旅費　　Sb 1,270.—

（於，サンタクルス市手続のため　2泊　3日　Sb　140－

於，サルタ販売のため　9泊10日＝　Sb　560.－

旅費　往　100.－（汽車）　復　311.－（飛行機）

ビザ　Sus 10＝Sb200

Soluvencia　Sb　109.－

国境通過税　Sb　10－

空港タクシー他　Sb　40.－

⑮ ～ ㉔　合計　Sb　16,943.－

経費合計　Sb　21,222.

(d) 試験輸出収支実積

上記にある通り，今回の輸出が試験的であったこと及び，時間的に切迫していたこと，又亜国からの商人等の接待，販売実情等調査確認の都合もあり，生産者代表が出張したりして多分に浪費分もあった。

又，輸出量が，貨車及び大型トラックの積載量を大巾に下廻り，経費高となっている。

① パインのサルタに於ける販売実積

○ 合計　364箱（2,629個）｛大6ケ入　184箱×$ Ley50＝$ Ley 5,520.－
小6～8ケ入180箱×$ Ley35＝$ Ley 6,300.－

$ Ley　11,820

○ $ Ley　11,820×1.80Sb／1$ Ley＝Sb　21,276.－

② パイン買取り費　Sb　7,735.－

③ 輸出総経費　Sb21,222.－

④ 差引損益　①－（②＋③）　Sb・7,681－

△差引損失　Sb　7,681－

(e) 所　　見

上記の通り，輸出量の不適量と間接経費があったため，大巾な資金投資（赤字）となったが適正量を輸出したと仮定した場合，大体下記の計算となり，採算も充分あり，又サルタの市場で感じた事は，ボリビアから輸入されるパイン（Piña）は，味と質が悪く値段は格安であると一般的に印象づけられているがスムースカイエン種を組合名で売り込み然るべき人気を得れば，年間（11月～1月項まで）通して，$ Ley35（Sus 3.50）内外で販売出来るものと予想される。

(f) モデル輸出例　1貨車　740箱詰込（8ケ入，約6,000ケ）輸出の場合の試算

① 販　　売　740箱×　35$Ley ＝ $Ley 25,900

≒ Sb46,620　Sb46,620.−

② 経　　費

㋑ 輸出税（15%+3.5%）×（Sus 084×740）≒Sus 115≒Sb2,300

㋺ 運　賃　サンタクルス〜サンファン　Sb1,000.−

サンタクルス〜ヤクィーバ　Sb1,800.−

ヤクィーバ　〜サルタ　Sb5,200.−

積　込　料　Sb　100.−

集荷運賃　Sb　600−

小　計　Sb8,700.−

㋩ 箱代　Sb10×740　Sb7,400.−

㋥ 通関及び領事証料　Sb1,400.−

㋭ 箱詰経費　Sb　600.−

㋬ 販売手数料　Sb4,700.−

㋣ 販売手数料組合5%　Sb2,300.−

合　計　Sb27,400.−

③ 差引損益

①（Sb46,620）−②（Sb27,400）＝Sb19,220

Sb19,220÷6,000ケ≒Sb3.40／1ケ（3.5kg以上）

ただし，垣本氏（Enbaroacion 在住）を亜国側商人の保証人とした場合3%近くの手数料（代金の受領，ボリビア向発送その他の連絡費として）を支払う必要があろう。この場合は

（販売収入）　（諸経費）　（保証料）　（実益）

Sb46,620−（Sb27,400＋Sb　1,400）＝Sb17,820

Sb17,820÷6,000ケ≒Sb3　（実際収益）

上記の通り，産先き渡し価格約 Sb3／1ケの値段で販売可能と思はれる。

（サンタクルース市内では，Sb0.50〜Sb1.00が通常価格）

イ．バナナ（1973年4月16日，サンタクルース積込）

手続き，その他についてパインナップルもバナナも大同小異であるので，バナナについては，出荷内容及び，経費，収支実績のみ記する。

(a) 生　産　数　500箱（約500房のバナナ）

(b) 生産者からの買取価格

※ 1房 ⓐSb1100（畑渡し価格，積込料は生産者負担）で

買取価格（ⓐSb1100×500房）＋積込料（ⓐSb0.50×500箱）

＝Sb5.45000

※当地ではバナナ1本の樹木からなる果実全部を"1房"と呼んでいるので，それに倣じて記している。また，1 ha から約2,000房（2,000箱）が生産可能であり，苗植付けから，14ケ月で収穫可能である。（1箱（1房）は約28 kg が平均）

(c) 収 支 実 積

① 収　　入

（販売価格Sb0.90／kg×28 kg／箱＝Sb25.20／箱）

ⓐ Sb25.20×500箱＝Sb12,600.00

② 支　　出

㋑ 箱代負担額 ⓐSb300※×500箱＝Sb1,50000

※ バナナ輸送用箱は，1個作製価格ⓐSb1.00するが，今回輸出した相手方商人は当該箱を1ケ当りSb8.00で買上げるので，差額（ⓐSb1.00－ⓐSb8.00＝Sb3.00）Sb300のみが生産者負担となる。

㋺	連絡電報2回分（ⓐSb85×2回）	Sb 170.00
㋩	貨車予約料	Sb 100.00
㋥	通関代理業者手数料	Sb 200.00
㋭	輸出税，通関手数料	Sb1,607.00
㋬	輸送賃（SANTCRUZ － YACUIBA）	Sb1,722.00
㋣	トラック輸送料（SANJUAN － SANTACRUZ）	Sb1,500.00
	支出計	Sb6,799.00

③ 差 引 損 益

①（Sb12,600）－②（Sb6,799）＝Sb 5,801.00

1箱当り収益ⓐ Sb 11.60

※参考： サンタクルース価格Sb 8.00（庭先き渡）

(d) 所　　見

当地では，この種のバナナは全く需要がないが，時折，サンタクルースの業者が買取っている。この価格は，1房 ⓐ Sb 8.00 程度であるが，常的には全く見込みがないので，輸出用バナナを本格的に，合理的に大量に輸出すれば充分採算性もあり，「うま味」もあるはずである。

肝要なことはことは，量的にまとまり，定期的に輸出することである。

（アルゼンチンでは現在もバナナ価格は好値を続けている由であり，サンファン渡し，Sb 15.00／房も充分近い将来予想も出来る。）

ウ．輸出手続方法

パインナップル及びバナナの輸出手続，手順は全く変りないので以下の順序，手続に従う。

(a) 貨 車 手 配

毎週木曜日と，土曜日のAM 9:30 発の貨客混合列車，（ブエノスアイレス向国際列車）があるので，1週間前にサンタクルース駅にて，Sb 100.00 以上の予約金をそえ申し込む。

発送48時間前に，確認する必要がある。

(b) 輸出手続書類作成

貨車の予約後，直ちに必要書類作成にとりかかる。

輸出入に関しては，法律上の書類等複雑な要素があるので，通関代理業者（Despachante Aduanero）を通じて，行うことに法令で決っている。

（輸出商品価格が，SbLS 50.00 を超えるものは，全て通関代理業者を通じなくてはならないことになっている。）

必要書類は，下記の通りである。

① Factura（商業見積書又は送状）荷主発行 16枚作成

②※ POLIZA（輸出証券）※ Poliza de Exportacion 3枚作成

③※ A.L.A.L.C.（原産地証明）商工会議所発行 12枚

※Asociacion Latinoamericana de Libre Comevcio

④※ Conocimiento de Carga（船荷証券に代るもの） 8枚

⑤※ Certificado de Sanidad（植物検疫証明） 3枚

⑥※ Recibo de Deposito（輸出納税証明）中央銀行発行 3枚

※ (2) ～ (6)は通関代理業者が全て準備，代行し当局に提出してくれるので，荷主は ① のみ用意すればよい。

⑦ そ の 他

アルゼンチンの輸入業務取扱の免許保持者を，②Poliza 等に記入する必要があるので，その場合は次のとおり記載すること

「SRA,ANA MARIA K,DE GUANTAY,ESTACION POSITO(ARGENTINA)」

(c) 積 込 発 送

列車出発24時間前から積込許可になるので，これに合して収穫梱包し，積込む必要がある。

梱包については木枠を用い，パインナップルについては，名札（大きいもので，生産者名を名

記のこと）を貼付する必要がある。

駅までのトラック輸送については，パイン及びバナナの破損を極力さける様配慮することが肝要。（ちょっとした接触，打撲も青果の品質を落し，特にバナナについては黒変し，商品価値がなくなるので，特に注意を要する。）

エ．決 済 方 法

銀行ルートを通じての送金等は，公定レート，換算や手数料控除の関係から収益が削減されるので，$LEY（アルゼンチンペソ）を直接受領し，サンタクルース市内で，Sb（ボリビアペソ）に両替するのが得策である。

その他，もっと良い方法を，今後更に研究する必要があろう。

V 調査所見（結論）

今回の調査を通じて感じたことは，今までボリビア奥地移住地での生産物は，ボリビアの国内市場が狭少なため，「作っても売れない」感じであったが，今後の調査で，「輸出を対象にして立派なものを作れば，必ず売り先きはあり，採算のとれる事業が出来る」との感を強くした。

又，ボリビア自身がアルゼンチンで一段下に見られ，ボリビアから来るものは，

①安いが品物が悪い。

②数がまとまらない。

③輸送状態がでたらめだ。

と云った印象を与えていることは，今後移住地から日本人が，輸出する場合に最も配意しなければならない点と思われる。

輸出するからには，世界最高のものを作り送ると云う考え方に徹し，輸出条件は国内販売よりずっと厳しく，それだけに良品生産技術の要求度が高いことを，生産者は強く認識する必要があろう。

また，たまたまアルゼンチンが，ブラジルとの対ドル決済関係から最近に至って，ボリビアの生産地からの引合が出て来たということであって，この事業を進めるについては，取引きは長続きしないであろうし，また相当の危険を伴なうものと思われる。

あくまでも国際市場における「輸出商品」として，他の競争国と対抗出来るものにしなくてはならない。

今回の調査により，アルゼンチン北部で最大の果物の取扱業者である Di Marco Hnos 会社社長（本社ツクマン市：LIBERTAD 547 SAN MIGUEL DE TUCUMAN TEL 18971，ほとんど外部に出張したことがない人で，サンファン移住地を訪れたことは異例の由），バナナ栽培，販売に経験深い邦人の垣本芝雄氏等の果実販売業者や仲介，あっせん者が数回にわたって，当サンファン移住地を視察し，バナナ，パインナップル栽培の適地として折紙を

つけてくれ，週１０便（１０貨車）以上のバナナ等を，引受けを確約（すでにDIMARCO社との間で週１０貨車以上の引受を確約した契約が成立した。）してくれたことは，コロニア１７年の農産物の輸出史上においても，初めてのことであり，コロニアの将来に明かるいきざしを見せてくれた。

従来輸出用バナナ（ナニカ種）は，ボリビア人に嗜好がなく，そのため需要が全くなかったため，畑にて腐るままに放置していた。当数バナナ導入，栽培の先駆者的存在であった長谷寿雄氏らは，（サンファン移住地 km5在住）今回の「輸出可能」調査結果に刺激され，約 500 ha の輸出用バナナ植付を決意し，更に又 端境期（９月～１０月）のブエノス市場を狙って，ピーマン50haを，本格的に植付けたことは，今まで野菜の大量栽培が考えられなかったことを，現実化した点で本当に大きな収穫であった。

本調査を通じて感じたことは，いかに当サンファン移住地の入植者が"井の中の蛙"的存在で蟄居しており，アルゼンチン，ブラジルにいる同胞が，いかに大陸的で大々的に，企業的な営農にアタックしているかの相違をまざまざとみせつけられた。

一時も早く，コロニアの人々にも外部の邦人の働らきぶりを自分の眼で視察し，早く先輩邦人移住者の後を追いでもらいたいとつくづく思う。

バナナ，及びパインナップル等は，半永年作であり，柑橘類に比べて比較的短期間で収益があり，輸出に当っては既述の通り，合理的，かつ適切な輸出方法をとれば採算性も充分あるが，現在ボリビアには，青果輸出に対し，１５％の輸出税を課税しているので，この点「綿花」などと同様，同税の撤廃又は，削減措置をとるよう，生産者はボ国政府に働きかける必要があろう。

アルゼンチン側の近い将来の景気回復に従い，必ずしもこれが永久的に採算のとれる事業にはなるとは限らないと思はれる。

この事業は，ここ数年の勝負であるので，この間に得た収益を牧畜業等のための投下資金にしていくのが将来のコロニア造りに，また理想的な営農安定に最も大切であろうと確信する。

最後に，本調査が調査の段階から具体的な輸出事業に結びつきはじめたことに対して，自費により数回にわたって，アルゼンチンから，わざわざサンファン移住地に足を運び，バナナ，パインナップルの振興に絶大なる援助を頂いた，アルゼンチン在住の堀本益雄氏に感謝の意を捧げたい。

以　上

ブエノスアイレス支部編

1. アルゼンチンに於けるイチゴ市場調査について

2. ガルアッペ移住地，ブドウ栽培に係るサンファン地方のブドウ栽培及び市場について

3. アルゼンチンに於ける大豆市場調査について

1　アルゼンチンに於けるイチゴ市場調査について

I　調　査　目　的

イチゴは栽培管理に緻密な作業を伴うものであるが，収益率が高く在来の粗放栽培に比較して十分将来性があるものと考えられており，近年ガルアッペ・アンデス両移住地をはじめ，近郊移住地において従来の作物に代る有利な作目として急速に普及されている。よって，本調査は，イチゴの主要栽培地であるSanta Fe州にて，その栽培状況を調査し，栽培品種の選定，栽培に係る各種の技術的な問題を検討し，併せて今後の移住地栽培の見通し，及び普及化を図るため，実施したものである。

II　調　査　者

ブエノス・アイレス支部

III　調　査　期　間

昭和48年3月5日～8日

IV　調　査　地

アルゼンチン・サンタ・フエ州

V　調　査　内　容

(1) 供給地生産状況

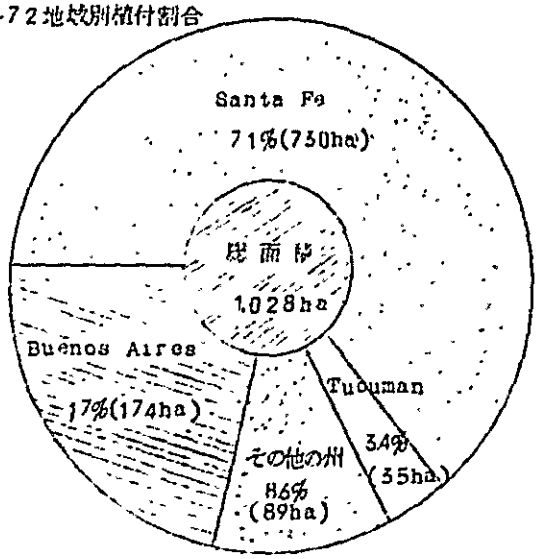
図第1表～第4表で示す如く，アルゼンチンにおける栽培の主力はサンタ・フエ州であり，全植付面積の71%以上に相当する。これは静岡県の栽培面積とほぼ同じ位の面積である。しかし

第1表　アルゼンチンにおけるイチゴの植付面積

地域 / 年度	Buenos Aires	Entre Rio	Santa Fe	Tucuman	その他	Total
1962/63	290	20	420	3	17	750
63/64	320	17	510	3	20	870
64/65	300	20	600	2	28	950
65/66	210	20	630	5	35	900
66/67	170	20	580	5	25	800
67/68	129	−	526	3	51	709
68/69	135	−	554	7	54	750
69/70	130	−	450	9	61	650
70/71	152	−	610	12	96	870
71/72	174	−	730	35	89	1,028

ながら栽培方法は，全べて露地栽培であり，栽培単位が3～4 ha 以上と，多面積で粗放的栽培である。しかしながら，当地はイチゴ栽培に適した砂質埴土と良好な気象条件にあり，流通機構も地域の農協を主体に確立されているので栽培者も積極的に取組んでいる。

第2表　1971～72地域別植付割合



第3表　生　産　高　(ton)

地区 / 年度	Buenos Aires	Entre Rio	Santa Fe	Tucuman	その他	Total
1967/68	100	–	571	5	147	823
68/69	300	–	1,360	8	182	1,850
69/70	230	–	981	18	201	1,430
70/71	396	–	1,450	36	218	2,100
71/72	120	–	2,100	140	110	2,470

第4表　ha 当りの生産量　(kg)

地区 / 年度	Buenos Aires	Entre Rio	Santa Fe	Tucuman	その他	Total
1967/68	1,099	–	1,604	1,667	3,040	1,646
68/69	2,373	–	2,500	2,667	3,430	2,524
69/70	1,917	–	2,336	2,000	3,566	2,334
70/71	2,605	–	2,544	3,000	2,511	2,545
71/72	811	–	3,000	4,000	1,962	2,541

この地域における栽培状況は次の通りである。

ア 栽培品種

① Florida 90　甘味酸味共によく，主として加工用として普及されている。

② Fresno　適度な甘味で生食，加工用として普及している。

③ Tioga　〃

④ Fighera　甘味酸味共によく主として生食用に普及されている。

イ 栽培方法

植付

無病健全苗を使用している。苗の導入は1月にツクマン（tucu man），コルドバ（cordoba）方面から入れ。価格は9～12　である。植付時期は2月下旬から3月上旬にかけ定植をする。栽植距離は畝幅65cm～70cm，株間は20cm～25cm　でha当りの植付本数は多少の差はあるが30,000本が標準とされている。

施肥

基肥としてマイスの茎を鋤き込んだり馬フンや肥料14-14-14（商品名Petrosar）をha当り60Kg施用した後に定植を始める。

一般管理

生育中の管理のうち，イチゴ栽培に最も必要な作業は灌水であるが，当地では動力による灌水，運搬水による灌水を適宜行っているものの，十分とは云えない。除草については，除草剤を使用している。

病害虫については病害を中心に薬剤散布を行っているが，特にイチゴについては生食用主体の作物であるため，パラチオンなど有機燐剤や浸透性薬剤などの使用は禁止されている。追肥については作柄を見て適宜散布するが，この間数回馬耕による中耕が行われている。

収穫

2月下旬～3月上旬に植付けられたイチゴは9月下旬から収穫が始まり，以降大体3ヶ月間収穫が可能である。

収穫には家族労働による方法が最も有利であるが，人夫使用は請負制1Kg当り0.55P或は日当3200P（1972年度）プラス食事付の二通りがある。

収穫されたイチゴは大粒，小粒に大別され，農協規格の木箱により出荷される。農家から出荷されるイチゴの値段は昨年例では350P～400/Kg当りで農協に集荷された。

なお，参考までにSanta Fe州と日系移住地との気象比較を第5表に示す。

第5表　Santa Fe 州各地と日系移住地との気象比較表

地域	気象	1	2	3	4	5	6
ガルアッペ移住地	気温	23.5℃	22.9	23.1	18.3	16.0	13.0
	雨量	84.0mm	158.9	226.0	26.0	159.0	178.0
アンデス移住地	気温	24.1	22.5	19.6	13.9	9.9	7.3
	雨量	39.0	19.0	37.0	21.0	21.0	24.0
カシルダ Casilda	気温	23.6	22.5	20.4	15.0	13.2	10.2
	雨量	140.0	108.0	122.0	88.0	44.0	42.0
ラファエラ lafaela	気温	24.2	23.6	21.5	16.5	14.3	11.0
	雨量	161.0	106.2	126.0	83.0	44.0	24.0
ロザリオ Rosario	気温	24.1	22.7	21.0	15.5	13.1	10.0
	雨量	166.0	100.0	125.0	96.0	58.0	38.0

地域	気象	7	8	9	10	11	12	年間
ガルアッペ移住地	気温	12.0	13.2	15.7	19.8	20.3	24.0	17.6
	雨量	66.0	42.0	26.0	27.3	104.0	318.0	1,898
アンデス移住地	気温	7.6	9.6	12.5	15.9	19.9	22.2	15.4
	雨量	9.0	10.0	10.0	57.0	54.0	28.0	32.9
カシルダ casilda	気温	10.1	11.0	13.2	16.3	19.6	21.3	16.4
	雨量	34.0	27.0	29.0	138.0	120.0	68.0	96.0
ラファエラ lafaela	気温	11.0	12.4	14.4	17.6	20.9	22.9	17.6
	雨量	24.0	28.0	27.0	90.0	108.0	99.0	91.7
ロザリオ Rosario	気温	10.0	11.4	13.7	16.9	20.0	22.1	16.7
	雨量	38.0	37.0	32.0	119.0	134.0	67.0	1,016

ウ 出荷方法

農家から出荷されたイチゴは，一旦農協に集荷され，大別された大粒種を生食用として，また小粒種（クズもの）で比較的商品価値の低いものについては農協直営の加工々場でジャムに加工，ビン詰にされ，市場に出荷される。

生食用の箱詰には小型のボックス 10段重ね（一段一段取りはづしができる）2組を梱包或は5K～6K入りのボール箱で出荷される。主な出荷先はロザリオ・サンタ・フエ，ブエノス・アイレス，マルデルプラタ市場が中心となっているが，最近ウルキッサ，アンデス両移住地

から出荷される良質イチゴに押されているため，長距離（400Km）輸送による不利は楽観視できないようである。

(2) 邦人のイチゴ栽培と出荷状況

近年，ウルキッサ，アンデス両移住地においてイチゴの栽培が一段，脚光をあび普及（面積20ha）してきているが，これの集荷等，取りまとめには亜拓イチゴ部があたっている。現在亜拓関係のイチゴ組合として加入されている組合員数は47名である。

昭和47年3月～12月までに亜拓の取扱ったイチゴは総数40,005箱，売上額703,633.50P，平均売値17.60Pとなっており，因に10月～12月の3ケ月間における市況をあげると第6表の通りである。イチゴに価格巾があるのは生産者の出荷時期が不統一であるため市場において実だ内容を見た上で取引されているのが原因とされている。また主産地コロンダ，エルベシア地方からの大量入荷も影響が大きいとされている。

第6表　10月～12月ブエノス市場における市況〔P／箱（2Kg）〕

規格		10月	11月	12月	備考
第一週	エキストラ	20～26	27～33	—	
	エスペシャル	18～23	22～28	—	
	ブエノ	10	12～27	—	
第二週	エキストラ	19～24	18～24	17～23	
	エスペシャル	18～20	18～22	14～20	
	ブエノ	10～17	10～17	9～17	
第三週	エキストラ	18～23	20～24	20～23	
	エスペシャル	12～22	15～21	16～20	
	ブエノ	8～17	10～18	13～19	
第四週	エキストラ	17～31	18～24	29～30	
	エスペシャル	15～27	12～22	20～27	
	ブエノ	12～22	10～20	16～20	
	平均値	21	19	24	

VI 考　　察

イチゴ栽培の一般通念はイチゴ苗自身デリケートな作物であるため，①品質の選定　②土壌　③灌水を重点にキメ細かい作業が必要とされている。生産地においては大規模で省力，粗放的な栽培法であるため，ビニール栽培による良質なイチゴの栽培は不可能であり，出荷時期の調整も自から限定されてくる。

しかしながら，イチゴは，比較的，小面積で生産性の高い作物であり，また前述3点を充分考慮し，ビニール，ポリマルチ等先進技術を取り入れれば，出荷調整も充分可能であることから，現在不安定なプエノス近郊花卉栽培や価格変動の激しい蔬菜栽培の転換作目として今後漸次普及を計る必要がある。

なお，着果・果形の均一化を図るため春蜂と組合せることも効果が大きいとされている。

以　　上

2　ガルアッペ移住地ブドウ栽培に係る サンファン地方のブドウ栽培及び市場調査について

I 調 査 目 的

ガルアッペ移住地振興対策の一環として同移住地において市場性に富む有望な作目の導入を計るべくその作目の一つとして生食用ブドウ栽培の可能性とその市場性の検討を行うため，亜国生食用ブドウの主産地であるサンファン州のブドウ栽培状況ならびに市場の調査を実施したものである。

II 調 査 者

ブエノス・アイレス支部

III 調 査 地

アルゼンチン国　サンファン市　メンドサ市

IV 調 査 内 容

1 栽 培 面 積

第1表　亜国州別ブドウ作付統計（1971年ブドウ局発表）

州　名	ブドウ園数	百分率	作付面積	百分率
Mendoza	29,190	53.06	213,544 ha	71.26
San Juan	12,714	23.11	56,677	18.91
Rio negro	3,531	6.42	16,581	5.53
Neuquen	239	0.44	588	0.20
Buenos Aires	327	0.59	1,387	0.46
Catamarca	2,579	4.69	3,163	1.06
Cordoba	969	1.76	1,816	0.61
Entre Rio	109	0.20	45	0.02
Jujuy	62	0.11	463	0.15
La.Rioja	4,921	8.94	4,570	1.53
Salta	121	0.22	90	0.03
Sanluis	68	0.12	270	0.09
Santa Fe	47	0.09	197	0.07
Santiago del Estero	27	0.05	68	0.02
Tucman	36	0.06	67	0.02
La pampa	4	0.01	4	−
Misiones	73	0.13	134	0.04
計	55,017	100.00	299,664	100.00

第2表　サンファン州における主な栽培品種と作付面積

品種名	作付面積	品種名	作付面積	品種名	作付面積
	ha		ha		ha
Coroza Y moscatel	15000	Torrotetes	3,000	molvek	840
moscatel Branco	11,000	Criolla Grande	9,000	Rofasco	600
Pedro Gimenoz	4,000	Barbeoa Y Bonoras	3,100	Rofoscsdel piavo	810

計47,350ha

2. 生産状況と市場

(1) 概　　況

サンファン州のブドウ栽培状況は第2表にみられるとおり，1ブドウ園当り，平均面積は4.46haであり，メンドサ州の1ブドウ園当り，平均面積7.32haに比較して園の規模が小さく，小農の存在が多いことがうかがわれる。

同州で生産されるブドウの生産，消費状況は第1表にみられるとおり，メンドサ州に次ぐ亜国第2位の生産量を有し，その生産量7,191,306百キロのうち，86.6%に当る6,228,762百キロが醸造用として消費され，残り，12.3%に当る881,627百キロが生食用ブドウに向けられていて，生産量からみる限り，生食用ブドウの占める地位は必らずしも高いものとは云い難いが，全国に占める生食ブドウの比率からすると全国消費量925,524百キロの96.8%と，サンファン産生食ブドウの移存率は極めて高い。

(2) 栽 培 方 法

同州のブドウはすべて棚仕立であってメンドサ州の栽培様式と若干趣を異にする。メンドサ州においては棚仕立，垣仕立ありでその栽培間隔は3.0m×3.0m あるいは3.0m×2.5m 間隔で1ha 当り1,000本～1,200本を栽植しているが，サンファン州においては2.0m×2.0m あるいは1.8m×1.8mの間隔で1ha当り，2,500本～3,000本とかなり，密植されている。

加えてサンファン州の棚の高さは1.8m×2.0m であり，メンドサ州の2.0m 以上に対しかなり低く栽植間隔ならびに棚の高さの制限のため，トラクターはもとより，馬耕は困難で，ハンドトラクターやロバによって中耕を行っている。

この様にメンドサ市から僅か200Km を隔てたのみで，栽培様式に大きな開きを見せている事は，乾燥が激しく，気温が高いことから矮性に，しかも密植し，主幹の伸長を押えて乾燥に耐え得る様配慮したものと考える。

このことをサンファンINTA（国立農業技術研究所）においては慣習と説明していたが，サンファン州でも有数の栽培地帯において数10年の栽培歴史を有しつつなお旧来の栽培法から脱却していないことは「如何に旱害に耐え得るか」と云った点に焦点を絞った栽培法をとってい

るものと察した。

即ちメンドサ州においては，Rio mendoza，Rio tunuyan，Rio Diamante，Rio Atuel等かなりの流水量をもつ水系を有するのに対し，サンファン州においてはRio Sanjuan，Jachal，Rio Bermejoの水系を有するも流水量が少く，渇水の危険にさらされている。1972年におけるRio San Jan の流量は50m³/sec しかなく，灌漑用水の取水が困難となり，各農家は半分のブドウ園の灌漑を中断したため，相当の被害が生じた。しかし，1973年においては300m³/sec の流量があり，今年は水が豊富すぎるとのことである。（サンファンINTA談）

施肥は山羊の厩肥を1本当り，5～10Kg施用し，一部に若干の化学肥料を施用しているが，特に見るべきものは少ない。

薬剤散布については有機硫黄合剤の散布がなされているが，年2～3回程度でこれも最近になって普及して来たものである。

収穫量は概ねha当り，10,000Kg～20,000Kgで豊凶は灌漑用水量による影響が大きく，霜害，雹の被害は極めて少なく，この点メンドサ州に比較して恵まれている。

(5) 収　穫　期

第2表に見られる如くサンファンは標高が低いため初霜は概ね5月中旬，晩霜は8月下旬であるが，メンドサの初霜は，4月中旬，晩霜は10月中旬である。また，サンファンは降霜期間が短く，従って，他の地方より新梢の出芽が早く，よって1～2月の早出しが可能となっている。

なお収穫期の最も早いものは1966年頃北米カルフォルニヤ州から導入されたPreco Cardinarという品種があり，クリスマスまでに出荷されているが，1972年における農家の販売価格は概ね370～420ペソ／Kg とかなり有利に取引きされている。

但しこの品種は花の流れが多く，実止りの悪い点を有し，また生産量は極く僅かでサンファンINTAの調査でも作付面積は不明である（INTA談），その他の品種は1月中旬から3月上旬にかけて出荷され，1973年の調査時現在（1月16日）の農家販売価格は1Kg 当り概ね200～250ペソで取引きされている。

この価格は，1973年度Giol（メンドサ政府出資の醸造会社）の買入価格がメンドサ産で190～230ペソであることからすると，栽培立地条件からみて，必ずしも有利と云い難いが当地方における商習慣から生食用ブドウは現金取引きであるのに対し，醸造用ブドウは10ケ月の月割決済の手形取引きである点からすると有利である。

第2表　気　象　統　計

観測地		緯度	経度	標高	1月	2	3	4	5
San Juan	平均気温	31°37′	68°32′	630′	25.6	24.3	21.4	16.5	11.8
	雨量				22.6	16.5	12.2	4.2	1.4
Mendoga	平均気温	32°53′	68°52′	769m	23.5	22.3	19.6	14.9	10.7
	雨量				26.5	28.0	24.2	11.3	10.6
ガルアッペ事業所	平均気温	26°50′	54°50′	275m	24.1	25.2	22.4	17.7	15.9
	雨量				61.4	162.2	205.1	87.2	52.8

観測地		6	7	8	9	10	11	12	平均合計
San Juan	平均気温	8.5	8.4	10.9	14.7	18.5	21.8	24.4	17.2
	雨量	2.2	4.3	2.2	4.0	6.0	7.6	9.5	92.7mm
Mendoga	平均気温	7.4	8.6	9.7	13.1	16.6	20.0	22.4	15.6
	雨量	7.4	6.8	8.1	14.7	20.3	15.7	23.2	196.8
ガルアッペ事業所	平均気温	15.6	16.5	18.5	18.6	20.5	24.0	25.4	20.4
	雨量	82.2	154.6	100.9	176.1	230.2	84.4	122.8	1499.9

（注）① San Juan,Mendoga の数値は国家気象統計50年間平均観測値による。

② ガルアッペ事業所の数値は同事業所観測1967～1968 の数値による。

(4) 販売機構ならびに包装

第3表　亜国ブドウの州別生産及び消費内訳　（1971年ブドウ調査）

州名	ブドウ酒醸造用	生食用	乾ブドウ用	輸出向	その他加工用	総生産量
mendoza	19,285,018	14,581	5,495	19,255	991	19,325,340
San Juan	6,228,762	881,627	80193	724	–	7,191,306
mendoza, SauJuan小計	25,513,780	896,208	85,688	19,979	991	26,516,646
Rio Negro	1,173,668	4,368	–	–	–	1,178,036
Neuquen	81,374	130	–	–	–	81,504
RioNegro, Neuquen小計	1,255,042	4,498	–	–	–	1,259,504
Buenso Aires	70,162	–	–	–	–	70,162
Catamarca	246,711	7,156	2,553	–	137	256,557
Cordoba	223,574	2,154	–	–	–	225,528
Entre Rio	–	–	–	–	–	–
Jujuy	1,812	–	–	–	–	1,812
LaRioja	409,545	15,465	1,608	–	–	426,618
Salta	91,256	34	–	–	–	91,290
San Luis	4,161	–	–	–	–	4,161
Santa Fe	2,997	–	–	–	–	2,997
Sgo del Estero	785	–	1,608	–	–	2,394
Tucuman	–	9	–	–	–	9
La Pampa	–	–	–	–	–	–
Misiones	–	–	–	–	–	–
その他の地域　小計	1,050,803	24,818	5,770	–	137	1,081,528
全国計	27,819,625	925,524	91,458	19,979	1,128	28,857,714

生食ブドウに関する限り，生産販売組合は皆無であり，すべて商人との直接取引によっている。

この生食用ブドウの販売は商人が農家より直接買入れし，選果，箱詰めを行なっている。販売先は，ブエノス・アイレス，マルデプラタ，コルドバ方面であり，すべてトラック輸送によっている。

包装は概ね20k 木箱に，2段積みに詰め，品種名を付している簡素な包装である。また木箱は回収され，破損するまで使用されている。

加工用のブドウは一部醸造組合あるいはSan Juan 州政府出資の醸造会社Bodega de Estadu CAVIC へ販売されているが，大部分は近在の醸造会社と直接取引を行っている。

CAVICはメンドサ州のGiol と同様の性格を有し，ブドウの直接買上げと同時にブドウ酒の委託加工を行って生産者販売価格の維持を計っている。

V 考　　察

前述したごとく，サンファン州は栽培条件が必ずしもよくないし，また栽培技術においても，むしろメンドサ州の方が優れている面もあり，生食用ブドウ生産地として，特に見るべきものは少ない。ただメリットと言えば降霜期間が短かく，これによって早出しが可能であるということだけであろう。

しかしながら，サンファン州のブドウ生産は亜国第2位の地位を占め，生食用ブドウでは第1位を占め，その出荷先はブエノス・アイレス，マル・デ・プラタ等大都市に集中している。

よって，ガルアッペ移住地に，生食用ブドウを新規に導入する場合は，次の4項目を考慮しつつ，優良品を大規模に生産し，「ガルアッペーブドウ」としての銘柄作りをしないかぎり，市場での太刀打ちはできないであろう。

1. 栽培品種の選定

気温・雨量，土性によって栽培の可否が決定されるが，すでに栽培の事例があり，従来の品種及び栽培の経験を参考にしてより優秀な品種の選定を行う。

2. 栽培上の問題点

気温・雨量共にメンドサ地方と比べ，不利な条件下にあり，病害虫の多発は十分考えられるので，防除面で相当の配慮が必要である。

3. 出　　荷

栽培面積が少いと奥地農業としてのマイナス面である，出荷・輸送上に難点が伴うので，グループ栽培，共同出荷トラック輸送などの体制を整える必要がある。

4. 市 場 動 向

1月～2月にかけて主産地メンドサ，サンファン方面から大量に出荷されるので，この地区の出荷前後，端境期をねらう事が最も有利と考えられるが，これには栽培上の技術で調整しなければならず，問題点は大きい。

3　アルゼンチンに於ける大豆の市場調査について

I 調 査 目 的

大豆はアルゼンチン政府農政省の奨励作物として，近年その栽培普及が目覚ましく，特にSanta Fe 州，Misiones 州，Tucuman 州において急激な伸びをみている。Misiones州ガルアッペー，移住地における営農再建の手段として，大々的な大豆栽培の可能性，並びに生産物の販売等につき，国内生産第1位にあるSanta Fe 州内栽培地において，調査を実施したものである。

II 調 査 者

ブエノスアイレス支部

III 調 査 期 間

昭和48年3月5日～3月8日

IV 調 査 地

Santa Fe 州　Casilda　San Lorenzo Rafaela

V 調 査 内 容

1　アルゼンチンに於ける大豆栽培の概要

アルゼンチンに於ける大豆栽培は，古く1800年代より，小面積ではあるが，行われていた記録があるが，1927 年に，Dr Thomas Le Bretonにより大豆の種子が輸入されて以来，当国での栽培が固定されたものである。

亜国農産物統計によると，1960年頃迄は，栽培面積生産量において大きな変化は見られなかったが，1961/62 年度に至り，急激な増産が始まり，更に1970年を境に飛躍的な増産が続けられている。

1971/72 年度における栽培面積は79,800ha に達し，1961/62 年度の10,260ha に比し，約7.6 倍の増加となっている。1972/73 年度植付の実態は判らぬが既ね 50,000ha に達するものと予想される。

栽培地域については，別表1に示す如く，Santa Fe 州，Misiones州，Tucuman州，Corrientes 州が主要栽培地であり，特にSanta Fe州，Misiones州，Corrientes州においては，国家，及び州の奨励作目として，その栽培研究に努力しているため，急激な伸びをみている。

Santa Fe州 においては，州の主要生産物である小麦との輪作栽培により，相当な収量増大が期待されること，大豆の価格は，他の豆類雑穀に比し，安定しているため，収益率が高いこと，又，販売面でも確実であること，(即ち，生産地附近にサイロが集積し，大小の製油工場が存在するので，生産地と加工場が直結していること）等の理由により，Santa Fe 州における大豆栽培は今

後とも一層の発展を続けて行くものと考える。

Misiones 州においても，油糧を原料とする製油工場が6社あり，内2社は大豆搾油を行っている関係上，今後も栽培面積は拡大されるものと予想され，ガルアペー移住地内における大豆栽培については，大いに奨励すべきであると考える。但し，品種，栽培法等については，Santa Fe 州とは立地的気象的にも極めて差異が大きいため，其れが選択に留意する必要がある。

第2次大戦迄は，大豆はアジア，北米にて慣行的な栽培がなされていたに過ぎなかったが，今日においては，世界的にその高カロリー，高栄養価が認識され，今後ますます需要は増加の一途をたどるものであり，世界人口の増加に対処するに不可欠な作目として，世界各国にてその増産に努力している現状である。又，栽培面においても，それが容易であるとゝもに，根粒菌と共存することにより窒素肥料を余り必要とせず，葉や葉柄の落下により，土　中の有機質を富ませ，又，根より，分泌する物質により，土壌バクテリアが増殖，土質の改良に役立つ等，有利な面が多い。

2. アルゼンチン，大豆栽培実績

A） 年度別，州別植付面積（ヘクタール）　　（表 1）

年度	合計	B.AIRES	CORDOBA	CORRIENTES	CHACO	E.RIOS	FORMOSA	MENDOZA	MISIONES	SALTA	SANLUIS	SANTA FE	SANTIAGO DEL ESTERO	TUCUMAN
1961/62	10,260	23	3,420	12	-	-	-	-	985	8	57	3,950	255	1,500
1962/63	21,110	4,000	815	-	-	900	-	-	1,100	-	-	12,895	-	1,400
1963/64	13,700	6,050	750	-	-	20	-	20	1,280	-	-	4,440	-	1,140
1964/65	17,560	2,300	-	45	-	402	-	25	8,132	109	-	4,235	-	2,512
1965/66	16,575	1,500	-	-	-	230	-	30	8,545	40	-	4,000	-	2,230
1966/67	18,470	1,850	-	-	-	1,410	265	32	9,360	155	-	3,050	-	2,350
1967/68	22,800	1,320	-	600	390	-	180	35	10,820	340	-	2,300	-	6,815
1968/69	30,800	1,440	-	-	130	-	290	30	13,200	180	-	2,980	-	12,550
1969/70	30,470	1,270	-	600	150	-	195	35	13,300	370	-	8,800	-	5,750
1970/71	37,700	1,400	-	1,570	360	-	-	-	16,100	370	-	10,500	-	7,400
1971/72	29,800	1,580	800	5,200	1,000	-	150	-	25,200	370	-	37,000	-	8,500

（亜国穀物協会の資料による）

B） 年度別，州別Ha当り収量（Kg）　　（表 2）

年度	合計	B.AIRES	CORDOBA	CORRIENTES	CHACO	E.RIOS	FORMOSA	MENDOZA	MISIONES	SALTA	SANLUIS	SANTA FE	SANTIAGO DEL ESTERO	TUCUMAN
1961/62	1,163	954	1,208	857	-	-	-	-	1,000	322	1,082	1,066	790	1,497
1962/63	972	1,200	1,292	-	-	371	-	-	955	-	-	878	-	1,500
1963/64	1,146	1,259	1,200	-	-	667	-	1,500	864	-	-	982	-	1,505
1964/65	1,035	983	-	-	-	649	-	1,400	1,160	852	-	809	-	1,079
1965/66	1,147	1,220	-	-	-	611	-	1,333	1,173	750	-	1,056	-	1,204
1966/67	1,188	1,264	-	-	-	462	1,207	1,562	1,194	806	-	1,251	-	1,277
1967/68	1,089	1,180	-	1,061	487	-	944	1,562	865	597	-	1,109	-	1,399
1968/69	1,124	1,250	-	-	692	-	1,172	-	899	1,500	-	1,068	-	1,315
1969/70	1,032	1,260	-	1,105	733	-	842	-	943	1,351	-	1,152	-	1,033
1970/71	1,624	1,151	-	1,400	764	-	-	-	1,815	1,149	-	1,700	-	1,290
1971/72	1,143	1,278	667	875	612	-	800	-	1,325	1,034	-	1,145	-	709

（亜国穀物協会の資料による）

c） 年度別，州別収穫　（トン）　　（表　3）

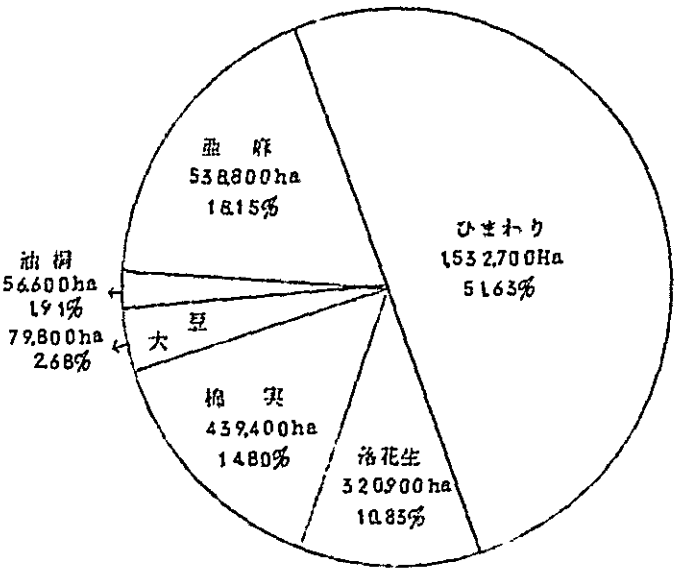
年　度	合計	B.AIRES	CORDOBA	CORRIENTES	CHACO	E.RIOS	FORMOSA
1961/62	11,220	62	3,800	6	-	-	-
1962/63	18,920	4,620	1,053	-	-	167	-
1963/64	14,000	7,400	900	-	-	10	-
1964/65	17,000	2,170	-	-	-	240	-
1965/66	18,000	1,750	-	-	-	110	-
1966/67	20,500	2,300	-	-	-	380	320
1967/68	22,000	1,540	-	520	190	-	170
1968/69	31,800	1,800	-	-	90	-	340
1969/70	26,800	1,600	-	630	110	-	160
1970/71	59,000	1,600	-	2,100	275	-	-
1971/72	28,000	2,020	20	2,240	600	-	120

年　度	MENDOZA	MISIONES	SALTA	SANLUIS	SANTA FE	SANTIAGO DEL ESTERO	TUCUMAN
1961/62	-	957	1	53	3,990	181	2,170
1962/63	-	981	-	-	10,409	-	1,690
1963/64	30	700	-	-	3,740	-	1,220
1964/65	35	9,300	75	-	2,970	-	2,210
1965/66	40	9,900	30	-	3,770	-	2,400
1966/67	50	11,100	50	-	3,600	-	2,700
1967/68	50	7,400	80	-	2,550	-	9,500
1968/69	-	9,800	270	-	3,000	-	16,500
1969/70	-	11,900	500	-	7,200	-	4,700
1970/71	-	28,700	425	-	17,000	-	8,900
1971/72	-	27,900	300	-	40,300	-	4,500

（亜国穀物協会の資料による）

3. アルゼンチン油料作物栽培面積に対する大豆の占める割合

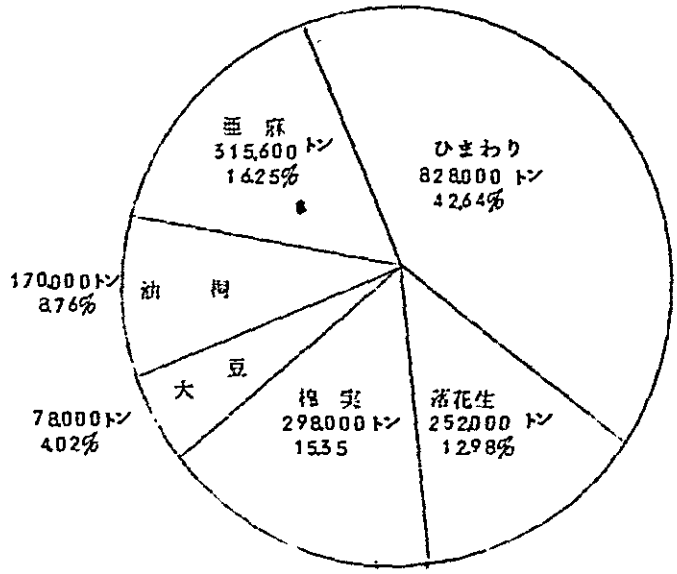
1971/72年度　　（図 1）



合計　2,968,200 ha

4. アルゼンチン油料作物生産量に対する大豆の占める割合

1971/72年度　　（図 2）



合計　1,941,600トン

5. 1963～1971におけるアルゼンチン油料作物加工製品の輸出実績 （トン）

（表 3.）

区分	年度	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971
油	亜麻	212865	205120	239071	121092	211135	78636	147288	154057	182817
	ひまわり	4352	30	35478	77998	66000	80020	2340	101160	35978
	落花生	36427	489	61856	79217	62365	61461	39001	42567	44391
	棉実	2228	251	1095	1425	4867	6470	2920	1000	4025
	油桐	16037	18678	6150	-	25584	18454	23604	14077	18986
	オリーブ	7634	9831	4814	7651	2260	2183	2396	1308	7205
	合計	279543	234399	348464	287383	372011	247224	222549	314169	293402
粕	粉末 亜麻	38596	20430	13539	121	-	480	-	-	-
	粉末 ひまわり	157508	78733	58928	61899	38811	21186	-	-	-
	粉末 落花生	48545	27779	8143	3572	3952	-	-	-	-
	粉末 棉実	5256	8107	6602	11229	7216	587	-	-	-
産物	ペレット 亜麻	1998	22534	60289	26552	44156	5927	8162	28892	6602
	ペレット ひまわり	-	80153	185121	273876	332159	354270	289689	396943	298638
	ペレット 落花生	-	22148	25190	24729	19466	26880	9489	19853	36558
	ペレット 棉実	6702	37362	47001	26095	27254	17497	55083	54891	42948
	ペレット 大豆	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	エクスペラー 亜麻	449851	439440	478225	286939	300415	267306	260278	331586	381113
	エクスペラー ひまわり	59827	22570	31729	35328	23292	3726	-	6840	-
	エクスペラー 落花生	66221	71810	98409	152570	93220	75467	36113	44086	51166
	エクスペラー 棉実	48985	27943	29335	32165	36057	32675	21879	33310	28277
	合計	883489	858809	1042511	934875	925996	796001	680693	916401	845302

（国立穀物統計研究所資料による）

表3でみられる如く亜麻油，ひまわり，ペレツ，亜麻エクスペラー等は大量に輸出されているが，大豆に関しては，国内生産が未だ極めて僅少であるため，全量，国内消費に廻されており，今後その需要の拡大が期待され栽培普及も拡大されるであろう。

6. 1970～1972年度におけるアルゼンチン油料作物の月別加工量 （トン）

（表 4）

年度	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一	亜麻	74,887	79,241	63,034	57,548	52,497	50,474	51,727	58,031	56,420	54,321	57,750	66,133	222,063
九	ひまわり	39,562	50,955	115,601	141,537	134,744	117,805	119,181	94,770	86,852	68,324	72,529	63,911	1,105,771
七	落花生実	1,315	1,155	441	14,428	18,105	21,280	21,390	12,056	12,810	12,300	11,614	12,378	139,272
〇	大豆	2,162	－	270	－	－	1,332	2,123	5,744	2,735	3,965	1,139	1,448	20,918
	合計	117,926	131,351	213,513	213,513	205,346	190,891	194,421	170,601	158,817	138,910	143,032	143,870	1,988,024
一	亜麻	22,107	83,546	80,681	49,631	53,263	42,909	57,688	74,874	62,880	61,556	54,732	50,561	744,428
九	ひまわり	75,831	68,233	97,117	107,299	89,310	97,621	74,009	59,392	66,081	59,200	51,616	55,525	901,234
七	落花生実	3,370	1,889	81	9,845	25,140	28,856	24,654	31,127	25,414	20,846	26,858	17,423	215,503
一	大豆	760	74	－	755	2,657	3,252	3,448	2,378	5,437	4,642	3,850	2,955	30,208
	合計	152,068	153,742	177,879	167,530	170,370	172,638	159,799	167,771	159,812	146,244	137,056	126,464	1,891,373
一	亜麻	38,924	34,128	36,006	25,181	16,012	11,394	22,583						－
九	ひまわり	52,781	58,992	71,468	72,760	73,036	83,614	86,229						－
七	落花生実	8,521	5,211	260	2,015	7,088	9,149	15,894						－
二	大豆	1,960	2,372	1,675	－	3,102	2,450	1,080						－
	合計	102,186	100,203	109,909	99,956	99,238	106,607	125,786						－

（亜国穀物協会の資料による）

7. アルゼンチン食用油の年度別，種類別，生産実績 （トン）

（表 5）

年度	合計	棉実油	ひまわり油	落花生油	とうもろこし油	菜種油	オリーブ油	大豆油	ぶどう油	その他
1961	268,885	26,038	165,089	65,983	2,745	1,460	4,068	6	3,344	152
1962	339,015	24,344	202,898	95,539	2,523	1,368	7,855	159	4,137	192
1963	281,845	25,482	168,530	70,576	2,382	1,303	7,423	1,253	4,824	70
1964	219,606	21,812	118,020	58,660	3,061	2,132	10,304	859	4,732	26
1965	419,688	31,416	278,858	87,035	3,208	1,650	12,032	808	3,868	833
1966	429,805	25,926	284,791	99,808	3,214	457	10,804	718	4,087	－
1967	471,259	24,600	358,685	66,649	3,164	271	13,125	340	3,191	506
1968	420,352	18,738	317,513	61,070	3,154	511	12,243	1,557	5,290	276
1969	380,114	27,612	279,788	41,639	3,720	578	19,595	1,929	4,302	951
1970	485,709	33,949	359,929	68,891	4,097	387	9,831	3,442	3,957	1,226
1971	416,040	22,043	285,464	22,122	4,605	778	19,203	5,334	5,528	963

（国立農産統計研究所の資料による）

8. アルゼンチン食用外油の年度別，種類別生産実績　（表 6）

年度	合計	亜麻	タルタゴ	油桐	その他
1961	158,305	142,432	636	15,237	−
1962	250,843	234,981	456	15,406	−
1963	248,755	233,959	207	14,542	47
1964	231,503	211,081	542	19,880	−
1965	269,365	260,574	853	7,935	3
1966	169,056	150,020	212	18,824	−
1967	179,181	154,721	531	23,929	−
1968	150,950	124,435	671	25,823	21
1969	189,706	168,787	363	20,556	687
1970	266,165	251,364	486	14,315	−
1971	293,093	268,732	394	23,967	−

（国立調査統計研究所の資料による）

9　アルゼンチン大豆保有量（1972年1月〜8月毎月初日，業者別）トン

（表 7）

区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
穀物協会	12	4	4	−	−	−	−	−
仲買業者	30	32	15	14	26	3,736	2,337	2,345
農業組合	32	5	3	2	169	6,054	5,646	−
加工工場	6,093	3,974	1,653	18	555	13,882	21,168	3,618
輸出業者	−	−	−	−	−	−	−	24,380
その他	−	−	−	−	−	−	−	50
合計	6,167	4,000	1,675	34	750	23,672	29,151	30,398

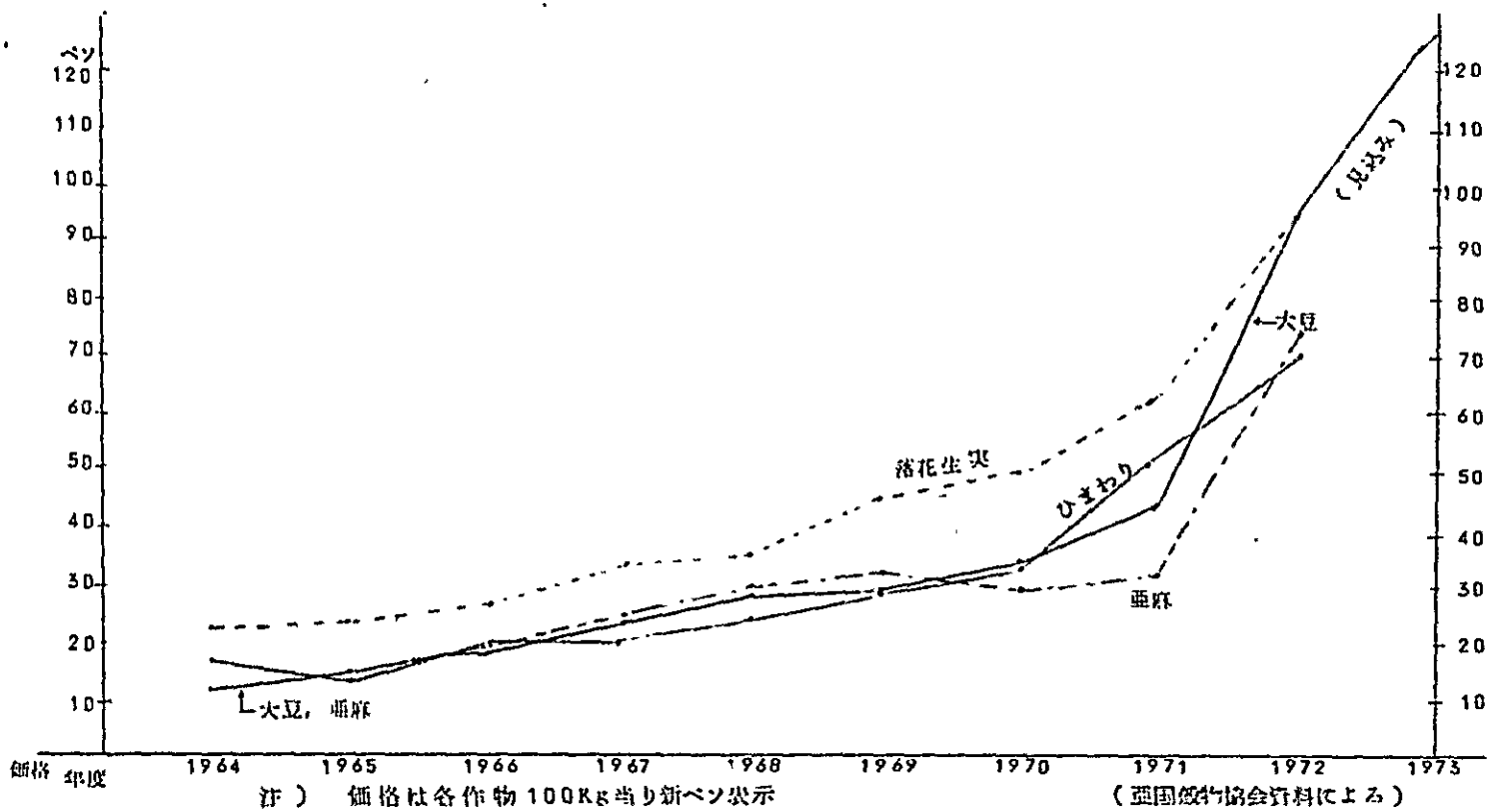
（亜国穀物協会資料による）

10　アルゼンチン大豆油，副産物の1972年度月別在庫量（1月〜8月各月初日）トン

区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
油	462	452	738	311	43	171	312	591
粉末	1,224	1,914	2,298	1,874	260	1,066	1,414	1,080
合計	1,686	2,366	3,036	2,185	303	1,237	1,726	1,671

（亜国穀物協会資料による）

11. アルゼンチンに於ける大豆並びに他の油料作物の年度別価格変動 （年間平均価格）



注） 価格は各作物100Kg当り新ペソ表示　　（亜国穀物協会資料による）

上表で見られる如く，大豆は他の油料作物価格に比し，その上昇は顕調であって，特に1970年度以降の上昇率は大きく，その栽培の有利性を示している。

12 大豆の機械栽培の実状について

1）亜国大豆栽培地域区

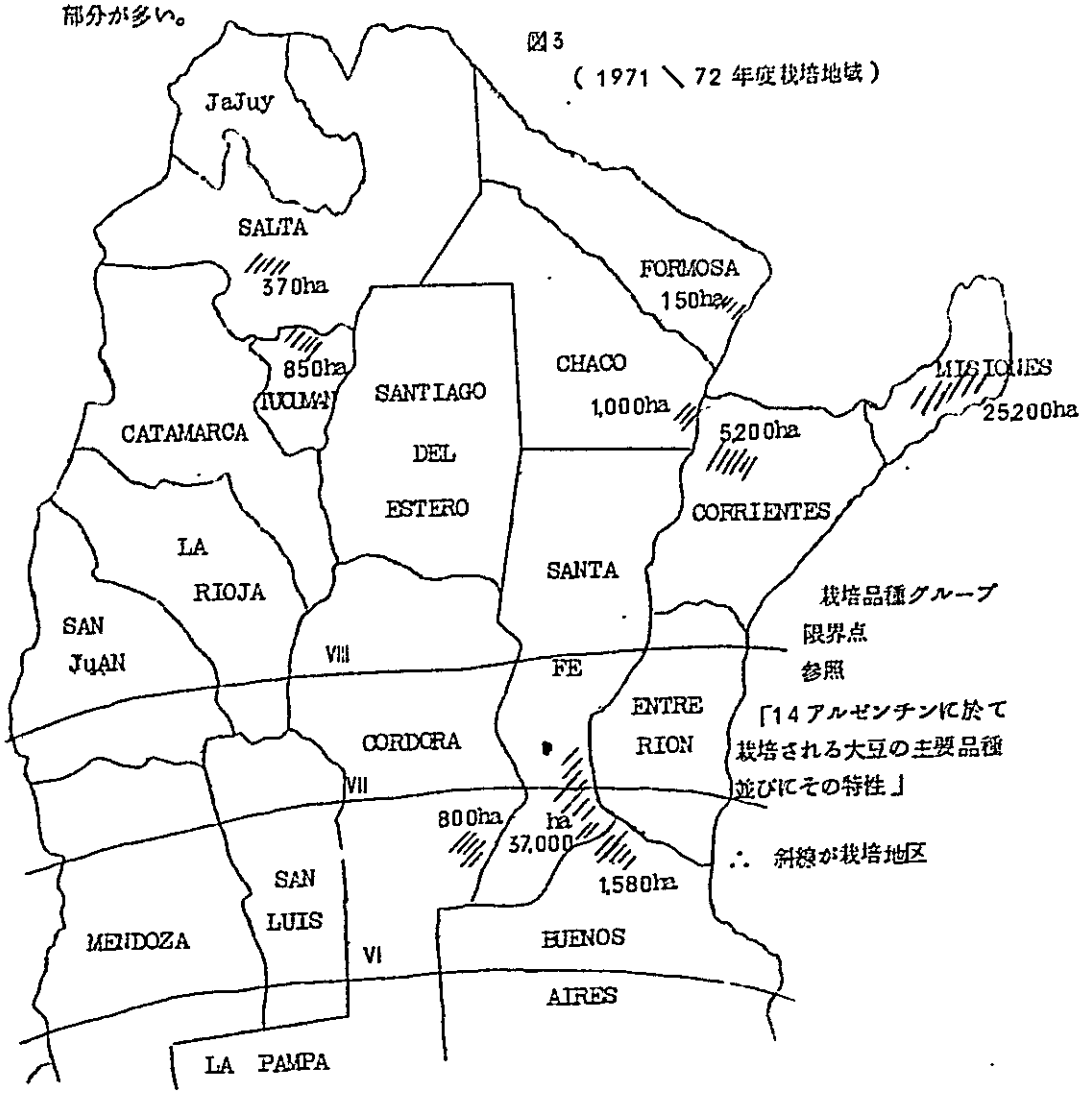
温帯地域のBuenos Aires州, Santa Fe州, Cordoba州を始め，亜熱帯圏に属するMisiones州, Corrientes州, Chaco州, FORMOSA州, Tucuman州, Salta州にも栽培が普及されつゝある。

特に圃場の平坦なBuen DS Aires州,Santa Fe州,においては，大型機械による栽培が発達しており，起耕，播種，除草，中耕，収穫共，殆んど人力によらず，能率的な機械作業にて大面積の栽培が実施されている。

Misiones州，においては地形に起伏が多いため，大型機械の導入に難があり，人力に頼る部分が多い。

図3

（1971＼72年度栽培地域）



2） 小麦との輪作栽培

Santa Fe州, Casilda地区における栽培暦　　（図 4）

区分・期間	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大　豆	整地, 播種		除草, 中耕, 病虫害防除				収穫					
小　麦	収穫							整地 播種	管　理			

Santa Fe州, Casilda地域に於いては, 大豆の普及率極めて高く, 各農家が所有耕地の1/2 程度を大豆栽培に仕向けている程度である。耕地が平坦であるため, トラックターにより耕起, 播種, 中耕, 大型自走コンバインによる収穫等が可能であり, 又これらの機械類は主要産物である小麦, とうもろこし, コーリヤン等の栽培に使用される物であるが, 簡単な付属品の着装により大豆栽培, 収穫に併用出来る等の理由に依り, 急速な普及をみている。

A 整　　地

小麦の収穫後直ちに（１１月上～下旬）大型トラックターにより耕起, 砕土, 細砕土と一連の作業を行う。耕起に際しては, 少くとも12～15cmを必要とする。又砕土は出来る丈け細砕し, 後ローテにて圧砕, 土壌の鎮圧を行う事がある。当地の土壌は砂質埴土に類する。

B 播　　種

栽培地域により, 中生種, 早生種等, 種子の選択を必要とするが, Santa Fe 州においては, 一般に小麦との輪作栽培を行うため, 余り晩生型の品種は適さず, 又, 早生種である必要もなく, 専ら中生種を使用している模様である。特に北米産, Lee,Halesoy 71, 等栽培の容易なものが普及されているが, 製油工場側も搾油に適した品種としてLee,Halesoyをあげている。播種に先立ち, 種子に根粒菌の接種（北米産, C, B, K印）を行い, 直ちに大粒播種機により, 11月中～１２月中旬頃迄に播種する。播種巾は条間0.6～0.8 m 株間0.2m 程度, 播種量は種子の大小播種密度により異るが一般に50～60Kg/ha程度である。

C 管　　理

本葉3枚高さ6 cm 程度に成長した時期を選び中耕を行う。以後害虫の防除, 特に着花時のアオクサカメムシ（当地では, Chinche Hedionda）の防除を, Endrin 15%1.5 l/ha 等で行う。Casilda 地域においては, 大豆栽培に対する追肥は全く行われていない模様である。

D 収　　穫

栽培品種, 播種期により, 又, 以後の気象により収穫期に差異を生ずるも, 通常4月下旬

～5月中旬頃迄に行われている。小麦用自走コンバインに大豆用補助器を装着し，倒伏した大豆株を起しつゝ下部より 刈り取りコンバイン内にて脱粒 精選，俵包（バラ積み）が可能である。1ha当り平均1145Kg。

E 貯　　蔵

収穫は大豆種子が充分乾燥した時期に行われるため，そのまゝ俵包，或れサイロにて保存されるが水分は11～12% の場合長期保存が可能であって若し，12% を超えている場合には充分乾燥させる必要がある。当国の場合生産量が未だ微々たるものであり，収穫後，直ちに仲買業者，農協，製油工場等へ引取られるので生産者が独自で貯蔵する事は少い。

F 販　　売

国家の奨励作目として価格が安定している事，又，製油業界では油料原料が不足気味である事にて販売は容易である。

1972／73年度の大豆価格はサイロ渡し，120～130ペソ／Kg と予想されている。

G 営農収支概算

1972／73年度 Casilda 地域における大豆機械営農経費（ha 当り）は概算次の如くである。

種子代	15000	（60Kg × 2.50／Kg）
労務費	15000	（整地，中耕，病虫害防除）
収穫費	15000	（請負による機械収穫　1Kg当り0.10ペソ 1.150Kg/ha）
支出計	415.00ペソ	（但し機械償却費は含まず）
収　入	1.380.00ペソ	（@1.20ペソ　×　1.150Kg）
差引利益	965.00ペソ	

1Ha当り1.150Kg は Santa Fe 州平均値1.145Kg を基準として便宜上使用した数値であるが，Casilda 地域にては通常 Ha当り3.000Kg 程度と云われる。此の場合 Ha 当りの売上は3.600.00ペソ支出は600.00ペソ差引3.000.00ペソ程度の利益が計上される。

13　アルゼンチンにおける大豆使用の搾油会社及びその規模

（表　9）

会社名	搾油工場所在地	搾油方式	使用原料	亜麻換算搾油能力（日）	貯油最大量
Cia SWIFT de Plata S.A.	Santa Fe州 galuez	抽出	ひまわり，落花生，亜麻，大豆	350トン	8,000トン
I.N.D.O S.A.C	Santa Fe州 Puerto Son Martin	抽出，圧搾	落花生，棉実，ひまわり，亜麻，大豆	190トン	14,000トン
VICENTIN S.A	Santa Fe州 Auellaneda	抽出	落花生，棉実，ひまわり，亜麻，大豆	1,250トン	9,000トン
SANTO PIPO TUNG OIL S.C.L.	Misiones州 Santa Pipo	抽出	油桐，大豆	125トン	トン
OLEAGINOSA CAMPO GRANDE.S.A.	Misiones州 Campo Grande	抽出	油桐，大豆	145トン	800トン

14　アルゼンチンに於て栽培される大豆の主要品種並びにその特性

（表　10）

	品種名	原産地	亜国栽培地域	発芽よりの日数 初花	発芽よりの日数 落葉	分類グループ	花色	毛茸色	毛皮色	100粒重	備考
1	Hood	北米	ブエノス州北部，Santa州北部，サルタ州	72	159	VI	スミレ色	灰色	黄色	18.600gr	
2	W-65	〃	ミシオネス州	68	144	IV	白	灰色	黄色	21.070	
3	Haleroy-71	〃	ツクマン州，サルタ州，ミシオネス州，サンタフエ州	78	160	VII	白	灰色	黄色	19.460	葉色は321より濃い
4	Bienville	〃	ミシオネス州	84	175	VIII	スミレ色	茶子毛色	黄色	23.030	
5	Ogden	〃	ブエノス州，サンタフエ州，ミシオネス州，ツクマン州	69	161	VI	スミレ色	灰色	黄色	20.020	耐バクテリア性
6	Lee	〃	サンタフエ州，コルドバ州，ミシオネス州	76	159	VI	スミレ色	茶子毛色	黄色	16.500	耐病性あり
7	Jackson	〃	ミシオネス州，エントレリオ州，コルドバ州，ツクマン州	77	162	VII	白	灰色	黄色	19.100	ネマトーダに強い
8	Hardee	〃	サンチヤゴ州，ミシオス州	107	180	VI	白	灰色	黄色	18.530	ネマトーダに強い
9	Harbinsoy	〃	サンチヤゴ州	105	176	—	スミレ色	茶子毛色	黄色	13.330	
10	J.E.W45	〃	コリエンテス州，ミシオネス州	88	168	VII	スミレ色	茶子毛色	黄色	22.520	
11	Hamptom	〃	サンチヤゴ州，	82	168	VII	スミレ色	灰色	黄色	20.240	
12	Clark	〃	ブエノス州南部，メンドサ州	36	118	IV	スミレ色	茶子毛色	黄色	17.560	
13	Scatt	〃	ブエノス州南部，メンドサ州	44	122	IV	スミレ色	灰色	黄色	18.000	
14	Halesoy-321	〃	サンタフエ北部，エントレリオ州，サンルイス州	68	153	VI	スミレ色	灰色	黄色	17.450	
15	Hill	〃	コルドバ州，エントレリオ州，サンタフエ北部	64	147	V	白	茶子毛色	黄色	19.030	
16	Bragg	〃	ミシオネス州，サンタフエ南部，エントレリオ州	80	164	VII	白	茶子毛色	黄色	17.030	
17	C.N.S	〃	ミシオネス州	90	169	VII	スミレ色	茶子毛色	黄色	16.000	
18	MAJOS	〃	ミシオネス州	70	159	—	スミレ色	灰色	黄色	22.440	
19	Dorman	〃	サンタフエ州，コルドバ州	64	147	V	白	灰色	黄色	18.340	
20	Chipewa	〃	ブエノス州南部	30	90	I	スミレ色	茶子毛色	黄色	15.900	
21	Hasman	〃	ブエノス州南部	36	113	II	スミレ色	茶子毛色	黄色	19.030	
22	Hawk eye	〃	ブエノス州南部	35	106	II	スミレ色	灰色	黄色	20.610	
23	Harosoy-63	〃	ブエノス州南部	34	106	II	スミレ色	灰色	黄色	18.520	耐病性

15 主要栽培地Santa州, CasildaとMisiones州Loretoの気象条件の比較

CASILDA : 南緯 33°03′ 西経 61°09′ 標高 72m

LORETO : 南緯 27°21′ 西経 55°30′ 標高 162m

（表 11）

観測事項	観測地	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温	CASILDA	℃	23.6	22.5	20.4	15.0	13.2	10.2	10.1	11.0	13.2	16.5	19.6	21.5	16.4
	LORETO		25.7	25.0	23.7	19.1	16.8	15.3	14.7	16.6	18.4	20.4	23.0	25.0	20.3
平均最高気温	CA	℃	31.2	30.1	28.0	22.8	20.4	16.0	16.5	17.9	20.6	23.2	26.9	29.2	23.6
	LO		33.2	31.8	30.9	26.0	24.2	21.5	22.2	24.1	24.9	27.1	30.1	32.2	27.4
平均最低気温	CA	℃	16.5	15.8	14.5	9.5	7.6	5.6	4.8	5.5	6.9	10.3	13.1	14.6	10.4
	LO		19.4	19.0	17.3	13.1	10.9	10.3	9.0	10.1	12.7	14.4	15.7	17.6	14.1
絶対最高気温	CA	℃	41.7	39.5	38.8	32.7	33.0	30.1	30.8	31.6	33.5	34.5	37.8	40.7	41.7
	LO		41.0	39.5	39.0	35.5	32.4	30.0	30.0	34.3	37.4	37.4	37.0	39.7	41.0
絶対最低気温	CA	℃	8.0	7.1	4.4	-1.2	-3.2	-3.8	-7.3	-4.8	-3.4	-3.6	1.7	5.8	-7.3
	LO		10.5	9.7	5.7	0.1	-3.0	-1.9	-5.6	-3.2	0.1	3.7	5.2	7.8	-5.6
相対湿度	CA	%	70	72	79	82	82	85	84	77	74	76	72	68	77
	LO		73	75	76	79	80	83	78	74	76	76	70	68	76
平均風速	CA	Km/時	8	8	7	7	8	8	9	10	10	9	8	8	8
	LO		5	6	5	5	4	5	5	6	6	6	6	6	6
平均降雨量	CA	m/m	140	108	122	88	44	42	34	27	29	138	120	68	960
	LO		161	159	122	152	135	173	112	90	160	268	137	113	1,732
平均降雨日数	CA	日	8	7	8	6	5	6	5	4	5	9	8	8	79
	LO		10	9	8	8	8	10	8	8	10	12	7	8	106
平均晴天日数	CA	≦2/8	7	8	10	11	8	5	8	8	8	7	8	8	96
	LO		9	7	11	10	10	6	10	10	7	8	10	11	109
平均曇天日数	CA	≦6/8	8	7	7	8	10	14	10	10	10	10	8	8	110
	LO		7	8	6	7	9	12	10	9	11	11	8	6	104

（気象庁測候所1951～1960年平均資料による）

VI 結　　論

ガルアッペー移住地再建の方法は種々考えられるが，栽培の主体は，ミシオネス州の自然に適した紅茶，柑橘，植林に置くべきである。一方これら永年作物の育成には長年月を要し，収穫開始迄のつなぎ作物としては，タバコ，大豆等があげられる。タバコは労働力を必要とする上，連作による病害発生，収量低下が大きく，又，永年作物の間作栽培にでも好ましくない。

一方大豆は，現在でも年々ミシオネス州全域にてその栽培は増加の一途をたどり，その栽培の容易さと，ミシオネス州における弱酸性土壌（6.0～6.5 PH）は大豆の栽培土壌PHと一致し，極めて有利である。但し，ミシオネス州においては，年間降雨量が月々平均しており4～5月収穫期に於いて降雨があるため思はぬ損害を招く事もある。更に地形的に起伏が多く，栽培上機械の導入にやや難があり，従って栽培に人手を要する部分が多く，コスト高となる事が欠点である。然し乍ら，各戸5ha 程度の栽培を実施させ，牽引コンバインにより数ケ所にて収穫を行う事により，或る程度コストを引き下げうると考える。自走コンバインの現在価格は200,00000ペソ程度であり，小面積栽培には導入不可であるが，牽引用コンバインであれば中古品にて500000ペソ程度にて入手可能であるので充分導入可能である。

又，栽培に当っては，品種の選定に留意する必要がある。ガルアッペー移住地に適する品種は，BRAGO, HAMPTOM, VAJOS, BIENVILE, JACKSON, HALESOY-71, HILL, HOOP等半晩生種（Semi Tardia）を選ばねばならない。

販売は州内に搾油工場がSanta Pipo, Campo grandeの2ケ所に存在するため一括販売可能であって問題はないが個人が少量を販売すべきでなく農協を通じ数量を確保の上，販売する方法により販売コストの低下を計るべきである。

かゝる状況にて，今後共，当支部としては，ガルアッペー移住地における大豆栽培を重点的にとりあげる方針である。